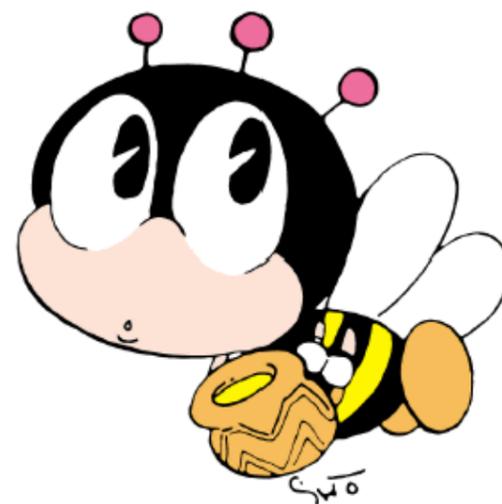


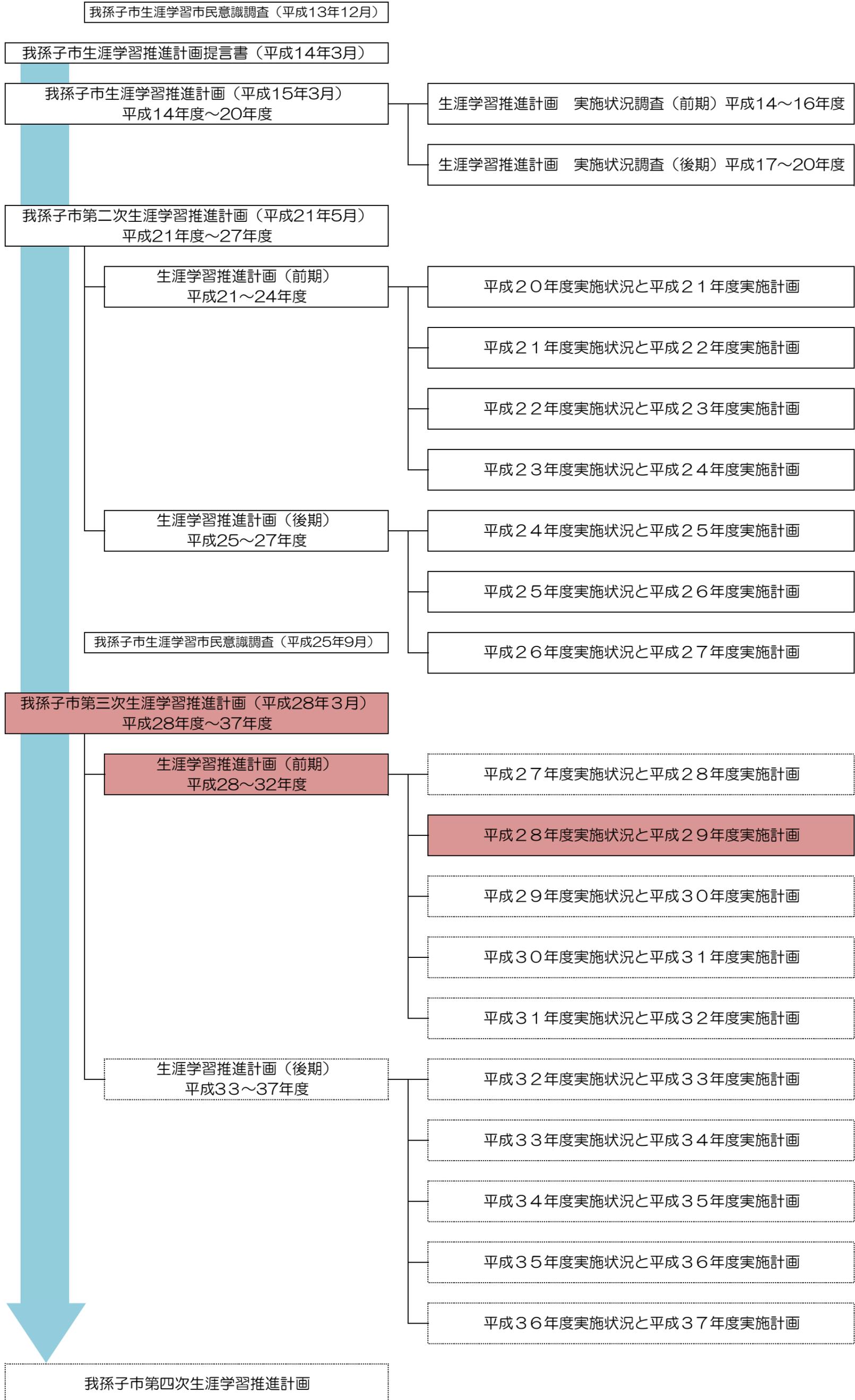
# 生涯学習推進計画 実施計画 実施状況調査表

～平成28年度実施状況と平成29年度実施計画～



平成29年5月

# 我孫子市生涯学習推進計画のあゆみ



# 体系図 (目次)

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁	
1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	1 暮らしの便利帳・ガイドマップの発行	秘書広報課	1	
		2 広報「あびこ」の編集・発行	秘書広報課	1	
		3 男女共同参画情報紙の発行	秘書広報課	2	
		4 財政情報の提供	財政課	2	
		5 食に関する情報の提供及び啓発の充実	健康づくり支援課	2	
		6 バリアフリーの情報提供事業	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	3	
		7 子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子ども支援課	3	
		8 子育て支援情報の発信	保育課	4	
		9 手賀沼情報の提供	手賀沼課	4	
		10 都市計画に関する情報の管理・提供	都市計画課	4	
		11 都市計画図等の作成・管理事務	都市計画課	5	
		12 景観形成情報発信・啓発事業	都市計画課	5	
		13 あびバス景観マップの作成	都市計画課	5	
		14 住宅情報の総合的提供	建築住宅課	6	
		15 水道広報活動推進事業	水道局経営課	6	
		16 生涯学習情報の発信	生涯学習課	7	
		17 生涯学習情報提供システムの整備	生涯学習課	7	
		18 電腦考古博物館の運営	文化・スポーツ課	8	
		19 図書館における郷土・行政資料サービス	図書館	8	
		20 図書館の情報化推進	図書館	8	
		21 鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館	8	
		②学びにつなげるための相談体制の充実	22 生涯学習学習相談体制の整備	生涯学習課	9
			23 生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	9
	24 生涯学習ボランティア		生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	9	
	25 視聴覚ライブラリーの管理・運営		生涯学習課	10	
	26 図書館カウンターサービス		図書館	10	
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス		図書館	11	
	③学びへの関心を高めるための啓発の充実		28 交通安全思想の普及	市民安全課	12
			29 集団健康教育	健康づくり支援課	12
			30 健康フェア	健康づくり支援課	13
			31 廃棄物に関する教育啓発事業	クリーンセンター	13
		32 石けん利用の推進	商業観光課	13	
		33 小学校『歯磨き・食育指導』事業	学校教育課	14	
		34 生涯学習推進計画事業実施状況調査	生涯学習課	14	
		35 生涯学習推進本部の運営	生涯学習課	15	
		36 健康スポーツ普及事業	文化・スポーツ課	15	
		37 読書普及活動	図書館	16	
	38 図書館PR	図書館	16		
	39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥の博物館	16		
2 生涯にわたってさまざまな学びの できるまちづくり	①地域への関心を高める学びの機会の推進	40 まちづくり探検隊	子ども支援課	17	
		41 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)	子ども支援課	17	
		42 谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼課	18	
		43 手賀沼船上学習の実施	手賀沼課	18	
		44 手賀沼流域フォーラムの開催	手賀沼課	18	
		45 ジャパンバードフェスティバル	手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館	19	
		46 地区計画制度の活用支援	都市計画課	19	
		47 我孫子産農産物の学校給食導入事業	学校教育課	19	
		48 市民カレッジ 我孫子を知るコース	生涯学習課	20	
		49 市史調査研究	文化・スポーツ課	20	
		50 郷土芸能への支援	文化・スポーツ課	20	
		51 文化財の指定調査と保存支援	文化・スポーツ課	21	
		52 埋蔵文化財発掘調査	文化・スポーツ課	21	
		53 考古遺物整理	文化・スポーツ課	21	
		54 あびこ自然観察隊	鳥の博物館	22	
		55 てがたん(手賀沼の自然観察会)	鳥の博物館	22	

※ No.40「まちづくり探検隊」は廃止

# 体系図 (目次)

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁		
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	56 子どもNPOボランティア体験	市民活動支援課	22		
		57 後期離乳食教室	健康づくり支援課	23		
		58 しあわせママパパ学級	健康づくり支援課	23		
		59 離乳食教室	健康づくり支援課	23		
		60 手賀の丘ふれあい宿泊通学	子ども支援課	24		
		61 あびこ子どもまつり	子ども支援課	24		
		62 げんきフェスタ	子ども支援課	24		
		63 enjoyパパ応援プロジェクト	保育課	25		
		64 子育て支援施設における講習	保育課	25		
		65 こども議会	指導課	26		
		66 長寿大学	生涯学習課	26		
		67 成人式	生涯学習課	27		
		68 熟年備学	生涯学習課	27		
		69 家庭教育学級	生涯学習課	28		
		70 のびのび親子学級	生涯学習課	28		
		71 アビコでなんでも学び隊	生涯学習課	29		
		72 子どものための舞台鑑賞事業	文化・スポーツ課	29		
		73 成人・青少年への図書館サービス	図書館	30		
		74 児童への図書館サービス	図書館	30		
		75 子どもの読書活動推進計画の策定	図書館	31		
		③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	76 男女共同参画講演会の実施	秘書広報課	31	
			77 平和事業	企画課	32	
			78 健康づくりに関する専門家によるセミナー	健康づくり支援課	32	
			79 メンタルヘルス啓発講座	障害福祉支援課	33	
			80 失語症家族教室	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	33	
			81 手話講習会・読話講習会	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	33	
			82 家族介護教室	高齢者支援課	34	
	83 認知症の方の家族のつどい		高齢者支援課	35		
	84 健康生活月間講演会		高齢者支援課	35		
	85 高齢者虐待防止講演会		高齢者支援課	35		
	86 遊具うんどう教室		高齢者支援課	36		
	87 環境学習の推進		手賀沼課	36		
	88 消費生活講座		商業観光課	37		
	89 緑の講習会		公園緑地課	37		
	90 栄養教諭を中核とした食育推進事業		学校教育課	38		
	91 生涯学習出前講座の運営		生涯学習課	38		
	92 生涯学習普及啓発事業		生涯学習課	39		
	93 人権教育		生涯学習課	40		
	94 スポーツ教室事業		文化・スポーツ課	40		
	95 地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～		文化・スポーツ課	41		
	96 鳥の博物館企画展		鳥の博物館	41		
	3 多様な学びの場のあるまちづくり		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	97 市民農園維持管理事業	農政課	42
				98 親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	手賀沼課	42
				99 ふれあい工房の運営管理事業	クリーンセンター	43
				100 新たな文化交流拠点施設整備の検討	企画課、生涯学習課	43
				101 地域交流教室の提供	生涯学習課	43
				102 公民館施設管理運営	生涯学習課	44
				103 湖北地区公民館空調設備更新工事	生涯学習課	44
				104 フリースポット(Wi-Fi)の提供	生涯学習課	44
		105 施設予約システムの運用		生涯学習課、文化・スポーツ課、市民活動支援課	44	
		106 市民体育館管理運営		文化・スポーツ課	45	
107 体育施設管理運営事業、維持補修		文化・スポーツ課		45		
108 武道施設の建設整備の検討		文化・スポーツ課		45		
109 市民体育館維持補修、改修事業		文化・スポーツ課		46		
110 学校体育施設開放事業		文化・スポーツ課		46		
111 ふれあいキャンプ場管理運営		文化・スポーツ課		46		
112 文化財等の保存と活用		文化・スポーツ課		47		
113 杉村楚人冠記念館の保存と活用		文化・スポーツ課		47		
114 旧井上家住宅の保存と活用		文化・スポーツ課		47		
115 白樺文学館の運営		文化・スポーツ課		48		
116 手賀沼文化拠点整備計画の推進		文化・スポーツ課		48		
117 移動図書館業務		図書館		48		
118 湖北地区図書館の整備		図書館		49		
119 図書館会議室及び展示スペースの提供		図書館	49			
120 鳥の博物館管理運営		鳥の博物館	49			
121 鳥の博物館空調設備更新工事		鳥の博物館	50			
122 鳥の博物館展示リニューアル		鳥の博物館	50			
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用		123 手賀沼ふれあいウォーク	健康づくり支援課	50		
		124 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	文化・スポーツ課	50		
		125 手賀沼エコマラソン支援事業	文化・スポーツ課	50		
		126 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	51		

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充	127 (再掲) 生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	51
		128 生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習課	51
		129 (再掲) 生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	51
		130 アビスター次保育事業	生涯学習課	52
		131 (再掲) 生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	52
	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	132 文化事業市民スタッフ	文化・スポーツ課	52
		133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業	市民安全課	52
		134 失語症会話パートナー養成講座	障害福祉支援課(障害者福祉センター)	53
		135 介護予防サポーター養成講座	高齢者支援課	53
		136 子育てサポーター養成講座	保育課	54
		137 環境レンジャー活動への支援	手賀沼課	54
		138 緑のボランティアの森づくり	公園緑地課	55
		139 生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施	生涯学習課	55
		140 生涯学習審議会委員の研修	生涯学習課	56
		141 スポーツ指導者の研修制度の確立	文化・スポーツ課	56
	③学んだ成果を評価するしくみの構築	142 市民コンサート	文化・スポーツ課	56
		143 市民参加型コンサート	文化・スポーツ課	57
		144 文化祭	文化・スポーツ課	57
145 寄贈絵画展		文化・スポーツ課	57	
146 めるへん文庫		文化・スポーツ課	57	
147 (再掲) 郷土芸能への支援		文化・スポーツ課	57	
148 (再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業		文化・スポーツ課	57	
5 学びでつながるまちづくり	①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実	149 市民のチカラ	市民活動支援課	58
		150 (再掲) あびこ子どもまつり	子ども支援課	58
		151 (再掲) げんきフェスタ	子ども支援課	58
		152 学校支援事業の充実	指導課	58
		153 (再掲) 生涯学習学習相談体制の整備	生涯学習課	59
		154 (再掲) 長寿大学	生涯学習課	59
		155 (再掲) 家庭教育学級	生涯学習課	59
		156 (再掲) のびのび親子学級	生涯学習課	59
		157 (再掲) 市民カレッジ 我孫子を知るコース	生涯学習課	59
		158 在住外国人支援事業	企画課	59
	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成	159 公募補助金制度の運用	市民活動支援課	60
		160 市民公益活動補償制度の運用	市民活動支援課	60
		161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣	クリーンセンター	60
		162 我孫子市創業支援事業	企業立地推進課	61
		163 市民の学習活動への支援	生涯学習課	62
		164 (再掲) 視聴覚ライブラリーの管理・運営	生涯学習課	62
		165 社会教育団体活動支援	生涯学習課	62
		166 文化芸術団体活動支援	文化・スポーツ課	62
		167 (再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	63
		168 施設・団体へ図書等の貸出サービス	図書館	63
	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築	169 鳥に関する学習への支援	鳥の博物館	63
		170 鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	鳥の博物館	64
		171 我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	企画課	64
		172 消費生活展の実施	商業観光課	65
		173 エンジョイ手賀沼	手賀沼課	65
		174 (再掲) 健康フェア	健康づくり支援課	65
		175 (再掲) ジャパンバードフェスティバルの開催	手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館	65
		176 青少年相談員事業	子ども支援課	66
		177 (再掲) 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)	子ども支援課	67
		178 子育てフェスタ	保育課	67
		179 学校評議員設置事業	学校教育課	67
		180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	指導課	68
181 キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)	指導課	68		
182 生涯学習審議会の運営	生涯学習課	68		
183 (再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	69		
184 図書館実習生受入・施設見学	図書館	69		
185 山階鳥類研究所との連携・交流	鳥の博物館	69		

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり				基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		
①学びへの情報提供体制の充実		①学びへの情報提供体制の充実				①学びへの情報提供体制の充実		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	暮らしの便利帳・ガイドブックの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」…3月に日本語版を2,000部増刷。観光案内施設等において配布した</li> <li>●暮らしの便利帳…平成28年8月に62,000部を作成、9月中旬に全戸配布(58,000部)を行い、以後転入者を対象に配布した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」発行部数…日本語版2,000部増刷</li> <li>●暮らしの便利帳…62,000部作成</li> </ul>	<p>A. 成果・効果があった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」を都内の観光情報発信拠点施設や県内の同様の施設において、配布したことにより市の魅力を発信することができた。</li> <li>●暮らしの便利帳…市民の暮らしに必要な、行政サービスや公共施設、医療機関等を集約した冊子を配布したことにより、情報を効率的に提供することができた。</li> </ul>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ガイドマップは現在作成していない(平成28年度に商業観光課へ事業移管)。</li> <li>ここでは平成25年度から発行しているガイドブック「ABI ROAD」について記載する。</li> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」</li> <li>・AR動画等を追加して内容の改訂を行う。また、外国語版として新たに韓国語版を作成する。</li> <li>日本語版 5,000部、英語・中国語・韓国語版各2,000部</li> <li>・都内観光情報発信拠点、千葉県観光物産館(千葉市)・情報館(木更津市)、県内(千葉市・我孫子市)ホテル等に配置する。</li> <li>●暮らしの便利帳</li> <li>・発行なし(平成30年または31年度に作成予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英・中国語・韓国語版の翻訳確認を我孫子市国際交流協会(AIRA)に依頼予定</li> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」</li> <li>日本語・英語・中国語・韓国語</li> <li>合計2,052,000円</li> <li>●暮らしの便利帳</li> <li>発行なし</li> </ul>	秘書広報課
	市民や転入者に行政サービスや公共施設の利用案内などの市政情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」…なし</li> <li>●暮らしの便利帳…官民協同事業として、(株)サイネックスと協同で作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」…346,000円</li> <li>●暮らしの便利帳…なし(暮らしの便広告収入のみで発行するため)</li> </ul>	なし	なし	なし	なし	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	広報「あびこ」の編集・発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報あびこ</li> <li>【発行回数】 月2回(1日・16日)</li> <li>【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・近隣センター・公民館・図書館・市民プラザなどの公共施設でも配布。</li> <li>【発行部数】 4月16日号～9月16日号 51,000部、10月1日号～4月1日号 50,000部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【広報あびこ発行部数】</li> <li>4月16日号～9月16日号 51,000部</li> <li>10月1日号～4月1日号 50,000部</li> </ul>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>施策・事業、イベント、各種講座や市民団体のお知らせなど、市民に関係するさまざまな情報を発信できた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民と市が情報を共有するためには、市政や市民の暮らしに関する情報を提供している広報あびこの発行は現状どおり推進する必要がある。</p>	<p>前年度と同様、写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●広報あびこ</li> <li>【発行回数】 月2回(1日・16日)</li> <li>【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・近隣センター・公民館・図書館・市民プラザなどの公共施設でも配布。</li> <li>【発行部数】 平成29年4月16日号～平成30年4月1日号 50,000部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内業者に広報作成業務(編集・発行・発送および配送)を委託している。</li> </ul>	秘書広報課
	市民が必要としている行政情報などを、わかりやすく、正確に、確実にお知らせする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内業者に広報作成業務(編集・発行・発送および配送)を委託した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年4月16日号～平成29年4月1日号(計24回) 25,393,000円</li> <li>平成28年度分合本 43,200円</li> <li>合計 25,436,200円</li> </ul>	なし	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月16日号～平成30年4月1日号(計24回) 25,049,520円</li> <li>平成29年度分合本 43,200円</li> <li>合計 25,436,200円</li> </ul>	

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容			担当課
			指標と実績	評価	今後の進め方	具体的内容	市民・事業者との協働	予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
3	男女共同参画情報の発行  男女共同参画社会の重要性や必要性に対する市民の理解を深めるため、男女共同参画情報紙を発行する。	年2回発行。 ●男女共同参画情報紙「かがやく」 【発行回数】 年2回(9月、3月) 【発行形式】 A4・4ページ(全ページカラー) 【発行部数】 45,000部。自治会を通じ全戸に配布するほか、市公共施設等にも配置。  【31号】特集「あびこのパワーママ！」 【32号】特集「女性の視点で防災力」	【情報紙発行部数】 90,000部 (2回発行、各45,000部)  市内業者に男女共同参画情報紙作成業務(企画・取材・執筆・印刷・発送)を委託。	A. 成果・効果があった  情報紙の作成業務を市内業者に委託していることでより市民にとって身近な視点での情報紙を作成することができた。	A. 現状どおり推進  なし	年2回発行。 ●男女共同参画情報紙「かがやく」 【発行回数】 年2回(9月、3月) 【発行形式】 A4・4ページ(全ページカラー) 【発行部数】 45,000部。自治会を通じ全戸に配布するほか、市公共施設等にも配置。  【32号】内容未定 【33号】内容未定	企画から取材、編集、印刷まで情報紙作成にかかる業務を市内業者に委託する。		秘書広報課
		企画・取材・執筆・印刷・発送、691,000円×2回	なし		企画・取材・執筆・印刷・発送、691,000円×2回				
		4	財政情報の提供  広報やホームページなどを通して、市の当初予算の状況、執行状況、決算の状況及び財務諸表などの財政情報をわかりやすく市民に提供する。	●広報あびこ 《4月》平成28年度当初予算の概要 《7月》平成27年度下半期予算の執行状況 《11月》平成29年度予算の編成方針 《11月》平成27年度普通会計財務書類4表 《12月》市の財政状況「平成27年度普通会計決算と平成28年度上半期の執行状況」 《3月》平成29年度予算の編成状況 ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ●出前講座 【テーマ】我孫子市の予算の概要 【日時】平成28年9月1日(木)午前10時から正午まで 【参加者数】45名	【ホームページ閲覧数】 ・目標値 7,000件 ・実績 12,905件  なし  なし	A. 成果・効果があった  ・市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。 ・出前講座に財政課職員が講師として出向き、我孫子市の財政状況を理解していただいた。  ・より多くの市民に財政について興味を持ってもらうため、難解な専門用語や仕組みをさらに分かりやすく伝える必要がある。	A. 現状どおり推進  なし	●広報あびこ 《4月》平成29年度当初予算の概要 《7月》平成28年度下半期予算の執行状況 《11月》平成30年度予算の編成方針 《11月》平成28年度普通会計財務書類4表 《12月》市の財政状況「平成28年度普通会計決算と平成29年度上半期の執行状況」 《3月》平成30年度予算の編成状況 ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ●出前講座 【テーマ】我孫子の財政	
5	食に関する情報の提供及び啓発の充実  食に関する正しい知識を得て、おいしく楽しく食事する人を増やすために、食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。食品を購入したり外食や調理済み食品を利用する際の情報源である食品表示(栄養成分表示など)についても、引き続き出前講座や我孫子市食育だよりなどで啓発を行う。	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行った。 食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動を行うとともに、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行った。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行った。  ●食育だより 【発行月】6月、9月、12月、3月の計4回 【配布枚数】14,000枚/号、これに加え、がん集団検診で配布  ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。  ●出前講座 市役所メニュー「知って得する食品表示」を2回開催。 参加者数 37名	【食育便り発行枚数】 65,000枚  なし  印刷製本費 86,313円	A. 成果・効果があった  日ごろ健康づくり支援課実施事業への参加が少ない小中学校に通う児童・生徒を持つ保護者に情報提供を行うことで、食育計画の目標である「食に興味・関心を持つ人を増やす」ことに多少はつながったと考えられる。  資料配布による啓発活動が中心になってしまっている。また、食品を購入したり外食や調理済み食品を利用する際の情報源である食品表示(栄養成分表示など)については、啓発の場があまり持てなかった。	A. 現状どおり推進  なし	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動を行うとともに、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行っていく。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行う。  ●食育だより 【発行月】6月、9月、12月、3月の計4回 【配布枚数】14,000枚/号、これに加え、がん集団検診で配布 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 市役所メニュー「知って得する食品表示」を開催。	なし  印刷製本費 105,300円		健康づくり支援課

基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課	
			具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働		
				市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	6	<p>バリアフリーの情報提供事業</p> <p>市民と協働で市内のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」としてまとめ、障害のある方や高齢の方をはじめ、妊娠中の方や小さなお子様連れの方など、誰もが安心して外出を楽しめるように、情報提供を行う。</p>	<p>市民活動団体・社会福祉協議会と協力して市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」にまとめ、掲載内容の更新を行った。</p> <p>●バリアフリーおでかけマップ 【年間アクセス数】 14,538 件</p>	<p>【ホームページへのアクセス数】 14,538 件</p> <p>市民活動団体あびこシニアクラブ・我孫子市社会福祉協議会と協力して、市内施設のバリアフリー状況調査を行った。</p> <p>・ホームページの更新業務委託 69,000円 ・サーバー使用料 5,000円 ・消耗品 2,000円</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>【ホームページへのアクセス数】 14,538 件</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>市民活動団体・社会福祉協議会と協力して市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」にまとめ、掲載内容の更新を行う。</p>	<p>市民活動団体あびこシニアクラブ・我孫子市社会福祉協議会と協力して、市内施設のバリアフリー状況調査を行う。</p> <p>・ホームページの更新業務委託 50,000円 ・サーバー使用料 5,000円 ・消耗品 2,000円</p>	障害福祉支援課 障害者福祉センター
		7	<p>子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営</p> <p>子どもたちが地域における様々な体験活動への参加を通して、心身ともに健やかに成長することを願い、体験活動をはじめとする様々な活動に関する情報を広く収集、提供する。</p>	<p>●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間5回、各回約16,200部(4月発行の新緑号のみ世帯数ではなく児童数で配布の為、17,700部)を発行 【配布場所】市内幼稚園、保育園、小中学校、小児医院や公共施設、市内幼稚園、保育園、小中学校を通して直接配布すると共に、小児医院や公共施設に設置し、広く市民に配布。 【情報紙の発行の方法】編集の段階から市も関わりながら、27年度同様に市内の子ども関係団体及び市民から組織される「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信。</p> <p>●ホームページ 紙媒体での情報だけでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信として、引き続き「あびっ子ネット」ホームページを運営。 【運営の方法】ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行った。</p>	<p>【情報紙「あびっ子ネット」配布枚数】 16,200枚/各回</p> <p>子ども関係団体間の情報収集、交換を図りながら情報を精査し、編集の段階に市も関わった。 《情報紙の発行及びあびっ子ネットホームページの維持管理》 あびこ子どもネットワーク</p> <p>子ども向け情報紙発行・ホームページ運営委託料 1,470,000円</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民団体や個人、公共団体が企画し地域で行われる子どもと保護者向けの催し物やお知らせ、参加者の体験等に関する情報を発信することにより、催し物等への参加・体験を促し、子ども達の健やかな成長を育むことを支援できた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間5回、各回約16,200部(4月発行の新緑号のみ世帯数ではなく児童数で配布の為、17,700部)を発行 【配布場所】市内幼稚園、保育園、小中学校、小児医院や公共施設、市内幼稚園、保育園、小中学校を通して直接配布すると共に、小児医院や公共施設に設置し、広く市民に配布する。 【情報紙の発行の方法】編集の段階から市も関わりながら、28年度同様に市内の子ども関係団体及び市民から組織される「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信していく。</p> <p>●ホームページ 29年度についても、紙媒体での情報だけでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信として、引き続き「あびっ子ネット」ホームページを運営する。 【運営の方法】ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行う。</p>	<p>子ども関係団体間の情報収集、交換を図りながら情報を精査し、編集の段階に市も関わった。 《情報紙の発行及びあびっ子ネットホームページの維持管理》 あびこ子どもネットワーク</p> <p>子ども向け情報紙発行・ホームページ運営委託料 1,470,000円</p>	子ども支援課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課		
		具体的内容	指標と実績	評価	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算			
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	成果 課題						
8	子育て支援情報の発信  乳幼児を子育て中の親の育児不安や孤立化を防ぎ、子育てに喜びや楽しさを感じられるよう、情報提供を行うとともに、必要に応じ援助・斡旋を行う。	●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「出前保育」「広場でパパを楽しもう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」 ●我孫子市民子育てサークル(親子向け)情報紙の発行 【日程】3月末 【配布場所】4広場・情報コーナー・各会議・子育て応援隊・フェスタや各イベントで配布 【発行枚数】500枚発行 ●登録制メール配信サービス(子育て応援情報) 随時 【登録者数】2631人(3月末) 【配信状況】342件配信 ●インターネット 随時 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」・イベントカレンダー 約90件/月・イベントレポート(ブログ)の作成 60件/年 ・「enjoy/パパ」・「子育て支援施設」・「子育て支援サービス」など、子育て支援センター情報コーナー内のタッチパネルでの情報提供30件 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿 12件/年 ●窓口・電話による子育て情報提供(保育コンシェルジュ) ●「幼稚園を知らう」 【内容】来年度我孫子市内幼稚園入園予定者が通園ママに園生活についての身近な質問をし、ママ目線で答える座談会。 【場所】あびこ市民プラザホール 【参加数】親子80組 ●子育て支援ガイドブック「わく2すく2」改訂版の発行 【日程】7月発行 【部数】7500部 【対象】我孫子市内幼稚園・保育園在園児、在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など ●「我孫子市の子育て情報を得るには」「スマイル・ママ、ベビーのHAPPYタイム」「るんるんパーク・すまいるキッズ」の案内チラシ作製	【相談件数】 1137件  登録されている市民団体の自主的なサークル活動と連携し、活動を把握し、情報の収集を行うとともに、登録団体の活動を市民へ情報提供し、交流や仲間作りのきっかけになるようにする。年2回の子育てフェスタへの参加協力を呼びかけ、登録団体や市民グループの活動を市民参加型で紹介し、活動への参加を促すきっかけ作りと存在をアピールした。	A. 成果・効果があった  多様な情報を提供提供しているため、利用者が自分のニーズに合った情報を気軽に選んで利用できるようになってきている。保育サービスを必要とする人の専門相談員を保育コンシェルジュと名前を改め配置したことで、窓口での子育て支援サービスへの問い合わせも増えている。利用者が情報を活用し、交流できる場に足を運び、仲間を作ることで、育児不安や孤立化を防ぐことができ、家庭での子育ての悩みを解消できるようになっている。仲間づくりを進めながらの市民サークル団体の新規加入が3件あった。	B. 改善・見直しを行う  ●「幼稚園を知らう」の開催見直し 未就園児保育への参加者通園者の増加で、参加親子の子どもが低年齢化し、途中退場者が多くなったことと、幼稚園協会が毎年「キッズフェスティバル」を開催するようになったので、親子には情報を得る場ができたため。	●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「出前保育」「広場でパパを楽しもう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」 ●我孫子市民子育てサークル(親子向け)情報紙の発行 【日程】3月末 【配布場所】4広場・情報コーナー・各会議・子育て応援隊・フェスタや各イベントで配布 【発行枚数】500枚発行 ●登録制メール配信サービス(子育て応援情報) 随時 ●インターネット 随時 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」・イベントカレンダー ・イベントレポート(ブログ)の作成 ・「enjoy/パパ」・「子育て支援施設」・「子育て支援サービス」など、子育て支援センター情報コーナー内のタッチパネルでの情報提供 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿 ●窓口・電話による子育て情報提供(保育コンシェルジュ) ●子育て支援ガイドブック「わく2すく2」改訂版の発行 【日程】7月発行 【部数】7500部 【対象】我孫子市内幼稚園・保育園在園児、在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など ●「我孫子市の子育て情報を得るには」「スマイル・ママ、ベビーのHAPPYタイム」「るんるんパーク・すまいるキッズ」の案内チラシ作製	登録されている市民団体の自主的なサークル活動と連携し、活動を把握し、情報の収集を行うとともに、登録団体の活動を市民へ情報提供し、交流や仲間作りのきっかけになるようにする。	保育課		
		手賀沼情報の提供  手賀沼の水質変化を市内の掲示板で3ヶ月に1回更新するとともに、手賀沼に関するイベント等の情報をホームページや市内の掲示板で提供し、手賀沼に対する関心を深める。	手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載した。我孫子市ホームページに千葉県の水質情報ページのリンクを掲載。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新した。  【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、市役所分館庁舎1階、アピスタ、手賀沼ビオトープ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計20箇所	【掲示場所】 20箇所  特になし  なし	A. 成果・効果があった  市民の目に触れるところに掲示することで目的とする情報を提供できた。中には掲示板を見て質問してくる市民もいた。	A. 現状どおり推進  なし	手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載する。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新する。  【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、市役所分館庁舎1階、アピスタ、手賀沼ビオトープ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計20箇所		なし  なし	手賀沼課
		都市計画に関する情報の管理・提供  常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者に広く提供する。	市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行った。 都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」やホームページの更新を行い情報提供を行った。	【ホームページ閲覧数】 5058件  なし  なし	A. 成果・効果があった  常に最新の情報に更新することで市民・事業者に対して正確に情報を提供することができた。	A. 現状どおり推進  なし	市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」やホームページの更新を行い情報提供を行う。		なし  なし	

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課	
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)						
11	都市計画図等の作成・管理事務 常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者へ広く提供する。	都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにした。 都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売。	【販売枚数】 80枚	A. 成果・効果があった ・常に最新の情報に更新することで市民・事業者に対して正確に情報を提供することができた。	A. 現状どおり推進 ・常に最新の情報に更新し、市民・事業者に対して正確に情報を提供する。	都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 ・都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。	なし	都市計画課	
			なし						都市計画図印刷費 453,600円
			なし	なし					
12	景観形成情報発信・啓発事業 多くの市民に景観への関心を持ってもらうため、市民団体の活動支援や、イベント、ホームページ等の広報活動を通して、景観に関する情報発信及び啓発を行う。	<p>●「我孫子のいろいろ八景歩き」 市民の応募をもとに我孫子の魅力ある景観として選ばれた「我孫子のいろいろ八景」を散策するイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を実施。 ①平成27年度既存コースの再実施(各コース定員25人) 《布佐・新木の三大緑地公園コース》 【日程】6月26日(日)【参加者】24人 《高野山台地の八景と古墳を巡るコース》 【日程】7月3日(日)【参加者】26人 《湖北台のまちなみと田園コース》 【日程】11月6日(日)【参加者】26人 《白樺派の散歩道と水辺のまちなみコース》 【日程】11月20日(日)【参加者】24人 ②平成28年度新規コース(各コース定員25人) 《古道をたどり森と水辺が招く古利根コース》 【日程】9月18日(日)【参加者】18人(悪天候実施のため、キャンセル9人) 《白山のまちなみと船戸の森・湧き水の小径コース》 【日程】10月2日(日)【参加者】27人 《新木・古戸の古社と里を巡るコース》 【日程】10月16日(日)【参加者】27人 《“守られた自然”かじ池・谷津を巡るコース》 【日程】11月13日(日)【参加者】21人</p> <p>●出前講座「あびこの景観」 ・第1回目 【日程】7月20日(水)【時間】午前9時30分～11時【場所】アビスタ第3学習室【参加人数】11人 ・第2回目 【日程】平成29年2月17日(金)【時間】午前10分～11時30分【場所】天王台北近隣センター【参加人数】35人</p>	<p>●我孫子のいろいろ八景歩き参加者(28年度実施分8コース合計) 193人</p> <p>●我孫子のいろいろ八景歩き「我孫子の景観を育てる会」と協働して、散策コースの選定、コースマップの編集・印刷作業、広報活動、散策実施時の案内等を行った。</p> <p>●我孫子のいろいろ八景歩き我孫子の景観を育てる会への業務委託料 534,000円(マップの印刷費含む)</p>	A. 成果・効果があった ●我孫子のいろいろ八景歩き各コースの景観ポイントをガイドしながら散策する事を通して、我孫子の魅力ある景観を広めるきっかけ作りが出来た。 ・参加者アンケートでは、7割以上の方に、参加して「大変満足」との回答を得られた。 ・J-COMTV「東葛調査隊」で特集されるなど、メディアでも取り上げられている。	A. 現状どおり推進 ●我孫子のいろいろ八景歩き これまでですべて日曜日に実施していたが、市民からの要望を受けて、平日にも実施する。	<p>●我孫子のいろいろ八景歩き散策会を8回実施する。平成29年度新規4コースについては、コースマップも新たに作成する。 ①平成28年度既存コースの再実施(各コースの定員は25人) ・「古道をたどり森と水辺が招く古利根コース」6月4日(日) ・「新木・古戸の古社と里を巡るコース」6月6日(火) ・「白山のまちなみと船戸の森・湧き水の小径コース」6月8日(木) ・「“守られた自然”かじ池・谷津を巡るコース」6月12日(月) ②平成29年度新規4コースの実施(各コースの定員は25人。コース名は未定) ・我孫子エリアコース 10月15日(日) ・湖北エリアコース 10月22日(日) ・新木・布佐エリアコース 10月29日(日) ・天王台・東我孫子エリアコース 11月5日(日) ●水八景マップ 市内の水にまつわる景観を紹介するマップを作成し、配布する。</p>	<p>●我孫子のいろいろ八景歩き「我孫子の景観を育てる会」と協働して、散策コースの選定、コースマップの編集・印刷作業、広報活動、散策実施時の案内等を行う。</p> <p>●水八景マップ「我孫子の景観を育てる会」と協働して、マップの編集・印刷作業、広報活動等を行う。</p> <p>●我孫子のいろいろ八景歩き、水八景マップ我孫子の景観を育てる会への業務委託料 548,000円(マップの印刷費含む)</p>	都市計画課	
13	あびバス景観マップの作成 多くの市民に景観への関心を持ってもらうとともに、あびバス利用の促進や観光資源としての活用を図るため、市民団体と協働して、あびバス景観散策マップを作成する。	<p>・新たに「布施・根戸ルート」のマップ作成を進めた(完成・配布は29年度を予定)。 ・作成済ルート(「船戸・台田ルート」、「栄・泉・並木ルート」、「新木ルート」)のマップを引き続き市内各公共施設やあびバス車内にて配布。</p>	平成28年度は、「布施・根戸ルート」作成のための調査・準備を行ったため、実績となる数値は無し。	A. 成果・効果があった ・各ルートのマップは、作成する度に好評を博しており、多くの人に手に取って頂いている。 ・マップの配布を通じて、我孫子の魅力ある景観を周知することが出来た。	A. 現状どおり推進 ・「布施・根戸ルート」のマップを完成させ、配布する。 ・作成済みルートのマップも引き続き配布していく。	<p>・「布施・根戸ルート」は、完成後に4000部印刷し、市内各公共施設及びあびバス車内で配布する。あわせて、市ホームページからもダウンロード可能にする。 ・作成済みルートのマップも引き続き配布していく。</p>	<p>景観づくり市民団体「我孫子の景観を育てる会」と協働して、散策ルートの選定やマップ編集作業を行った。</p>	都市計画課	
			なし	なし					

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課	
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	14 住宅情報の総合的提供 市のホームページに「住まい」に関する情報提供ページを設け、市が行っている住宅施策や市営住宅、マンション管理等の情報を提供する。	住まいに関わる情報発信(ホームページ) ・住まいに関わる相談(住宅、不動産相談) ・マンション管理(セミナー、個別相談) ・住まいに関わる助成、補助(若い世代の住宅取得、住宅リフォーム補助金) ・市営住宅(入居募集、団地詳細)(広報等) ・若い世代の住宅取得補助金(5/1、8/16、2/1) ・我孫子市住宅リフォーム補助金(4/1、10/16、12/16) ・マンション問題個別相談会(4/1、9/16、2/1) ・マンション管理セミナー(6/1、11/16)	【住宅・不動産相談申込件数】 住宅相談 10件(うち、空家・空地に関する相談 0件) 不動産相談 29件(うち、空家・空地に関する相談 2件)	A. 成果・効果があった 「住まい」に係る情報は、事業のスケジュール等に合せ、必要に応じて更新を行っており、これらの各種情報は市民の住生活の維持向上を図るうえで重要な役割を果たしている。	A. 現状どおり推進 なし	引き続き、市ホームページや広報を活用の他、関連課等と連携しながら広報手段を検討し、必要とされる情報を幅広く発信する。	・住宅相談:我孫子住宅センター協議会に相談員の派遣を依頼。 ・不動産相談:宅建協会我孫子支部に相談員の派遣を依頼。 ・マンション管理相談、セミナー:千葉県マンション管理士会に相談員の派遣を依頼。	建築住宅課
		15 水道広報活動推進事業 水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回(5/16号・11/16号)発行 ・新聞折り込みにより市内全戸配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ・「あびこの水道」発行部数 103,000部 ●水道施設見学会 【場所】北千葉広域水道企業団・妻原浄水場 【実施日】平成28年8月18日(木) 【対象者】小学生3~6年生とその保護者 【参加人数】23人 ●我孫水(水道水)のPR ・各種イベント等で我孫水を配布し、水道水のおいしさをPR	【「あびこの水道」発行部数】 103,000部 (年2回 51,500部) なし	A. 成果・効果があった 施設見学会後のアンケートでは、概ね好評の評価を得た。 各種イベントにおける我孫水(ペットボトル)配付効果の検証が困難。	B. 改善・見直しを行う 我孫水(ペットボトル)の作成目的について整理を行い、各種イベント配付についてはより効果的な配付方法を検討する。	●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回(5/16号・11/16号)発行 ・新聞折り込みにより市内全戸配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ●水道施設見学会 【対象者】小学生3~6年生とその保護者 【募集人数】24人 ●水道水のPR ・広報や各種イベントでの我孫水(ペットボトル)配付を通して、水道利用者に、水道水の安全性、おいしさをPRする。	なし ●広報「あびこの水道」発行 委託料 1,150,200円 通信運搬費 21,320円	水道局経営課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
16	生涯学習情報の発信  各課で実施する生涯学習関連事業について、「あびこ楽校ニュース」や「生涯学習のホームページ」などにより広く情報の発信を行い、生涯学習関連事業の活用の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームページ 生涯学習に関連するイベントを生涯学習のページ「学び・生涯学習」で紹介。</li> <li>●あびこ楽校ニュース 生涯学習の情報紙として、年4回発行。 【印刷部数】29号30号:7,000部 31号32号:3,000部 【配付先と設置場所】教育委員会、市役所本庁ロビー、アピスタ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、鳥の博物館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、市民体育館、市内近隣センター、行政サービスセンター、高齢者なんでも相談室、市民プラザ、アピシルベ、農産物直売所、保健センター、消費生活センター、商工会、子ども発達センター ※自治会年度途中まで 《29号》 【発行日】4月16日 【内容】ハケの道さんぽ～布佐地区～、植栽とのふれあい(緑の講演会、みどりのボランティア事業、生ごみの処理)、我孫子の地名シリーズ「一里塚」、生涯学習出前講座を紹介 《30号》 【発行日】7月16日 【内容】手賀沼花火大会情報、ENJOY!!夏休み!～イベントに行こう～(鳥の博物館主催の夏休み工作・観察イベント、夏休みこども宿題お助け教室、夏休み絵本朗読会&amp;アニメ映画会、市内展示会情報)、生涯学習出前講座を紹介 《31号》 【発行日】10月16日 【内容】あびこの鳥(我孫子に生息する鳥の紹介)、我孫子の鳥図鑑(鳥の博物館企画展)、我孫子市視聴覚ライブラリー、湖北郷土資料室オープン、生涯学習出前講座を紹介 《32号》 【発行日】28年1月16日 【内容】我孫子市防災&amp;防火情報、地域交流教室の紹介、白樺文学館イベント、生涯学習出前講座を紹介</li> <li>●〔楽〕マーク 各課で実施する生涯学習関連事業について、広報掲載時にあびこ楽校事業として〔楽〕マークを付けて、生涯学習事業の周知・普及を図った。 【年間掲載数】303件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【生涯学習トップページのアクセス数】 4629件</li> <li>あびこ楽校ニュースの配付にあたり、市民プラザやアピシルベ、農産物直売所、商工会、年度途中までは自治会に協力してもらい配付を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 成果・効果があった あびこ楽校ニュースを27年度から28年度の途中まで市内自治会への回覧・配付を行い、より多くの方へあびこ楽校ニュースの存在と市の生涯学習情報の周知をすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B. 改善・見直しを行う あびこ楽校ニュース発行にあたり、年間通じたテーマや記事のネタを作ること、あびこ楽校ニュースならではの強みや良さを生み出す。 FacebookやTwitterなどの市管理アカウントを活用してより多くの人に周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページや情報紙などにより生涯学習に関する情報提供を行う。</li> <li>●ホームページ 情報の更新を積極的に行い、新しい情報を発信できるようにし、閲覧回数の増加をめざす。</li> <li>●あびこ楽校ニュース 生涯学習の情報紙として、年4回発行する。市で行っている生涯学習情報を積極的に発信する。 【発行日】5月16日、8月16日、11月16日、平成30年2月16日(予定)</li> </ul>	なし	生涯学習課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●あびこ楽校ニュース 29号30号 各52,164円(各7,000部)</li> <li>31号32号 各49,896円(各3,000部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>27年度から自治会配付を実施したが、自治会からの回覧資料の削減の要望が市民活動支援へ多数あり、相談の結果、自治会への配付を中止した。 より多くの方へ生涯学習情報を提供するため、発信方法の検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あびこ楽校ニュース印刷代 199,584円(年4回発行分)</li> </ul>				
17	生涯学習情報提供システムの整備  学習や活動を行う市民や団体が自ら情報を提供することができるホームページの作成する。また、市が提供する人材情報・団体情報・イベント情報等の学習情報をメール配信やホームページ閲覧等を用いて、いつでも情報の発信や収集ができる環境を提供する。	平成29年度導入をめざし、市民活動支援課と連携しながら生涯学習情報提供システムの導入の検討を行った。	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>B. あまり成果・効果がなかった 市民活動支援課と協議を行うことで、既存の市民活動ステーションやあびこ市民活動ネットワーク等のHPの活用状況について情報共有を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C. 廃止・休止 市民活動ステーションなどの既存のHPと検討していた情報提供システムは、掲載内容に大きな違いがないため、生涯学習情報提供システムの新たな導入は行わない。 あびこ市民活動ネットワークについても28年度4月に団体情報などを掲載しているHPを開設したばかりであり、市民活動ステーションのHPについても平成29年4月にリニューアルを行った。 今後は既存のHPを活用して生涯学習課と市民活動支援課でお互いの不足を補うように情報提供に努める。</li> </ul>	なし	なし	生涯学習課

基本目標 1  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

① 学びへの情報提供体制の充実

	NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容			担当課	
				指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算			
				市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)							
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	18	<p>電腦考古博物館の運営</p> <p>我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。</p>	<p>最新情報として、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財などの情報更新を行った。</p>	<p>【ホームページ閲覧数】 2,415件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>・27年度末より見やすく分かりやすい内容に更新し、閲覧者より好評であった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>・イベントや新着情報を速やかに内容に反映する。</p>	<p>今年度も継続して、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財などの情報更新を行っていく。</p>	<p>なし</p>	文化・スポーツ課	
		19	<p>図書館における郷土・行政資料サービス</p> <p>多くの市民に我孫子市や千葉県<small>の郷土や行政に関心をもち、郷土・行政資料の収集・保存・提供に努め、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。</small>我孫子市の資料については、アビスタ本館が中心となり、収集・保存する。</p>	<p>我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供した。我孫子資料については、特にアビスタ本館が中心となって収集・保存した。白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講演会の開催を行った。</p> <p>《杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント》 【内容】第1回 楚人冠講座「大正の我孫子に暮らした人々」 【日程】9月4日(日) 【場所】アビスタ第2学習室 【参加者】34人</p> <p>【内容】第2回 楚人冠講座「杉村楚人冠の人と作品」 【日程】1月21日(土) 【場所】アビスタ第2学習室 【参加者】29人</p> <p>《「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営》 図書館に、我孫子ゆかりの人と作品を紹介するコーナーを設置</p>	<p>【郷土行政資料(我孫子資料・千葉県資料)の年間貸出冊数】 3,893冊(昨年度比 -9.7%)</p> <p>白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講演会の開催</p> <p>嘱託職員報酬他 1,386千円 事務用消耗品 38千円</p>	<p>A. 成果・効果があった</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供する。我孫子資料については、特にアビスタ本館が中心となって収集・保存する。白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講演会の開催を行う。</p> <p>白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携をはかり市民スタッフの協力を得て講演会を実施する。</p> <p>嘱託職員報酬他 1,449千円 事務用消耗品 53千円</p>	<p>なし</p>		図書館
		20	<p>図書館の情報化推進</p> <p>図書館の電算システム等を運用し、市民の利便性の向上を図るとともに、過去の出来事や事件を手軽に調べることができる新聞の有料データベースにより情報提供を行い、知る自由を保障する。</p>	<p>図書館電算システムを更新した(平成29年1月)。図書館電算システム及び事務機器等を運用し、トラブル等に対処した。館内検索コンピュータを運用し、利用者サービスに努めた。新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努めた。</p>	<p>【インターネット及び館内検索コンピュータからの予約(リクエスト)受付件数(年間)】 98,850千件(昨年度比 -2.2%)</p> <p>なし</p> <p>書誌データ使用料 463千円 消耗品費 155千円</p>	<p>A. 成果・効果があった</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>図書館電算システム及び事務機器等を運用し、トラブル等に対処する。館内検索コンピュータを運用し、利用者サービスに努める。新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努める。</p>	<p>なし</p> <p>書誌データ使用料 463千円 消耗品費(利用カード) 193千円</p>		図書館
		21	<p>鳥の博物館ホームページの運営</p> <p>鳥の博物館専用ホームページを運営し、鳥の博物館のイベント情報、企画展のお知らせ等、博物館事業の情報提供を行う。</p>	<p>昨年度に引き続き、企画展やイベント情報など最新情報を発信した。 【ホームページ更新回数】 159回</p>	<p>【ホームページ更新回数】 160回</p> <p>なし</p> <p>ブログ管理手数料 25,920円 生態観察OBISシステム管理手数料 49,680円</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>ホームページで情報を得てイベントに参加する市民も多く、一定のPR効果があると考えられる。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>昨年度に引き続き、企画展やイベント情報など最新情報を発信していく。</p>	<p>なし</p> <p>ブログ管理手数料 25,920円 生態観察OBISシステム管理手数料 49,680円</p>		鳥の博物館

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課	
			指標と実績	評価	今後の進め方	具体的内容	市民・事業者との協働 予算		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
②学びにつなげるための相談体制の充実									
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	22	生涯学習学習相談体制の整備	生涯学習センター「アビスタ」を拠点とした学習情報の収集と提供を行った。また収集した情報を活用した学習相談を行った。「生涯学習人材情報」や「生涯学習団体・グループ情報」を整備し、インターネットや閲覧用ファイルで市民に情報を提供した。	【学習相談件数】 80件	A. 成果・効果があった 生涯学習人材情報、生涯学習団体・グループ情報のホームページや閲覧用冊子を参照した方からの問い合わせが多数あった。出前講座メニュー表を配布することで、市民に主体的な学習機会を提供できた。	A. 現状どおり推進 なし	生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。	なし	生涯学習課
		市民一人ひとりの学習ニーズに対応した学習相談に応じるため、さまざまな学習情報を収集し、提供できるように学習相談体制を整備する。	《出前講座メニュー表》 【発効日】随時発行 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール	なし	なし	なし	なし		
		生涯学習人材バンクの整備	「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」について、3年ごとに定期更新を行ない最新の情報へ更新を行う。次回平成30年度予定。また、随時登録募集を行うとともに、市民の問い合わせに対し情報を提供した。	【新規登録件数】 人材情報 6件 団体情報 9件	A. 成果・効果があった 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方からの問い合わせが多数あった。	A. 現状どおり推進 「生涯学習人材情報」と「生涯学習団体・グループ情報」を3年毎に定期更新する。次回平成30年度予定。	生涯学習人材情報、生涯学習団体・グループ情報について、随時登録募集を行い、情報数を増やす。課内の情報共有を行い、問い合わせに対し迅速に回答できるようにする。	なし	
市民の能力、経験や学習の成果をボランティア活動や市民活動に活かすため、絶えず人材情報や生涯学習団体情報のデータ更新を行い、情報の提供を行う。	なし	なし	なし	なし	なし				
24	生涯学習ボランティア	市民がもっている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図った。	【平成28年度末 ボランティア登録数】 《個人登録数》 1,700人 《団体登録数》 25団体	A. 成果・効果があった 多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習を推進した。	A. 現状どおり推進 なし	市民が持っている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図る。	多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習事業を実施する。	生涯学習課他6課	
		《子ども支援課》 宿泊通学スタッフ 15人 あびっ子クラブサポーター 195人 《保育課》 子育て支援施設子育てボランティア 53人 子育てサポーター 89人 保育園における災害時協力員 65人 インターンシップ 25人 キッズスタッフ 1人	多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習事業を実施した。	なし	なし	なし			
		《指導課》 学校支援ボランティア 1,103人 19団体 《文化・スポーツ課》 文化事業市民スタッフ 29人 《鳥の博物館》 鳥の博物館市民スタッフボランティア 32人 《図書館》 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 13人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 10人 《生涯学習課》 生涯学習出前講座市民講師 60人、6団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 10人	なし	なし	なし	なし			

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
25	視聴覚ライブラリーの管理・運営  現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理しながら、広く市民や団体に貸し出し、市民の生涯学習活動を支援する。	●視聴覚教材及び機材の貸出(通年) 【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者 【視聴覚機材利用件数】459件(機材別集計の合計) 【視聴覚教材利用件数】 16ミリフィルム: 105件(昨年度比 ±0件) ビデオソフト: 4件(昨年度比 +4件) DVD: 45件(昨年度比 +22件) 合計 154件  ●機材・教材保有状況 ・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンブセットなど約20種類の機材 ・16ミリフィルム: 325本 ・ビデオソフト: 187本 ・DVD: 212本  ●視聴覚教材の保守点検 【日程】10月27日 【16ミリフィルム保守点検数】90本	【視聴覚ライブラリー利用件数(機材・教材の合計)】 613件  (株)ひかり映画社に委託し16ミリフィルムの保守点検を行った。	A. 成果・効果があった  視聴覚ライブラリーのチラシや目録を更新し、市内公共施設や学童等に配付をしたことで、利用件数が少しではあるが増加した。利用件数が増えたことで昨年より一層、生涯学習活動の支援につながったと考えられる。	A. 現状どおり推進  現状あるものを長く使えるよう、取り扱いには気をつけてもらい、より多くの方に利用してもらうよう周知を行う。	●視聴覚教材及び機材の貸出(通年) 【対象者】市内に在住または在勤し、営利を目的としない者。  ●視聴覚教材の保守点検	16ミリフィルムの保守点検を委託して行う。  ●16ミリフィルム保守点検 60,000円 ●消耗品 77,000円 ●視聴覚機材修繕 60,000円	生涯学習課
		●図書資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行った。また、返却された図書資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。 ●図書サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館した。また、アビスタ本館は午後8時まで開館した。 ●窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。 ●利用者の求める図書資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。	【年間貸出冊数】 1,144千冊(昨年度比 -4.8%) 【年間貸出利用者数】 301,286人(昨年度比 -3.8%)  なし	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	●図書資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行う。また、返却された図書資料を元の書架に戻し、書架整理を行う。 ●図書サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館する。また、アビスタ本館は午後8時まで開館する。 ●窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行う。 ●利用者の求める図書資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行う。	なし	
26	図書館カウンターサービス  図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	●嘱託職員報酬他 46,841千円 ●臨時図書整理員賃金他 12,538千円 ●事務用消耗品 204千円 ●研修旅費 33,611千円 ●燃料費 317千円 ●複写機サービス料 363千円 ●事務機器使用料(コピーリース料) 312千円	なし			●嘱託職員報酬他 45,079千円 ●臨時図書整理員賃金他 13,244千円 ●事務用消耗品 250千円 ●研修旅費 55千円 ●燃料費 357千円 ●複写機サービス料 493千円 ●事務機器使用料(コピーリース料) 312千円 ●研修旅費(嘱託職員分) 13千円 ●施設備品購入費 93千円 ●研修負担金 18千円 ●嘱託職員報酬他(1号)2人 2,114千円		

基本目標 1 ②学びにつなげるための相談体制の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
			具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
				市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	27	② 学びにつなげるための相談体制の充実  図書館利用に障害のある方へのサービス  録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	<p>ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デージー録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なった。 また、ハンディキャップサービスのPRを行なった。</p>	<p>【宅配・郵送・対面朗読等年間利用件数】 《対面朗読サービス》 47回 《郵送貸出サービス(デージー録音図書含む)》 1,032回 《宅配サービス》 246回 《窓口でのデージー録音図書貸出》 229点</p> <p>対面朗読は市民スタッフ、録音図書作成は市内朗読ボランティアと協働して実施した。</p> <p>嘱託職員報酬他 720千円 市民スタッフ対面朗読担当報償費 35千円 消耗品費 38千円</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	<p>ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デージー録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なう。 また、ハンディキャップサービスのPRを行なう。</p> <p>対面朗読は市民スタッフ、録音図書作成は市内朗読ボランティアと協働して実施する。</p> <p>嘱託職員報酬他 767千円 市民スタッフ対面朗読担当報償費 92千円 デージー録音図書作成用消耗品費 63千円</p>	図書館	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
28	交通安全思想の普及 警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全思想の普及を図る。	<p>③学びへの関心を高めるための啓発の充実</p> <p>保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催した。 模擬信号機、模擬交差点、車両等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をするほか、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償について学んでもらった。</p> <p>【日程・対象・参加者数・内容】 4月8日(金)布佐中1年 68人 自転車、4月11日(月)我孫子中1年 314人 自転車 4月14日(木)白山中1年～3年 695人 自転車、4月26日(火)湖北台西小3年～4年 109人 自転車 4月27日(水)湖北台西小5年～6年 121人 自転車、4月28日(木)湖北台西小1年～2年 100人 歩行 5月2日(月)湖北小1～2年 119人 歩行、5月9日(月)わだ幼稚園園児 131人 歩行 5月9日(月)高野山小1年 51人 歩行、5月11日(水)緑保育園園児 100人 歩行 5月18日(水)久寺家中1年 174人 自転車、5月20日(金)第一小3年 90人 自転車、1年～2年 196人 歩行 5月23日(月)ひかり幼稚園園児 160人 歩行、5月24日(火)第二小1年 64人 歩行 5月25日(水)布佐南小2年～6年138人 自転車、1年 36人 歩行 5月31日(火)湖北台東小1年～2年 110人 歩行、6月1日(水)湖北台東小3年 42人 自転車 6月3日(金)根戸小1年 150人 歩行、6月7日(火)新木小1年～2年156人 歩行、3年 82人 自転車 6月8日(水)並木小3年 64人 自転車、1年 48人 歩行、6月10日(金)新木小4年～6年 274人 自転車 6月15日(水)禮和保育園園児 51人 歩行、6月20日(月)第四小1年～2年 285人 歩行 6月23日(木)第三小4年 120人 自転車、6月24日(金)布佐台幼稚園園児 240人 歩行 6月30日(木)布佐小1年～2年 65人 歩行、3年 34人 自転車 10月14日(金)湖北小3年～4年 128人 自転車 10月28日(金)ぼけっとランドあびこ保育園園児 66人 歩行、11月11日(金)湖北台保育園園児 100人 歩行</p>	<p>【交通安全教室延べ開催回数】 47回</p> <p>警察のほか、我孫子交通安全協会と市の三者で連携・協力して開催。</p> <p>需用費(印刷製本費) 自転車安全運転受講者証 8千円 需用費(修繕料) 模擬信号機修繕料 24千円</p>	<p>A. 成果・効果があった 子どもたちへの交通安全に対する認識を高めることができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進 なし</p>	<p>③学びへの関心を高めるための啓発の充実</p> <p>保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催する。 模擬信号機、模擬交差点、車両等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をするほか、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償について学ぶ。</p> <p>警察のほか、我孫子交通安全協会と市の三者で連携・協力して開催。</p> <p>需用費(印刷製本費) 自転車安全運転受講者証 8千円</p>	<p>市民安全課</p>	
		29	<p>集団健康教育 保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。</p>	<p>集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施した。</p> <p>【内容】がん、禁煙、ロコモティブシンドローム、歯の健康等 【場所】保健センター 【参加者(延べ人数)】延べ実施人数: 10,930人(集団:子宮頸がん検診 2,985人、乳がん検診 4,292人(マンモグラフィー検査2,979人 超音波検査1,313人)、胃がん検診 3,218人、骨粗しょう症検診 435人)</p>	<p>【参加者(延べ人数)】 10,930人</p> <p>なし</p> <p>なし</p>	<p>A. 成果・効果があった 糖尿病、高血圧、動脈硬化やがんの知識と食生活・運動習慣・休養・喫煙・アルコール・口腔衛生などに関する健康教育を実施することで、健康寿命の延伸、疾病の一次予防の推進を図ることができた。</p> <p>集団健康教育のみの効果が評価しにくい。</p>	<p>A. 現状どおり推進 健康教育は様々な場で啓発していく必要があり、内容も検討しながら引き続き実施していく。</p>	<p>集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。(内容:がん、禁煙、歯の健康、ロコモティブシンドローム等)</p> <p>今はなし</p> <p>なし</p>

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課		
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算			
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)							
30	健康フェア	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。 【日程】11月20日 【場所】アビスタ 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【内容】テーマ「健康寿命を延ばそう! Smart Life Project!」健康に関するイベント、健康相談・教育、講演等を実施。 【参加者】延べ2,446人	【来場者アンケート】 «「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた割合» 94%	A. 成果・効果があった 来場者アンケートでは、「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた方が約94%を占めた。また、肺の病気に関する講演会を実施し、COPDの認知度や禁煙の必要性を周知できた。事業を通して健康づくりへの意識向上を促せたと考える。	A. 現状どおり推進 なし	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催予定。 【日程】11月19日 【場所】アビスタ 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【共催】(公財)健康・体力づくり事業財団 【内容】テーマ「健康貯金をはじめよう!」健康に関するイベント、健康相談・教育、講演等を実施する予定。	健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等)主催で実施予定。	健康づくり支援課		
	健康寿命の延伸に向けて、市民が普段から健康増進に努め、病気の原因となる危険因子を予防・改善する“一次予防”に取り組めるよう、健康に関する啓発を行う。健康づくりに関する情報提供や健康相談、ニュースポーツなど様々な健康づくりの取り組みを紹介し、健康における運動習慣の重要性に関する啓発を行う。	健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等)主催で実施。	774千円	なし		負担金 639千円				
31	廃棄物に関する教育啓発事業	イベントや小学生を対象にした施設見学は、放射能を含む焼却灰を取り扱っているため休止。再開の目処はたっていない。	【事業開催回数】 0回	C. 未実施・わからない なし	C. 廃止・休止 新規焼却施設の建設準備のため順次解体工事が実施されていることから施設見学は休止。	なし	なし	クリーンセンター		
	我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介し、生活から排出される「ごみと資源」について共に考え、廃棄物行政への理解とごみの減量、リサイクルの推進を図る。	なし	なし	小学生を対象にした施設見学は、放射能を含む焼却灰を取り扱って休止していた。放射能については問題はなくなったが、新規焼却施設建設の準備のため随時解体工事が実施されるので、再開は新炉建設後になる予定。			なし			
32	石けん利用の推進	●保育園での啓発 ①【日程】7月2日 【場所】寿保育園 【参加者数】 272人 ②【日程】7月9日 【場所】湖北台保育園 【参加者数】 166人 ③【日程】7月26日 【場所】わくわく広場 【参加者数】 23人 ④【日程】8月22日 【場所】にこにこ広場 【参加者数】 23人  ●せっけん学習会 «手賀沼流域フォーラム» 【日程】7月23日 【場所】アビスタ 【参加者数】 43人 «福祉ふれあいプラザ親子体験教室» 【日程】11月12日 【場所】けやきプラザ 【参加者数】 24人  ●イベント参加 «子育てフェスタ» 【日程】9月3日 【場所】イトーヨーカドー我孫子南口店 【参加者数】137人 «産業まつり» 【日程】10月16日 【場所】湖北台中央公園 【参加者数】 不明 «福祉プラザ石けん学習会» 【日程】11月12日 【場所】けやきプラザ 【参加者数】 24人 «ママへのごほうびフェスタ» 【日程】9月3日 【場所】アビクオーレ 【参加者数】222人	【来場者数】 928人(参加者数不明の産業まつりを除く)  すべてのイベント《我孫子市石けん利用推進協議会》と協働で実施。	A. 成果・効果があった 保育園やわくわく広場などで、親子を対象にした形態、学習会として参加申込みをしていただく形態、大きなイベントのコーナーとしての形態と、3様の事業を行い、子どもから大人まで楽しみながら石けんの良さや環境との係わり合いについての関心を深めることができた。	A. 現状どおり推進 なし	●保育園での啓発 ①【日程】7月 【場所】未定 ②【日程】7月 【場所】未定 ③【日程】8月21日 【場所】にこにこ広場  ●せっけん学習会 «手賀沼流域フォーラム» 【日程】7月22日 【場所】アビスタ «福祉ふれあいプラザ親子体験教室» 【日程】11月 【場所】けやきプラザ  ●イベント参加 «子育てフェスタ» 【日程】9月 【場所】イトーヨーカドー我孫子南口店 «産業まつり» 【日程】10月 【場所】湖北台中央公園 «福祉プラザ石けん学習会» 【日程】11月 【場所】けやきプラザ	すべてのイベント《我孫子市石けん利用推進協議会》と協働で行う。	【配付物】 せっけんの街200g(粉せっけん) 102円×900コ×1.08=99,144円 石けん 200円×95コ×1.08=20520	【配付物】 粉石けん 102円×2,000袋×1.08=220,320円 石けん素地 100円×250コ×1.08=27,000円	商業観光課
	石けんの利用を通して、私たちの生活と環境とのかかわりに関心を持ってもらい、手賀沼浄化や地球温暖化など環境改善につなげる。									

基本目標 1 ③学びへの関心を高めるための啓発の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
33	小学校『歯磨き・食育指導』事業  乳歯から永久歯への交換期である児童の歯・口の健康づくりを目指すため、小学生に対して歯磨き・食育指導を実施する。	・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に各教室で講話と歯磨き実習を実施した。 【実施回数】109回 【場所】市内小学校13校 【対象者】3,243人	【給食後の歯磨きを実施している学校数】 13校	A. 成果・効果があった 対象年齢にあわせた歯磨き・食育に関する啓発ができた。	A. 現状どおり推進 なし	・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に各教室で講話と歯磨き実習を実施予定。 (実施回数・参加者は見込み数)  【実施回数】109回 【場所】市内小学校13校 【対象者】2,900人	なし	学校教育課
		・臨時歯科健康診断時に、希望する各学校で必要とする児童に対し、歯磨き指導を実施した。 【実施回数】3回(3校で実施) 【場所】市内各小学校 【対象者】242人	【消耗品費 合計額 12,744円】 ・綿棒 90円×16ケース=1,440円 ・歯垢染出し液(赤) 399円×8本=3,192円 ・" (ダブルチェックー青) 498円×4本=1,992円 ・紙コップ(1000個入り) 1,490円 ・糸付ようじ 188円×20袋=3,760円 ・手指消毒液 870円×1本=870円	なし	・臨時歯科健康診断時に、希望する各学校で必要とする児童に対し、歯磨き指導を実施。 【実施回数】3回 【場所】市内各小学校 【対象者】250人	【消耗品費 合計額 11,381円】 ・綿棒 90円×15ケース=1,350円 ・歯垢染出し液(赤) 399円×7本2,793円 ・" (ダブルチェックー青) 498円×3本=1,494円 ・紙コップ(1000個入り) 1,490円 ・糸付ようじ 188円×18袋=3,384円 ・手指消毒液 870円×1本=870円		
34	生涯学習推進計画事業実施状況調査  市民が主役の生涯学習の推進を図るため、我孫子市生涯学習推進計画に基づく生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進行管理や調整を行う。	第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の平成27年度実施状況の具体的内容・課題、平成28年度の実施予定内容と廃止・見直し等の理由・代替事業の有無を把握するため、5から6月に計画に基づく事業の進行管理のための実施状況調査を実施する。	なし	A. 成果・効果があった 実施状況調査を実施したこと で、生涯学習関連事業の課題を 明白にすることができた。また、 審議会では調査表を元に、事業 についてより込み入った意見や 質問が出るようになった。	B. 改善・見直しを行う 調査内容が細かく、所管事 業が多い課では膨大な量 になってしまい負担が多い ため、より要点をまとめたコ ンパクトなものにできるよう 来年度以降で調査方法を 検討する。	第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づ く事業の平成28年度実施状況の具体的内容や 成果・課題、また、平成29年度の実施予定内 容など関連事業の調査を行う。 事業の廃止や見直しがある場合には、その理 由や代替事業の有無についても確認する。	なし	生涯学習課
		●平成27年度実施状況 実施計画(後期)に位置付けた139事業を実施計画事業として進行管理を 進めた。 【休止事業】 「廃棄物に関する教育啓発事業」(クリーンセンター) 【隔年事業】 「子ども議会」(指導課)、「高齢者虐待防止講演会」(高齢者支援課)	なし	各事業の担当課には各課が所 管する事業について、計画の基 本目標や施策を踏まえて生涯学 習の視点でどうだったのかを評 価して欲しいとお願いをしている が、実際そう言った共通認識で 行えているかという点で難しさを 感じている。 事業に関しては、集客やスタッフ の担い手・後継者の不足と言う 点で課題が多く見受けられた。	消耗品 20,000円			

基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

③学びへの関心を高めるための啓発の充実

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
35	生涯学習推進本部の運営  生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進計画の策定のほか、生涯学習に関する施策や各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行う。	<p>●推進本部会議 推進本部会議を開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、生涯学習の推進を図った。 《第1回》 【日程】5月18日【場所】議会棟 第一委員会室 【内容】 (1)生涯学習推進本部の趣旨・役割について (2)第三次生涯学習推進計画(概要版)について (3)我孫子市第三次生涯学習推進計画 前期実施計画(案)について ⇒承認 《第2回》 【日程】11月29日【場所】議会棟 第一委員会室 【内容】 (1)生涯学習推進計画実施計画実施状況調査について 6月に第二次生涯学習推進計画に基づく事業進行管理のため実施状況調査をし、平成27年度実施事業内容、平成28年度実施予定事業の把握を行った結果を報告した。</p> <p>●幹事会会議 推進本部会議を円滑に運営するため、7月に実施した第1回生涯学習審議会での意見等を踏まえ、各課で行われている生涯学習関連事業の課題やその対策について庁内連携で対応できないかなどを中心に会議を実施した。 【日程】10月12日【場所】我孫子市役所分館小会議室 【出席者】企画課、市民活動支援課、健康づくり支援課佐、子ども支援課、手賀沼課、クリーンセンター、農政課、道路課、都市計画課、水道局経営課、学校教育課、指導課、文化・スポーツ課、生涯学習課、図書館 【内容】 (1)生涯学習推進本部幹事会の役割について (2)生涯学習推進計画について (3)生涯学習推進計画実施計画実施状況調査表～平成27年度実施状況と平成28年度実施計画事業～について (4)生涯学習事業の27年度実施状況についての課題と解決・対応策、地域課題解決の担い手づくりについての各課の実施状況や今後の予定について</p>	<p>【推進本部会議開催数】 2回 【幹事会開催数】 1回</p> <p>なし</p> <p>なし</p>	A. 成果・効果があった 推進本部で、市の生涯学習推進計画の理念や基本方針、基本目標を説明し共有することで、関連事業を実施する際に共通の意識をもって取り組んでもらえるよう促せた。	A. 現状どおり推進	<p>●推進本部会議 推進本部会議を開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、生涯学習の推進を図る。</p> <p>●幹事会会議 推進本部会議を円滑に運営するため、生涯学習審議会での意見等を踏まえ、各課で行われている生涯学習関連事業の課題やその対策について庁内連携で対応できないかなどを中心に会議を実施する。 【出席者】企画課、市民活動支援課、健康づくり支援課佐、子ども支援課、手賀沼課、クリーンセンター、農政課、道路課、都市計画課、水道局経営課、学校教育課、指導課、文化・スポーツ課、生涯学習課、図書館</p>	なし	生涯学習課
36	健康スポーツ普及事業  市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、スポーツ指導者資格研修制度導入を研究する。	<p>《総合型地域スポーツクラブ》 ・市内6つのクラブにおいて、ベタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動した。 ・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動。 ・各クラブの活動の他に6クラブ連絡交流会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや市民メッセにおいて総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツにデモンストレーションを行った。</p> <p>●体育協会の委託事業 《市民体育大会》 【開催日】4月～3月(競技により開催日が異なる) 《チャレンジスポーツフェスタ》 【開催日】10月1日 《新春マラソン大会》 【開催日】1月22日 ●教育委員会、体育協会、スポーツ推進委員共催 《おとなのスポーツテスト》 【開催日】11月19日</p>	<p>《総合型地域スポーツクラブ》 【会員数】 477人</p> <p>●イベント参加者数 《市民体育大会》 【参加者】 5217人 《チャレンジスポーツフェスタ》 【参加者】 2,835人(延べ人数) 《新春マラソン大会》 【参加者】 1,913人 《大人のスポーツテスト》 【参加者】 112人</p> <p>《チャレンジスポーツフェスタ》 体育協会を主管として、スポーツ推進委員連絡協議会、スポーツ少年団と連携し、スポーツ体験、ニュースポーツ体験、新体力測定などを実施した。 《総合型地域スポーツクラブ》 連絡交流会に出席し、意見交換を行った。</p> <p>体育大会委託料 9,908千円</p>	A. 成果・効果があった 例年どおり多くの市民の参加を得て開催。	A. 現状どおり推進 なし	<p>《総合型地域スポーツクラブ》 ・市内6つのクラブにおいて、ベタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動する。 ・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動している。 ・各クラブの活動の他に6クラブ連絡交流会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや市民メッセにおいて総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツにデモンストレーションを行う。</p> <p>●体育協会の委託事業 《市民体育大会》 【開催日】 《チャレンジスポーツフェスタ》 【開催日】10月7日 《新春マラソン大会》 【開催日】1月28日 《大人のスポーツテスト》 【開催日】11月19日</p>	<p>《チャレンジスポーツフェスタ》 体育協会を主管として、スポーツ推進委員連絡協議会、スポーツ少年団と連携し、スポーツ体験、ニュースポーツ体験、新体力測定などを実施する。 《総合型地域スポーツクラブ》 連絡交流会に出席し、意見交換を行う。</p> <p>体育大会委託料 9,994千円</p>	文化・スポーツ課

基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容			担当課	
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算			
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)							
37	読書普及活動  依頼された市民団体の元へ 出向き、読み聞かせや読書 案内を行うことによって、市 民の読書への関心を高め、 図書館の利用促進を図る。	出前講座として、「子どもと読書」「大人が楽しむおはなし会」「図書館の上手な使い方・楽しみ方」の3つの講座を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行なった。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣した。 ・出前講座 「子どもと読書」(随時)「大人が楽しむおはなし会」(随時)「図書館の上手な使い方・楽しみ方」(随時) ・職員派遣(随時) ・離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ(月1回) ・出張おはなし会(随時)	【出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞かせの参加者数(年間)】 人(前年度 1,174人)	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	出前講座として、「子どもと読書」「大人が楽しむおはなし会」「図書館の上手な使い方・楽しみ方」の3つの講座を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行なう。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣する。 ・出前講座 「子どもと読書」(随時)「大人が楽しむおはなし会」(随時)「図書館の上手な使い方・楽しみ方」(随時) ・職員派遣(随時) ・離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ(月1回) ・出張おはなし会(随時)	市民スタッフ(読書普及担当)と協働して、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びの実演、本の紹介、図書館案内を実施する。	市民スタッフ(読書普及担当)と協働して、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びの実演、本の紹介、図書館案内を実施する。	図書館	
			市民スタッフ(読書普及担当)と協働して、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びの実演、本の紹介、図書館案内を実施した。					市民スタッフ読書普及担当報償費 125千円 消耗品費 13千円		市民スタッフ読書普及担当報償費 107千円 消耗品費 13千円
			市民スタッフ読書普及担当報償費 125千円 消耗品費 13千円							
38	図書館PR  図書館利用促進のためのPRや情報提供を行い、多くの市民に図書館サービスを周知する。	図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なった。 「我孫子市の図書館」「たんた新聞」「秋のたより」等の刊行物を発行した。	【ホームページの年間アクセス数】 701千件(前年度 524千件)	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なう。 「我孫子市の図書館」「たんた新聞」等の刊行物を発行する。	なし	なし	図書館	
			なし							
			嘱託職員報酬他 240千円 事務用消耗品 38千円					嘱託職員報酬他 341千円 事務用消耗品 47千円 印刷製本費(「図書館だより」) 21千円		
39	鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動  鳥類や自然科学への理解を深めることを目的に専門家を呼んで講演会を実施する。また、工作を楽しむ機会や、観察や体験の機会を提供するため、身近な材料でできる工作や、観察、体験を中心に実施する。	●講演・講座 《鳥学講座》 【日程】11月5日(土)【参加者】89人 《ゲストトーク》 【日程】11月6日(日)【参加者】37人 《鳥博セミナー》 【日程】2月18日(日)【参加者】32人  ●フロアスタッフイベント 【内容・日程】 《飛べ！鳥の紙ひこうき》 【日程】5月5日(木・祝)【参加者】32人 《鳥風教室》 【日程】5月5日(木・祝)【参加者】29人 《和紙で鳥のカードをつくろう》 【日程】5月10日(火)【参加者】161人 《夏の遊びと研究大集合！》 (8月6日から28日までの毎週土・日曜日と祝日) 8/6「ゴーストミズク」【参加者】21人 8/7「プープーカモ笛」【参加者】36人 8/11「メダカでアクアリウム」【参加者】59人 8/13「ばしゃばしゃペンギン」【参加者】53人 8/14「実物大！羽図鑑をつくろう」【参加者】55人 8/20「プープーカモ笛」【参加者】34人 8/21「土壌生物クマムシを観察しよう」【参加者】26人 8/27「ばしゃばしゃペンギン」【参加者】20人 8/28「くるくる鳥ひこうき」【参加者】35人	【参加者数(定員に対する割合の平均)】 《講演・講座》 158人(71%) 《フロアスタッフイベント》 576人、243家族(133%)	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	●講演・講座 《鳥学講座》 【日程】11月4日(土) 《ゲストトーク》 【日程】11月5日(日) 《鳥博セミナー》 【日程】2月下旬  ●フロアスタッフイベント 【内容・日程】 《飛べ！鳥の紙ひこうき》 【日程】5月4日(木・祝) 《鳥風教室》 【日程】5月5日(金・祝) 《和紙で鳥の羽をつくろう》 【日程】5月10日(火)【参加者】161人 《夏の遊びと研究大集合！》(8月5日から27日までの毎週土・日曜日と祝日) 《鳥風教室》1月8日(月・祝)	フロアスタッフイベントのうちのいくつかで、鳥博友や市民スタッフと協働する。	講師報償費 60,000円 消耗品 100,000円 市民スタッフ報償費 45,900円	鳥の博物館	
			各講座では、鳥に対する興味深い話を各分野の専門家から直接聞く機会を設けることができ、我孫子市外からの来館者も多く訪れた。また、イベントでは、特に小学生と保護者が多数参加し、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた。	なし						
			鳥博セミナー・イベント等経費 184,500円 ・講師謝礼 60,000円 ・消耗品 100,000円 ・市民スタッフ報償費 24,500円	なし						

基本目標 1 ③学びへの関心を高めるための啓発の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり				基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり		
①地域への関心を高める学びの機会の推進		①地域への関心を高める学びの機会の推進				①地域への関心を高める学びの機会の推進		
40	まちづくり探検隊  子どもたちがまちづくりについて意見を述べる機会と場をつくる。子どもたちの暮らしや環境をもっと良くしていくため、子どもたちががんばってできることや、大人に手助けして欲しいことを考える機会を提供する。							子ども支援課
41	子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)  放課後に子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる環境を整備し、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育む。	【活動内容】 フリータイム、チャレンジタイム 【対象者】 あびっ子クラブ設置小学校に在籍する1年生から6年生まで全ての子ども 【活動日】 月～金曜日：下校時～午後5時 土曜日、学校の振替休業日：午前10時～午後5時まで 春、夏、冬休み等の長期休業日：午前9時～午後5時 (ただし土曜日は午前10時～午後5時) ※11月～1月の閉室時間は、全日午後4時30分となります。 【活動しない日】日曜日・祝日・年末年始は実施しません。 【活動場所】あびっ子クラブメインルーム、体育館、校庭等 【オープン】 平成28年6月 湖北小あびっ子クラブオープン 平成29年3月 新木小あびっ子クラブオープン 【登録状況】 ●一小あびっ子クラブ：425人(登録率：75.1%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：お習字、おし花等 実施回数(年間)：179回 延べ参加人数：2,200人 ●四小あびっ子クラブ：623人(登録率：72.7%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、囲碁等 実施回数(年間)：125回 延べ参加人数：2,060人 ●根戸小あびっ子クラブ：731人(登録率：63.1%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：紙芝居、おはなし会等 実施回数(年間)：310回 延べ参加人数：3,904人 ●並木小あびっ子クラブ：289人(登録率：72.8%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：囲碁、工作等 実施回数(年間)：102回 延べ参加人数：1,083人 ●二小あびっ子クラブ：288人(登録率：67.1%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、工作等 実施回数(年間)：75回 延べ参加人数：843人 ●三小あびっ子クラブ：476人(登録率：65.4%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：茶道、囲碁等 実施回数(年間)：124回 延べ参加人数：1,373人 ●高野山小あびっ子クラブ：510人(登録率：78.0%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、工作等 実施回数(年間)：90回 延べ参加人数：1,454人 ●湖北台西小あびっ子クラブ：254人(登録率：76.7%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：吹矢、けん玉等 実施回数(年間)：81回 延べ参加人数：1,043人 ●湖北台東小あびっ子クラブ：205人(登録率：64.3%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：お習字、お話/影絵等 実施回数(年間)：135回 延べ参加人数：1,271人 ●湖北小あびっ子クラブ：273人(登録率：76.7%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、工作等 実施回数(年間)：68回 延べ参加人数：743人 ●新木小あびっ子クラブ：278人(登録率：54.0%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、工作等 実施回数(年間)：7回 延べ参加人数：86人 ●布佐南小あびっ子クラブ：103人(登録率：59.2%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：お話、けん玉等 実施回数(年間)：93回 延べ参加人数：1,306人  ※布佐小(長期休業日のみ布佐南小あびっ子クラブ利用)：30人(登録率：12.9%)	【チャレンジタイム総実施回数】 1,389回(全12クラブ合計)  地域の方々がサポーターとして、チャレンジタイムや子どもの見守りに参加することや、サポーター会議を通して子どもへの対応など意見交換をし、運営に生かした。  需用費：2,278,810円 役務費：1,506,619円 委託費：10,611,399円 使用料及び賃借料：929,472円 備品購入費：1,564,695円 報償費：1,693,500円(チャレンジタイムで講師として参加いただいたサポーターへのお礼として、1回のチャレンジタイムにつき1人500円、3387人分)	A. 成果・効果があった  平成28年6月に湖北小あびっ子クラブ、平成29年3月に新木小あびっ子クラブがオープンした。 新たなあびっ子クラブを設置したことで放課後により多くの子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる環境が増え、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育むことができた。  スタッフの年齢層の高齢化が進み、長期休暇等を含めあびっ子クラブを運営するスタッフの確保が難しくなっている。 また、疾病等を理由に退職するスタッフが増えたことや、加配児童等に対する保育の質向上が必要になってきたことから現スタッフに対するマネジメントの調整、新スタッフ確保の際には、心身ともに健全である方、保育の質向上の意欲を持つ方を確保する必要がある。	A. 現状どおり推進  平成30年度に布佐小あびっ子クラブ開室に向けて準備中。 引き続き、地域の方々がサポーターとして、チャレンジタイムや子どもの見守りに参加することや、サポーター会議を通して子どもへの対応など意見交換をし、運営に生かしていく。 スタッフの確保やケアが行えるような体制を考案する。	【活動内容】 フリータイム、チャレンジタイム 【対象者】 あびっ子クラブ設置小学校に在籍する1年生から6年生まで全ての子ども 【活動日】 月～金曜日：下校時～午後5時 土曜日、学校の振替休業日：午前10時～午後5時まで 春、夏、冬休み等の長期休業日：午前9時～午後5時 (ただし土曜日は午前10時～午後5時) ※11月～1月の閉室時間は、全日午後4時30分となります。 【活動しない日】日曜日・祝日・年末年始は実施しません。 【活動場所】あびっ子クラブメインルーム、体育館、校庭等	地域の方々がサポーターとして、チャレンジタイムや子どもの見守りに参加することや、サポーター会議を通して子どもへの対応など意見交換をし、運営に生かす。  需用費：2,430,000円 役務費：1,857,000円 委託費：19,763,000円 使用料及び賃借料：936,000円 備品購入費：432,000円 報償費：2,050,000円	子ども支援課

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課	
			指標と実績	評価	今後の進め方	具体的内容	市民・事業者との協働 予算		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの推進	42	谷津ミュージアムづくり 推進事業	●谷津の自然観察会 【日程】 5月7日(土) 【参加者数】 11人 7月18日(祝) 【参加者数】 27人 2月18日(土) 【参加者数】 20人 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)	●谷津の自然観察会 3回合計参加者 58人  ●谷津学校 受講者合計 7人  なし	A. 成果・効果があった  事業を実施したことにより、貴重な谷津の自然を認識いただいたとともに、谷津に興味を持ち保全していくボランティアについて理解が得られました。	A. 現状どおり推進  なし	●谷津の自然観察会 【日程】 5月13日(土) 実施予定 7月17日(祝) 実施予定 2月17日(土) 実施予定 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)  ●谷津学校 ≪15期生≫ 【日程】4月～3月 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) 【参加者】現在6名の参加	なし  講師報償費 59千円	手賀沼課
		手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津36.7ヘクタールをまるごと保全し、かつての農村環境の復活を目指す。	●谷津学校 ≪14期生≫ 【日程】4月～3月 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) 【参加者】7人	なし	現在活動をされているボランティアの高齢化が進んでいるため、会員募集の拡大および活動への参加呼びかけを強化しなければならない。				
		手賀沼船上学習の実施	小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。	市内小学校実施数 5校(13校中)	A. 成果・効果があった  市内の小学生に向けて手賀沼の歴史を教えるだけでなく、実際に船に乗りながら鳥などの生き物も見ることができるため、非常に人気である。	A. 現状どおり推進	小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。	特に無し	
43	遊覧船で手賀沼を一周しながら小学生や市民に手賀沼汚濁の歴史や状況などの話をする船上学習を開催し、手賀沼の浄化啓発を図る。	●手賀沼船上学習 【参加者】 ≪並木小学校≫6月9日 68人 ≪湖北台西小学校≫6月30日 50人 ≪第一小学校≫6月3日 99人 ≪第三小学校≫6月27日 128人 ≪第四小学校≫5月30日 151人	なし	他市では全小学生に対して船上学習を行っており、我孫子市でも全校実施について検討する必要がある。		船借上料 458千円	手賀沼課		
44	手賀沼流域フォーラムの開催  市民団体が中心となって水質浄化活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催 【企画数】33企画 [内訳]柏:7企画、我孫子:14企画、流山:1企画、松戸:3企画、鎌ヶ谷:2企画、白井:2企画、印西:4企画 【総参加者数】1,771人  ●全体会の開催 フォーラムの課題に沿った内容の全体会を開催。 【内容】 ・「流域思考の小網代保全」岸 由二氏 ・「大津川に再びホテルを夢みて」長原 邦子氏 ・ポスターセッション ・10月17日(月)～27日(木)にはストリートでプレパネルの展示 【日時】10月23日(日) 【場所】アビスタホール 【参加者】103人	【総参加者数】 1,874人  美しい手賀沼を愛する市民の連合会を中心として市民団体が主体となって各地域企画を実施した。	A. 成果・効果があった  地域企画はいずれも多くも参加者があり、昨年よりも多かった。中でも我孫子企画はもっとも企画数も多く、盛り上がりを見せている。	A. 現状どおり推進  なし	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。  ●全体会の開催 フォーラムの課題に沿った内容の全体会を開催する。 【日時】10月22日(日) 【場所】アビスタホール		美しい手賀沼を愛する市民の連合会を中心として市民団体が主体となって各地域企画を実施する。  なし	手賀沼課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課		
			具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働			
				市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算			
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進	①地域への関心を高める学びの推進	45	<p>ジャパンバードフェスティバル</p> <p>自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした芸術的・文化的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や手賀沼などの自然環境保全の情報の受発信を推進する。</p>	<p>改修工事の関係で水の館周辺が使用できないが、関係機関と協力し、様々な出展団体間の情報交換促進を行い、鳥の魅力と自然環境の大切さへの関心を持ってもらう機会づくりを行った。</p> <p>【開催日】 11月5日(土)、6日(日)</p> <p>【開催場所】 アビスタ、手賀沼親水広場等7会場</p> <p>【事業内容】 JBF2016では水の館がリニューアル工事期間であったため、仮設トイレや仮設通路の設置、雨天時の地面对策にコンパネを敷くなど対策を行って実施した。事業内容としては、以下のとおり。 ・海外6ヶ国からの出展団体の招へい…台湾、香港、モンゴル、フィリピン、ブータン、リトアニア ・鳥学講座…「コアジサシ保全活動の現場から」リトルターンプロジェクト会長 北村 亘氏 ・「野鳥の鳴き声の魅力と聞き分け方」日本野鳥の会理事 松田道夫氏 ・全日本鳥フォトコンテスト 応募数 1,232点</p> <p>【参加者】 40,000人(開催2日間延べ人数)</p>	<p>【参加者】 40,000人(開催2日間延べ人数)</p> <p>我孫子野鳥を守る会や中央学院大学、山階鳥類研究所等で実行委員会を構成し、協働で事業を実施した。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>2015年に市制45周年記念に合わせて海外出展者を招聘するようになり、今年度も継続して招聘したことで、より鳥の魅力や自然環境の大切さを知ってもらう機会の一助となった。 水の館が使用できなかったものの、各対策や好天にも恵まれ、記念大会であったJBF2015とほぼ同程度の来場者があり、大変盛り上がった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>水の館の改修が終わり、多目的広場も整備されたため、関係機関と協力し様々な出展団体間の情報交換促進を行い、鳥の魅力と自然環境の大切さへの関心を持ってもらう機会づくりを行う。</p> <p>【開催日】 11月4日(土)、5日(日)</p> <p>【開催場所】 アビスタ、水の館、手賀沼親水広場等7会場</p>	<p>我孫子野鳥を守る会や中央学院大学、山階鳥類研究所等で実行委員会を構成し、協働で事業を進めている。</p> <p>ジャパンバードフェスティバル負担金 2816千円</p>	鳥の博物館・手賀沼課・商業観光課	
			46	<p>地区計画制度の活用支援</p> <p>市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。</p>	<p>地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行った。</p> <p>●パンフレット 【配布場所】 市役所都市計画課 【配布部数】 100部</p>	<p>【ホームページ閲覧数】 955件 【地区計画の区域内における行為の届出件数】 59件</p> <p>なし</p> <p>なし</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>・常に最新の情報に更新することで市民・事業者に対して正確に情報を提供することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>・常に最新の情報に更新することで市民・事業者に対して正確に情報を提供することができた。</p>	<p>地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。</p> <p>なし</p> <p>なし</p>	なし	都市計画課
			47	<p>我孫子産農産物の学校給食導入事業</p> <p>我孫子産米や我孫子産野菜を取り入れた学校給食を通じて我孫子市の農業への興味関心を持ってもらうとともに、栄養バランスの優れた「日本型食生活」の定着を図る。</p>	<p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度は平均87.5%であった。 我孫子産野菜を平均月2.8回使用し、品数は4.1品目、使用割合は6.1%であった。</p> <p>●米飯給食 全校平均4.1回/週実施した。</p> <p>●和食の実施 平均61.6%の実施率であった。</p>	<p>【6月実施のアンケート結果】</p> <p>●我孫子産米の認知度 《小学校》 86.0% 《中学校》 90.7%</p> <p>●我孫子産野菜の認知度 《小学校》 85.1% 《中学校》 92.7%</p> <p>我孫子産野菜の給食導入事業において、市内農業者や農産物直売所、地産地消協議会と連携、協力した。</p> <p>●我孫子産米調達業務委託料 我孫子産米調達業務委託料 106,420kg × 68円 = 7,236,560円</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度が増加した。</p> <p>●米飯給食 ●和食の実施 米飯・和食給食を推進し、児童生徒に和食文化や日本型食生活の良さを伝えることができた。</p> <p>●我孫子産米・我孫子産野菜 認知度とともに食に関する選択・自己管理能力を高める必要がある。 我孫子産野菜の使用割合は天候不順が影響し、前年より0.38%減少した。</p> <p>●米飯給食 ●和食の実施 米飯・和食給食の推進がどう食育につながったかの評価が難しい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>我孫子産米、我孫子産野菜を使った学校給食を教材として、系統的に食育指導を充実し、児童生徒の興味関心、食に関する選択・自己管理能力を高めていく。</p>	<p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度88%を目標とする。 我孫子産野菜を月1~4回学校給食に使用し、品数・数量ともに微増を目標とする。</p> <p>●米飯給食 米飯給食回数3.9回/週を目標とする。</p> <p>●和食の実施 和食の実施回数を50%以上とする。</p> <p>●我孫子産米調達業務委託料 我孫子産米調達業務委託料 108,000kg × 68円 = 7,344,000円</p>	<p>我孫子産野菜の給食導入事業において、市内農業者や農産物直売所、地産地消協議会と連携、協力する。</p>	学校教育課

基本目標	NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
			具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
				市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの機会の推進	48	市民カレッジ 我孫子を知るコース  我孫子の歴史や我孫子と関わった文人たちの足跡を講義と史跡めぐりを交えて学び、郷土愛と市民意識の向上を図り、家族や地域へ伝承する機会とする。また、仲間づくりや生涯学習のきっかけづくり、我孫子市政や市民活動の現状などをテーマに取り入れ、市民活動の動機付けとする。	【開催場所】 我孫子地区公民館 【日程】 5月から12月の間で全12回コース 【募集人数】36人 ※応募が15名未満の場合は、講座は実施しない 【参加者数】35人 【内容】 ・学習内容は、「我孫子の古代・中世」「白樺派の文人たち」、「史跡めぐり」、「手賀沼船上学習」「我孫子市の課題」「市民活動の現状」等 ・講義形式と実習形式で実施した。	【受講者数】 35人  一人でも多くの受講者が、学習成果を日常生活で生かせるきっかけ作りをする。  委託費 400千円	A. 成果・効果があった  全12回の学習を通し、さらに我孫子について知りたいという意欲を持つ受講生や、市民活動に関心を持ち、参加検討される受講生も多く、自主的な活動を続ける継続学級も発生した。次のステップアップが大いに期待できる。	A. 現状どおり推進  運営方法などは現状通り推進するが、アンケート結果などを参考に講座内容の変更を視野に入れ、受講者と協議していく。	【開催場所】 我孫子地区公民館 【日程】 5月から12月の間で全12回コース 【募集人数】36人 ※応募が15名未満の場合は、講座は実施しない 【内容】 ・学習内容は、「我孫子の古代・中世」、「白樺派の文人たち」、「史跡めぐり」、「手賀沼船上学習」、「我孫子市の課題」、「市民活動の現状」等 ・講義形式と実習形式で実施する。	委託費 400千円  市民団体へ事業委託する。また、講座の講師として市民活動団体を活用する。	生涯学習課
	49	市史調査研究  我孫子市内に残る古文書の解読や資料類の収集・調査研究を行い、報告書等を作成して市政や教育に活用する。	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進めた。  ●資料調査 井上家資料の資料目録作成にむけての資料調査。専門に従事する3号嘱託職員を採用し、読解とデータ作成をおこなった。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託し、56点の地図を保存修復し、すでに修復したものの123点をデータ化した。	なし  需用費 267千円 役務費 20千円 委託料 896千円 備品購入費 19千円 負担金 8千円	A. 成果・効果があった  ・和紙公図の保存修復を適切に実施できた。 ・資料に関する問い合わせに適切に対応できた。 ・他の市町村史料編さん担当などからの資料照会、借用依頼に対し、適切に対応できた。	A. 現状どおり推進  ・今後も資料収集と資料に対する問い合わせ対応を行っていく。 ・資料の保存修復についても適宜実施していく。	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。  ●資料調査 井上家資料の資料目録作成にむけての資料調査。専門に従事する3号嘱託職員を採用し、読解とデータ作成をおこない、資料目録を刊行する。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託して保存修復し、データ化する。	なし  報償費 10千円 需用費 1612千円 役務費 34千円 委託料 897千円 使用賃借料 1千円 備品購入費 20千円	文化・スポーツ課
	50	郷土芸能への支援  郷土芸能の発表の場を設けることにより、継承者の意識の高揚と団体内の活性化を図る。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民俗芸能を発表する郷土芸能祭を教育委員会の主催で実施予定。 【日程】12月4日(日) 【場所】湖北地区公民館 【出し物】「神楽舞」「祭囃子」「寿獅子舞」など。 【出演者】「古戸はやし連中」「あびこふるさと会」「ひよつとこ睦」「布佐中郷土芸能講座」「第四小伝統芸能クラブ」「湖北小伝統芸能クラブ」「布佐小伝統芸能クラブ」他  【入場者数】420人	【入場者数】 420人  「古戸はやし連中」「あびこふるさと会」「ひよつとこ睦」「布佐中郷土芸能講座」「第四小伝統芸能クラブ」「湖北小伝統芸能クラブ」「布佐小伝統芸能クラブ」の郷土芸能クラブが発表を行う。  出演者報償費:100千円 需用費:170千円 委託料:572千円	A. 成果・効果があった  郷土芸能を保存と継承する市民団体と、小中学校の郷土芸能クラブの発表の場を提供することにより、広く市民に郷土芸の魅力を伝え、保存継承していく一助となった。	A. 現状どおり推進  古くから伝えられている伝統芸能を広く市民に見ていただき、次の時代を担う子どもたちに継承していく事業として、今後も継続していく。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民族芸能を発表する郷土芸能祭を、教育委員会の主催で実施する予定。  【日程】平成29年12月3日(日) 【場所】湖北地区公民館 【出し物】神楽舞、祭囃子、獅子舞 【出演】あびこふるさと会、古戸はやし連中、ひよつとこ睦、我孫子第4小学校伝統芸能クラブ、湖北小学校伝統芸能クラブ、布佐小学校伝統芸能クラブ、布佐中学校郷土芸能講座 他	市民団体や市内郷土芸能クラブに出演してもらいは発表を行う。  出演者報償費:100千円 需用費:170千円 委託料:692千円	文化・スポーツ課

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容			担当課
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)						
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの推進	51	文化財の指定調査と保存支援  指定文化財制度・登録文化財制度の活用を行うことにより、時代の流れにより滅失しやすい有形・無形文化財の保護を行う。	●指定文化財・登録文化財制度の活用 市指定文化財化への交渉と検討を行った。  ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募った。  ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進めた。  ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施した。 県指定天然記念物東源寺権の木施肥及び除草を行った。	【市指定文化財数】 15 件  なし  委託料 378千円 負担金補助及び交付金 1,514千円	A. 成果・効果があった  ・中里薬師堂十二神将のうち三神像(午、申、酉)の修理 ・葺不合神社社殿の消防設備工事	A. 現状どおり推進  ・指定文化財の保存修理を適宜進める。 ・同意を得られた指定文化財候補を指定していく。	●指定文化財・登録文化財制度の活用 所有者同意を得て市指定文化財化をはかり、適切な管理を通じて保存につなげる。  ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行う。  ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。  ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施する。 県指定天然記念物東源寺権の木施肥及び除草を行う。	文化財所有者が市民である場合は、緊密に連絡を取っていく。  報償費 50千円 委託料 429千円 負担金補助及び交付金 1,000千円	文化・スポーツ課
	52	埋蔵文化財発掘調査  市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、公共事業、民間開発等に伴って現状変更が行われるのに先立ち、遺跡の記録保存を目的とした埋蔵文化財発掘調査を行う。	●個人専用住宅や民間開発にともなう試掘・確認調査を行う「市内遺跡・不特定遺跡発掘調査」、公共事業にともなう「公共事業発掘調査」、民間開発にともなう本調査を行う「民間開発発掘調査」を実施した。  案件が上がった際にできるだけ速やかに対応する。 【市内遺跡・不特定遺跡発掘調査】 本調査・確認調査12件（昨年度11件）、試掘調査13件（昨年度6件） 【公共事業発掘調査】 本調査・確認調査 0件（昨年度0件） 【民間開発発掘調査】 本調査・確認調査 2件（昨年度5件）	【必要な発掘調査の実施率】 100%  なし  【市内遺跡・不特定遺跡発掘調査】 需用費 919千円 使用賃借料 1773千円  【公共事業発掘調査】 需用費 0千円 使用賃借料 0千円  【民間開発発掘調査】 需用費 24千円 使用賃借料 159千円	A. 成果・効果があった  ・案件が上がった後、迅速に試掘、確認調査・本調査を実施することができた。 ・市内遺跡については補助金を効果的に活用し、調査成果を報告書として刊行できた。	A. 現状どおり推進  ・案件が上がった後、迅速に試掘、確認調査・本調査を実施する。 ・市内遺跡については補助金を効果的に活用し、調査成果を報告書として刊行する。	市内の埋蔵文化財包蔵地全域が対象のため、現状を変更する工事等が計画されてからでないと特定できない。  【市内遺跡・不特定遺跡発掘調査発掘調査】 需用費 1057千円 委託料 216千円 使用賃借料 2377千円  【公共事業発掘調査】 需用費 10千円 使用賃借料 48千円  【民間開発発掘調査】 需用費 300千円 使用賃借料 1000千円	なし	文化・スポーツ課
	53	考古遺物整理  埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物を整理して記録保存した内容を、発掘調査報告書として刊行して公開し、市政や教育に活用する。	報告書3冊(「下ヶ戸貝塚Ⅳ」、「平成28年度市内遺跡発掘調査報告書」、「君作遺跡」)を刊行した。	【一年間の報告書刊行冊数】 3 冊  なし  ・需用費 971千円 ・委託料 180千円 ・使用賃借料 47千円	A. 成果・効果があった  ・国庫補助を受けて重要遺跡下ヶ戸貝塚の発掘調査報告書1冊を刊行することができた。また「市内遺跡発掘調査報告書」、「君作遺跡」も刊行することができた。	A. 現状どおり推進  ・重要遺跡 下ヶ戸貝塚の発掘調査報告書を継続して刊行する。また日秀地区を中心とした郡衙関連の遺跡の報告書を優先的に刊行する。	「下ヶ戸貝塚」の5分冊目の刊行事業をおこなう。 ・「市内遺跡発掘調査報告書」は29年度市内遺跡補助を受けて刊行予定。	なし  ・需用費 1230千円 ・委託料 480千円 ・使用賃借料 84千円	文化・スポーツ課

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
54	あびこ自然観察隊  環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施する。	子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を年5回実施した。  開催場所は市内各所で、定員30人で実施した。 <<第1回>>「シギ・チドリに会いに行こう」 【日程】5月15日(日)【参加者】12人 <<第2回>>「手賀沼のプランクトンと水鳥観察」 【日程】8月3日(水)【参加者】10人 <<第3回>>「鳴く虫観察会」 【日程】9月3日(土)【参加者】16人 <<第4回>>「おーい！冬鳥くん」 【日程】2月12日(日)【参加者】48人 <<第5回>>「春の谷津田観察会」 【日程】3月20日(日・祝)【参加者】31人	【開催数】5回 指標：参加者数80人/年 実績：117人  市民スタッフと協働して計画作りから実施まで行った。  市民スタッフ報償費 11,500円	A. 成果・効果があった  開催回数を増やして実施。雨天中止になることもなく、我孫子市内を代表する自然環境を適切な季節に多くの市民に紹介することができた。	A. 現状どおり推進  なし	開催場所は市内各所で、定員30人で実施する。 <<第1回>>6月18日「河原の鳥を観察しよう」 <<第2回>>7月25日「手賀沼のプランクトンと水鳥観察」 <<第3回>>8月2日 <<第4回>>11月23日「晩秋の手賀川観察会」 <<第5回>>2月11日「オーイ！冬鳥くん」 <<第6回>>3月21日「春の谷津田観察会」	市民スタッフと協働して計画作りから実施まで行う。  市民スタッフ報償費 15,750円	鳥の博物館
		てがたん(手賀沼の自然観察会)  環境学習の一環として、鳥の博物館周辺の身近な自然に関心を持ち、理解を深めることを目的に観察会を行う。	毎月第2土曜日午前10時から正午までの2時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。毎回約20人の参加者を見込み、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。  【日程・内容】 毎月第2土曜午前10時から正午まで <<第1回>>4月9日 あびこの自然景観【参加者】32人 <<第2回>>5月14日 渡りと繁殖【参加者】26人 <<第3回>>6月11日 探してみよう！コケの世界【参加者】25人 <<第4回>>7月9日 歩道で生きるガッツな植物【参加者】0人 ※雨天中止 <<第5回>>8月13日 魚を釣って観察しよう【参加者】40人 <<第6回>>9月10日 帰る鳥・来る鳥【参加者】20人 <<第7回>>10月8日 秋の生き物たち【参加者】19人 <<第8回>>11月12日 カモいろいろ【参加者】17人 <<第9回>>12月10日 葉っぱの形で名前がわかるかな？【参加者】17人 <<第10回>>1月14日 冬鳥をじっくり観察しよう【参加者】24人 <<第11回>>2月11日 気にならない木を気にしてみる冬の散歩道【参加者】23人 <<第12回>>3月11日 春をさがそう【参加者】32人	【開催数】11回 指標：参加者数290人/年 実績：275人  企画段階から実施まで鳥の博物館市民スタッフと協働で実施。  てがたん経費 83,000円 ・市民スタッフ報償費 38,000円 ・保険料 40,000円 ・遊魚料 5,000円	A. 成果・効果があった  身近な鳥や自然について、定期的に、季節に応じた体験を通じて紹介することができた。	A. 現状どおり推進  なし	【日程・内容】 毎月第2土曜午前10時から正午まで <<第1回>>4月8日 今だけ！春限定の自然観察 <<第2回>>5月13日 鳥の子育て <<第3回>>6月10日 生きもののかたちとデザイン <<第4回>>7月8日 歩道で生きるガッツな植物 <<第5回>>8月12日 ヨシ原と沼のトンボ <<第6回>>9月9日 昔はいなかった生きものたち <<第7回>>10月14日 ヒヨドリの渡り <<第8回>>11月11日 白樺派の見た我孫子の自然 <<第9回>>12月9日 地衣散歩(ちいさんぼ) <<第10回>>1月13日 もっと知りたいカモのこと <<第11回>>2月10日 シジュウカラと愉快的仲間たち <<第12回>>3月10日 冬芽と樹皮	
②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供			②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供					
56	子どもNPOボランティア体験  子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、子どもや若者が市民公益活動に参加する機会を増やすとともに、体験を受け入れる団体の活性化を図る(平成26年度から指定管理者事業として実施)。	指定管理者事業の一つとして実施。  ●子どもNPOボランティア体験 【日程・場所】場所・時期：受入団体により異なる。(イベント、通常の活動等) 【対象】小学生から大学生 【体験者数】幼稚園2名、小学生112名、中学生44名、高校生62名、大学生28名、全体で延べ248名  ●情報紙 【タイトル】JOYボラ 【発行回数】年2回・・・夏休み前(7月頃)、冬休み前(11月頃) 【内容】ボランティアを募集する団体や募集人数、条件など	・体験受入れ団体40以上 ・体験者総数200名以上  指定管理者事業の一つとして実施。 指定管理者 NPO法人ACOPA  指定管理者事業の一つとして実施。 指定管理料14,500,000円	A. 成果・効果があった  延べ246名の体験者があり、子どもや若者が市民公益活動に参加する機会の提供ができた。	A. 現状どおり推進  なし	指定管理者事業の一つとして実施。  ●子どもNPOボランティア体験 【日程・場所】開催場所・時期：受入団体により異なる。 【対象】小学生から大学生  ●情報紙 年2回発行	指定管理者事業の一つとして実施。指定管理者 株式会社東京ドームファシリテーズ  指定管理者事業の一つとして実施。指定管理料 14,358,369円	市民活動支援課

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容			担当課
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)						
基本目標 2 子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	57 後期離乳食教室 乳幼児期後半から幼児期にかけての適切な食事内容、生活リズム、間食のとり方を学ぶことを通じて、この時期の食習慣が今後の健全な食習慣の形成につながることを理解を促し、親子共に健康的な食生活を営むことができるよう、食事と歯科衛生に関する実践的な知識の提供をする。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・離乳期後半から幼児期に向けて、食事、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年19回 【対象】市内在住の8～9か月の児を持つ保護者。 なお、本教室で試食には「あびこん」で購入する我孫子市産農作物を使用した。 ○平成28年度参加者数 324組	離乳食に関する知識を得た人の割合 99.6% なし 消耗品費 84千円 通信運搬費 64千円 臨時職員賃金 167千円	A. 成果・効果があった 離乳期後半から幼児期に向けての食事のバランス、生活リズム、歯の手入れ等について健康教育を行い、正しい食習慣への理解を促すとともに、個別相談の強化を図ったことで保護者の不安の軽減につながった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・離乳期後半から幼児期に向けて、食事、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年18回 【対象】市内在住の8～9か月の児を持つ保護者。 なお、本教室で試食には「あびこん」で購入する我孫子市産農作物を使用する予定。	なし。 消耗品費 108千円 通信運搬費 62千円 臨時職員賃金 86千円	健康づくり支援課	
		58 しあわせママパパ学級 体の変化が著しい妊娠中に、日常生活・栄養・環境などについて、専門職の健康教育・アドバイスを受けることで、妊娠期を健康に過ごし、お産を無事に迎えられるよう啓発を図る。また夫婦が、妊娠・出産・育児に関して学ぶ場を共有し、子育てや家庭生活における互いの役割について考える機会とする。	【学級後のアンケート結果】 《「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合》 98.8% なし 運営委託料 1,476,600円	A. 成果・効果があった 適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が98.8%となっている。 なし	A. 現状どおり推進 なし	【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【開催回数】12回 【場所】保健センター 【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜10コース) 【委託】千葉県助産師会 【参加者】 妊婦:109人(実)、209人(延)、夫・家族:98人(実)、158人(延)	なし 運営委託料 1,477千円	健康づくり支援課	
			59 離乳食教室 離乳期において、保護者が適切な離乳食の実践方法を学ぶことを通じて、乳児のすやかな発育・発達を助けるとともに、家族の食生活を見直すきっかけを作り、生涯において健康的な食生活を送るための知識を提供する。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法及び試食 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【場所】保健センター 【日程】年12回 【対象】市内在住の4～6か月の児を持つ保護者。 ○平成28年度参加者数 276組	離乳食に関する知識を得た人の割合 99.5% 図書館の市民スタッフ(読書普及担当)が、教室開始前に「離乳食教室での乳幼児と保護者への読み聞かせ」を実施した。 消耗品費 73千円 通信運搬費 400円 細菌検査手数料 23千円 臨時職員賃金 176千円	A. 成果・効果があった 離乳食の進め方全般を映像で紹介したり、大人の食事からの取り分け食の実際のやり方の実演及び試食を通じて確認することにより、離乳食作りの具体的なイメージがわき、不安の軽減につながった。 なし	A. 現状どおり推進 なし	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法及び試食 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【場所】保健センター 【日程】年12回 【対象】市内在住の4～6か月の児を持つ保護者。 図書館の市民スタッフ(読書普及担当)が、教室開始前に「離乳食教室での乳幼児と保護者への読み聞かせ」を実施予定。 消耗品費 77千円 細菌検査手数料 27千円 臨時職員賃金 216千円	健康づくり支援課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課	
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算		
60	手賀の丘ふれあい宿泊通学  手賀の丘少年自然の家を宿泊場所として、学校に通いながら、子どもが集団のなかで自己を確立し、心の交流や連帯感を身に付け、社会のルールを養い、自立心や協調性などを育む機会を提供する。	【日程】 ≪第1回≫7月6日(水)から7月8日(金) 2泊3日 ≪第2回≫9月7日(水)から9月9日(金) 2泊3日 ≪第3回≫10月26日(水)から10月28日(金) 2泊3日 【場所】千葉県立手賀の丘少年自然の家 【対象】市内13小学校5～6年生 【募集人数】第1回～第3回 各回32人  【参加者】 第1回 32名 第2回 18名 第3回 28名	【全参加者数】 78人 【参加者アンケート】 ・自立と協調性ができた。、他の学校の人と友達になれて良かった等、参加して良かったというアンケート結果が多かった。  市、教育委員会と宿泊施設である県立手賀の丘少年自然の家との共同主催として実施。 また、川村学園女子大学と協定書を結び、学生スタッフとして参加協力していただいた。  報償費 38,000円(市民スタッフ) 普通旅費 27,600円 消耗品 16,862円 食糧費 220,396円(手賀の丘少年自然の家夕食代等) 印刷製本費 33,069円 賄材料費 76,826円(野外炊飯用) 通信運搬費 6,478円(切手代) 手数料 24,932円 保険料 29,015円 交際費 4,000円	A. 成果・効果があった  通学しながら他校の児童と共同生活を送ることによって自立心、協調性を育む一助となった。	A. 現状どおり推進  なし	【日程】 ≪第1回≫7月5日(水)から7月7日(金) 2泊3日 ≪第2回≫9月6日(水)から9月8日(金) 2泊3日 ≪第3回≫10月25日(水)から10月27日(金) 2泊3日 【場所】千葉県立手賀の丘少年自然の家 【対象】市内13小学校5～6年生 【募集人数】第1回～第3回 各回32人	市、教育委員会と宿泊施設である県立手賀の丘少年自然の家との共同主催として実施。 また、川村学園女子大学と協定書を結び、学生スタッフとして参加協力してもらう。  報償費 100,000円 旅費 35,000円 消耗品 77,000円 食糧費 330,000円 印刷製本費 33,000円 賄材料費 87,000円 手数料 31,800円 保険料 52,000円 交際費 4,000円	子ども支援課	
		あびこ子どもまつり	●あびこ子どもまつり 【日程】10月16日(日) 【場所】アビスタ、手賀沼公園で実施予定 【内容】 子どもまつり実行委員会、我孫子市との共催事業でアビスタ、手賀沼公園を会場とし、子ども達が主体となるおまつり。子ども達は様々なお仕事を楽しみながら体験し、アビーという対価通過をもらい、活用し楽しむ。	【参加者】 726人(有料入場者数)  子どもに関する団体や地域のお店などと実行委員会に参加し、たくさんのおまつりが楽しめるように手続き等を行った。  共催負担金 190,000円	A. 成果・効果があった  ・最近の子ども達の傾向として、体験活動やコミュニケーション不足が指摘されており、子ども達が企画段階から参画することや、子ども達が主体となったまつりに参加することは、貴重な社会体験の場となっている。	A. 現状どおり推進  なし	●あびこ子どもまつり 【日程】10月15日(日) 【場所】アビスタ、手賀沼公園で実施予定 【内容】 子どもまつり実行委員会、我孫子市との共催事業でアビスタ、手賀沼公園を会場とし、子ども達が主体となるおまつり。また、子ども達は様々なお仕事を楽しみながら体験し、アビーという対価通過をもらい、活用し楽しむ。	市民団体等で実行委員会を組織し共催事業として実施している。  共催負担金 190千円	子ども支援課
		げんきフェスタ	子どもに関連する団体や地域の自治会やお店などが実行委員会を組織して、市と共同開催で実施。芸術鑑賞、昔あそび、体験型レクリエーション、お仕事体験が出来る「子どもハローワーク」など子ども達が主役となって1日を楽しむイベントを行った。 【日程】6月12日(日) 【場所】湖北地区公民館及びその周辺	【参加者】 1308人(有料入場者数)  子どもに関する団体や地域のお店などと実行委員会に参加し、たくさんのおまつりが楽しめるように手続き等を行った。  共催負担金 190,000円	A. 成果・効果があった  長年実施している事業なので、市民にも定着し、参加者も多い。様々な体験をすることで、豊かな心、社会性を育む機会となっている。	A. 現状どおり推進  なし	子どもに関連する団体や地域の自治会やお店などが実行委員会を組織して、市と共同開催で実施する。芸術鑑賞、昔あそび、体験型レクリエーション、お仕事体験が出来る「子どもハローワーク」など子ども達が主役となって1日を楽しむイベントを行う。 【日程】6月12日(日) 【場所】湖北地区公民館及びその周辺	市民団体等で実行委員会を組織し共催事業として実施している。  共催負担金 190千円	子ども支援課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり  
◎子どもたちの成長を促すための対応した学習内容の提供

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
63	enjoyパパ応援プロジェクト  子育て支援・若者支援プロジェクトの意向を受けて、男性の育児に対する意識向上、知識や技術の習得を目指し、育児講座や講演会等を実施する。	【対象】 就学前の子どもと父親  ●あびこでパパを楽しもう 【日程・場所・内容・参加者】 ・6月5日(日) 我孫子市民体育館「サッカー講座:めざせJリーガー&なでしこ〜フットサル〜」43組 ・8月6日(土) あびこ市民プラザ「かけっこ教室」2部制 <第1部>16組 <第2部>38組 ・9月3日(土)ママへのごほうびフェスタ 父親参加延べ人数499人 ・10月22日(土)我孫子市少年野球場「ゆうゆうボール」4組 ・12月18日(日)あびこ市民プラザ「おちゃっぴ粘土教室」47組 ・平成28年2月5日(日)近隣センターこもれび調理室「簡単クッキング!!」9人 ・平成29年3月4日(土)音楽ユニットkajii「食琴コンサート」22組  ●広場でパパを楽しもう 【場所・日程】 《にこにこ広場「パパとあそぼう」》毎月1回 《すくすく広場「すくすくパパタイム」》原則毎週土曜日 《わくわく広場「わくわくファミリー」》毎月1回 《すこやか広場「みんなで遊ぼう!」》6月・9月・1月	【父親のイベント等への延べ参加者数】 1059人  講座(かけっこ教室、料理教室、ゆうゆうボール、サッカー教室)の講師を市民の方をお願いした。  講師報償費 200,000円	A. 成果・効果があった  父親が子どもと過ごす場を提供することで、父親の意識向上につながっている。	A. 現状どおり推進  父親への育児参加を促す活動を広場事業に積極的に取り入れながら、育児の知識や技術の向上を図っていく。	【対象】 就学前の子どもと父親  ●あびこでパパを楽しもう 【日程・場所・内容・参加者】 ・6月4日(日) 我孫子市民体育館「サッカー講座:めざせJリーガー&なでしこ〜フットサル〜」50組 ・9月2日(土)ママへのごほうびフェスタ ・10月28日(土) NEOラグビー場「(仮)ラグビー教室」 ・12月16日(土)あびこ市民プラザ「(仮)たんさいぼう」 ・平成29年1月20日(土) アビスタ調理室「(仮)簡単クッキング!!」  ●広場でパパを楽しもう 【場所・日程】 《にこにこ広場「パパとあそぼう」》毎月1回 《すくすく広場「すくすくパパタイム」》原則毎週土曜日 《わくわく広場「わくわくファミリー」》毎月1回 《すこやか広場「みんなで遊ぼう!」》6月・11月・1月	●フットサル 我孫子市スポーツ少年団 サッカー教室 ●ラグビー教室 我孫子市ラグビー・フットボール協会  育児講座講師謝礼 200,000円	保育課
		子育て支援施設における講習  子どもが安全に遊べる場を設け、親同士や子ども同士の交流を図る。利用者アンケートなどをもとに、毎月各子育て支援施設において、親の子育て力の向上と親子の絆を深めることができる育児講座を工夫して実施する。	市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行った。 ●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月1回~2回(年間23回) 【場所】にこにこ広場 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談 【相談件数】264人 ●プレバパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催)年2回 【日程】10月8日(土) 【場所】にこにこ広場【内容】赤ちゃんの神秘、親子の絆をはぐくむ【参加者】3組(大人4人 子ども1人) 【日程】12月6日(火) 【場所】にこにこ広場【内容】お腹の赤ちゃんとの絆を深めよう【参加者】7組(大人8人 子ども1人) ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【日程】5月26日、8月25日、9月8日、10月13日、10月20日、3月23日 【場所】にこにこ広場・すくすく広場 年各2回 わくわく広場・すこやか広場 年1各回 計6回 【内容】歯や歯磨き指導に関する講座及び個別相談 【参加者】101組 大人103人 子ども105人 ●育児講座(保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座) 【日程・場所】各広場年3回~4回(年間15回) 【内容】子育て、健康、発育についての講座及び個別相談 【参加者】362人 ●子育てフェスタ(株式会社イトーヨーカ堂との共催) 【日程・場所】 9月3日(土) アビクオーレ 3月19日(土) あびこショッピングプラザ 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど 【参加者】16,777人	【利用者数】 2525人  ●プレバパママ講習会 あびこ助産師専門学校との共催  ●歯科医師講習会 我孫子市歯科医師会との共催  ●子育てフェスタ 株式会社イトーヨーカ堂との共催  歯科医師講習会 講師報償費 58,680円	A. 成果・効果があった  育児に関する疑問などを、保護者が直接専門職に聞くことができ、情報収集に加え、悩みの解消にもつながった。また、一緒に参加した保護者同士のつながりを広げる場にもなっている。	A. 現状どおり推進  それぞれの広場の特色を生かし、利用者のニーズに合った様々な講座を行い、参加者へ子育てに必要な情報を提供していく。	市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行う。 ●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月1回~2回(年間23回) 【場所】にこにこ広場 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談 ●プレバパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催)年2回 【日程】 【場所】にこにこ広場 ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【日程】6月29日、8月24日、9月28日、10月5日、10月12日、3月8日 【場所】にこにこ広場・すくすく広場 年各2回 わくわく広場・すこやか広場 年1各回 計6回 ●育児講座(保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座) 【日程・場所】各広場年3回~4回(年間15回) ●子育てフェスタ(株式会社イトーヨーカ堂との共催) 【日程・場所】 9月2日(土) アビクオーレ 3月17日(土) あびこショッピングプラザ	

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり  
◎子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
65	子ども議会  次世代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解や我孫子市のまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見を聴き今後のまちづくりの参考にします。なお、子ども議会は、2年に一度開催する。	【日程】11月10日(木) 【場所】我孫子市議会議事堂 【内容】各小中学校から代表する子ども議員を招集し、市長のまちづくり方針に対する子ども議員からの質問や意見に対する答弁を市役所職員から聞く。実際の市議会の流れとほぼ同様に進行するよう実施。 【参加者】子ども議員:38人(市内小中学校児童生徒男女各1人) 議会参加者:市長ほか関係職員、教育委員、市議会議員※保護者などの傍聴者は、傍聴席を使用	開始年度から、目標年度までの延べ開催数 【目標値】7回【実績】7回	A. 成果・効果があった ・次代を担う小中学校の児童・生徒に、議会制民主主義についての理解が深まった。 ・自分たちの力で、より良い我孫子市を築いていこうとする態度を育成することができた。 ・小学生と中学生が質問する順番を交互にしたことにより、質問し易い環境を作ることができた。	B. 改善・見直しを行う 隔年開催のため、実施年度に当たらない年度においては、準備委員会を設け、次年度開催についての課題の確認と、各学校への周知を図る。	隔年開催のため、今年度は実施せず。ただし、来年度実施に向けての準備会を実施する。	次世代を担う小中学生を対象に子ども議会を開催することにより、有権者となる前の早い段階から、より良い我孫子市のまちづくりに対して見識を高めるとともに、我孫子市への郷土愛をより一層深める機会とする。	指導課
		50,000円 ・DVD:ケース代 ・子ども議会名札 ・消耗品費 等	・例年よりも参観希望者が多く、傍聴席が不足していたので、改善してほしい。	なし	なし			
66	長寿大学  高齢者として充実した生活を送るため、人間関係を深めつつ、地域の活動や社会の変化に順応した知識を楽しく学び、地域活動、まちづくり等に積極的に参加できるようにする。	【場所】湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」などを柱として、平成28年4月から平成29年3月まで年間24回の学習プログラムで実施した。 ・運営、運動会、大学祭、校外学習、研修など各委員会を組織し活動した。 【参加者】 ≪1年生≫50人 ≪2年生≫47人 ≪3年生≫47人 ≪4年生≫47人	【参加者】191人  長寿大学の講座は、「出前講座」の市民講師にも依頼した。	A. 成果・効果があった 卒業生及び在校生が、地域活動・まちづくり等に参加する動機付けとなった。	A. 現状どおり推進 なし	【場所】湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」などを柱として、平成29年4月から平成30年3月まで年間24回の学習プログラムで実施する。 ・運営、運動会、大学祭、校外学習、研修など各委員会を組織し活動する。 【参加者】 ≪1年生≫45人(5月9日現在) ≪2年生≫47人 ≪3年生≫46人 ≪4年生≫45人	なし	生涯学習課
		総計 641,770円 (内訳) 報償費 337,000 消耗品費 46,970 普通旅費 16,200 委託料 170,640 費用弁償 32,400 印刷製本費 38,560	なし	なし	講師報消費 459千円 事業費 335千円			

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
67	成人式  大人になったことの自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます式典を行う。	<p>【日程】平成29年1月8日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者及び人数】平成8年(1996)4月2日から平成8年(1997)4月1日に出生した市内在住者:平成28年4月20日現在1,255人 《午前の部》我孫子・湖北・湖北台中学校区(未定):651人 《午後の部》白山・久寺家・布佐中学校区(未定):604人 【式典企画】 恩師からのメッセージと懐かしい小中学校時代の写真を綴った「Nostalgia」 【記念品】 新成人代表者デザインのオリジナル図書カード500円券 《企画運営会議について》 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。 《第1回》5月22日 成人式DVD視聴の後、式典の内容等について意見交換 《第2回》6月26日 式典内容、記念品、役割分担等について検討 《第3回》7月24日 式典企画及び記念品「図書カード」デザインの検討 《第4回》8月28日 図書カードデザイン、役割分担、式典台本及び式典企画について検討 《第5回》9月25日 式典台本及び式典企画について検討 《第6回》10月30日 式典台本について内容確認 式典企画について検討 《第7回》11月27日 式典企画について検討 リハーサルについて確認 《リハーサル》12月16日 本番同様ふれあいホールにて動きと台詞を確認 式典企画の視聴 《前日リハーサル》1月7日 式典会場セットができた状態で舞台スタッフも一緒に動きと台詞を確認</p>	<p>【参加者】922人 (出席率 73.82%) 《午前の部》516人 (出席率 79.14%) 《午後の部》406人 (出席率 68.01%) 【成人式後アンケート(無作為に参加者300名に送付)】 「大変良かった」「良かった」78%</p> <p>市内中学校卒業生12名の新成人代表者に企画運営委員となってもらい、成人式の企画・運営を実施してもらう。</p> <p>式典委託料 1,058,400円 施設使用料 162,700円 成人代表者謝礼 60,000円 手話通訳者謝礼 24,280円 消耗品 56,614円 記念品代表等印刷 1,148,256円</p>	<p>A. 成果・効果があった 式典当日は大きな混乱もなく、立派な式典が開催できた。式典後送付したアンケートでは、参加者の73パーセントの方から良かったという感想を聞くことができた。成人式企画運営委員の方々は式典当日の進行をはじめ、事前の会議や恩師メッセージの撮影、ビデオ編集、謝辞の考案など、様々な場面で持てる力を思う存分発揮していただいた。</p> <p>式典企画の準備で遅れが生じてしまう。企画運営委員の作業進捗状況をこまめに確認していく必要がある。 午前の部・午後の部で学校の組み分けを変更したこともあり、周知が不十分だったのか、参加者に偏りが多くあった。午前の部に関しては、立ち見の新成人の方が多く出てしまう状況だった。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う 企画運営会議において、例年の我孫子市成人式の情報を共有するだけでなく近隣市町村の情報も提供するなどして、企画運営委員からより多くのアイデアが出るような環境をつくっていく。</p>	<p>【日程】平成30年1月7日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者及び人数】平成9年(1997)4月2日から平成10年(1998)4月1日に出生した市内在住者:平成29年4月17日現在1,287人 《午前の部》我孫子・湖北・湖北台中学校区(未定) 《午後の部》白山・久寺家・布佐中学校区(未定) 【式典企画】 企画運営会議を行う中で決定 【記念品】 企画運営会議を行う中で決定(昨年は新成人代表者デザインのオリジナル図書カード500円券) 《企画運営会議について》 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。全7回の企画運営会議を実施予定。 《第1回》5月21日 成人式DVD視聴の後、式典の内容等について意見交換</p>	<p>市内中学校卒業生12名の新成人代表者に企画運営委員となってもらい、成人式の企画・運営を実施してもらう。</p> <p>式典委託料 1,326,000円 施設使用料 216,000円 成人代表者謝礼 60,000円 手話通訳者謝礼 36,000円 消耗品 76,000円 記念品代表等印刷 1,171,000円</p>	生涯学習課
68	熟年備学  熟年世代が、これからの高齢社会をより良く生きるために、高齢社会の諸問題や対処方法を学び、人生の後半を自立し豊かな暮らしができ、地域の高齢者を支えながら、自らもハツラツとした人生を送るためにどうしたら良いかを考える機会を提供する。	<p>【日程】5月から1月 14回 【場所】我孫子地区公民館、市内高齢者施設 【内容】主に定年退職を控えた方々方を念頭に、人生の後半の生き方、過ごし方、地域活動への入り方、だまされないための暮らしと契約、終の棲家、心と体の健康維持、老前整理、遺言と相続、エンディング事情についての講義を行い、健康体操、高齢者施設の見学、介護のコツを学ぶ実習を行う。調理実習については実施を見合わせる。 【定員】45人 【参加者数】35人</p>	<p>【アンケート結果】(学習終了時実施) 《大変参考になった》50.9% 《参考になった》39.6% 《どちらともいえない》10.0% 《参考にならなかった》0%</p> <p>年間14回の学習のうち4回を市民の方に講師をお願いした。</p> <p>講師報償費 114,000円</p>	<p>A. 成果・効果があった 年間の学習終了時点のアンケートでは、受講内容について「大変参考になった」「参考になった」が90.5%であり、今後の生活に役立つ情報と、仲間作りが出来てよかった、という声が多く寄せられた。また、高齢者施設の見学などの体験学習と遺言や相続等の専門的な学習を提供でき、アンケートでも好評だった。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進 なし</p>	<p>【日程】5月から1月 14回 【場所】我孫子地区公民館、市内高齢者施設 【内容】主に定年退職を控えた方々方を念頭に、人生の後半の生き方、過ごし方、地域活動への入り方、だまされないための暮らしと契約、終の棲家、心と体の健康維持、老前整理、遺言と相続、エンディング事情についての講義を行い、健康体操、高齢者施設の見学、介護のコツを学ぶ実習を行う。 【定員】45人 【参加者数】54人</p>	<p>年間14回の学習のうち数回を市民の方に講師をお願いしていきたい。</p> <p>講師報消費 142千円 消耗品費 5千円 通信運搬費 1千円</p>	生涯学習課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課				
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算					
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)									
69	家庭教育学級  子育てについての学習や、 親同士の情報交換を通し て、家庭・親子のあり方を考 える機会を提供するととも に、家庭での教育力の向上 を図る。	●家庭教育学級 【日程】5月から1月の間で 年間14回 【場所】我孫子地区公民館(生涯学習センターアビスタ) 【内容】子育て・家庭教育に関する講義や体験学習(調理実習・運動・フラ ワーアレンジメント) 公開講演会も含め全14回 【参加者】小学1年生の子どもを持つ保護者56人  ●プチ家庭教育学級 【日程】2月に3回 【場所】湖北地区公民館 【対象】小学6年生までの子どもを持つ保護者を対象 【内容】家庭教育学級の講座の中から選んだ内容で2月に3回シリーズで実 施(読み聞かせ、調理実習、性教育) 【参加者】小学1年生の子どもを持つ保護者22人	【学級終了時に実施したアンケート 結果】(回答者38人) 《大変満足》 33人 《大体満足》 5人 《「不満が残った」、「期待はずれ だった」》 0人	A. 成果・効果があった  小学校入学に伴い、それまで の保育園や幼稚園時、親同士 のかかわりが減る一方で、慣れ ない小学校生活に親も子も 悩 みや不安を抱える事があり、家 庭教育学級に参加することによ り、「学ぶ楽しさ、新しい知識や 興味の広がり」、「新しい出会い (共感できる仲間との出会い)や 人間関係の広がり」を得ること で、『改めて、子どものことをた くさん考える事ができた。』こと から、本学級の趣旨・目的を達成 する事ができた。	A. 現状どおり推進  なし	●家庭教育学級 【日程】5月から1月の間で 年間14回 【場所】我孫子地区公民館(生涯学習センターア ビスタ) 【内容】子育て・家庭教育に関する講義や体験 学習(調理実習・運動・フラワーアレンジメント) 公開講演会も含め全14回 【参加者】小学1年生の子どもを持つ保護者56 人  ●プチ家庭教育学級 【日程】2月に3回 【対象】小学6年生までの子どもを持つ保護者を 対象 【内容】家庭教育学級の講座の中から選んだ内 容で2月に3回シリーズで実施(読み聞かせ、 調理実習、性教育) 【場所】湖北地区公民館	年間14回の学習のうち何回かを市 民の方に講師をお願いする。  消耗品費 5千円 講師謝礼 170千円(12千円×10 回、20千円×1回、30千円×1回)	●家庭教育学級 【日程】5月から1月まで(各コース全12回) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公民館第1学習室、手賀沼公 園、及び五本松運動広場 【対象】平成24年4月2日から平成26年4月1日生まれの子(2、3歳児)と 保護者 【定員】アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コース、アビスタ金曜コース 各コ ース親子25組 湖北火曜コース 親子20組 【参加者】アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コース、アビスタ金曜コース 各 コース親子25組 湖北コース20組  ●プチのびのび親子学級 【日程】2月7日・14日・21日 【開催場所】布佐小学校地域交流教室 【対象者】2、3歳児と保護者 【定員】親子13組 【参加者】13組 【応募者数】13組	年間14回の学習のうち何回かを市 民の方に講師をお願いする。  なし	●家庭教育学級 【日程】5月から1月まで(各コース全12回) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公 民館第1学習室、手賀沼公園、及び五本松運動 広場 【対象】平成25年4月2日から平成27年4月1 日生まれの子(2、3歳児)と保護者 【人数】アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コ ース、アビスタ金曜コース 各コース親子25組 湖北火曜コース 親子20組  ●プチのびのび親子学級 【日程】2月6日・13日・27日 【場所】布佐小学校地域交流教室 【対象】2、3歳児と保護者 【人数】親子10組	年間14回の学習のうち何回 かを市民の方に講師をお願 いする。  消耗品費 15千円 講師報償費 246千円	生涯学習課
		70	のびのび親子学級  ゆとりある子育ての実現 に向け、親子のふれあ い、学級生同士の交流な どを軸に仲間と子育てに ついて学ぶ機会を提供す る。	●のびのび親子学級 【日程】5月から1月まで(各コース全12回) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公民館第1学習室、手賀沼公 園、及び五本松運動広場 【対象】平成24年4月2日から平成26年4月1日生まれの子(2、3歳児)と 保護者 【定員】アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コース、アビスタ金曜コース 各コ ース親子25組 湖北火曜コース 親子20組 【参加者】アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コース、アビスタ金曜コース 各 コース親子25組 湖北コース20組  ●プチのびのび親子学級 【日程】2月7日・14日・21日 【開催場所】布佐小学校地域交流教室 【対象者】2、3歳児と保護者 【定員】親子13組 【参加者】13組 【応募者数】13組	【学級終了時に実施したアンケート 結果】(回答者89人) 【満足度】 98%	A. 成果・効果があった  年間を通して、クッキング、班単 位で行うミニレクリエーションな ど、共同作業や話し合いが必要 な学習により、子育てを通した同 じ価値観を持つ親同士、子育て の楽しさや苦勞を分かち合い、 仲間と一緒に考え、互いに支え 合える仲間づくりができる場と なった。学習終了後、自主的な 活動を続けるための継続学級が 立ち上がった。	A. 現状どおり推進  なし	●のびのび親子学級 【日程】5月から1月まで(各コース全12回) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公 民館第1学習室、手賀沼公園、及び五本松運動 広場 【対象】平成25年4月2日から平成27年4月1 日生まれの子(2、3歳児)と保護者 【人数】アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コ ース、アビスタ金曜コース 各コース親子25組 湖北火曜コース 親子20組  ●プチのびのび親子学級 【日程】2月6日・13日・27日 【場所】布佐小学校地域交流教室 【対象】2、3歳児と保護者 【人数】親子10組	地域で活躍する先輩の母 親、団体の協力により実施す る。  消耗品費 3千円 講師謝礼 604千円(12千円×47 回、10千円×4回)	地域で活躍する先輩の母 親、団体の協力により実施す る。  消耗品費 1千円 講師謝礼 600千円	生涯学習課	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	市民・事業者との協働 予算				
71	アピコでなんでも学び隊  小・中学生を対象に、地元 の学校・企業・専門家等の 協力を得て、体験型の講座 を実施し、子どもの夢や希 望を拓ける。また、人との交 流によって豊かな人間関係 を作るとともに、我孫子の良 さを発見し、ふるさと意識を 持ち将来、まちづくりに貢献 できるようにする。	●アピコでなんでも学び隊 【日程】6月・7月・8月・10月・11月・12月・1月 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小・中学生  《ROBOLAB教室 ロボットを作って動かしてみよう!》【定員】22人【参 加者】22人【応募者数】79人 《ヒップホップでカッパダンス》【定員】20人【参加者】21人【応募者数】21 人 《伝統の美・友禅染 プロに学ぶ日本の技》【定員】15人【参加者】24人 【応募者数】25人 《科学であそぼう!》【定員】24人【参加者】24人【応募者数】24人 《生命の不思議発見!ーメダカを通してー》【定員】24人【参加者】23 人【応募者数】31人 《五つの味の世界 プロのシェフに学ぼう》【定員】24人【参加者】24人 【応募者数】46人 《磁石とコイルのパワーを探れ》【定員】24人×2回【参加者】49人【応 募者数】66人 《雪の結晶万華鏡をつくろう!》【定員】24人【参加者】24人【応募者 数】76人 《My望遠鏡で月を見よう!》【定員】20人【参加者】19人【応募者数】3 4人 《卓球チャンピオンになろう!基本からゲームまで》【定員】20人【参加 者】20人【応募者数】35人 《トライサイエンス(探査機を宇宙に送ろう・ゆかいなクラクション)》【定 員】24人【参加者】24人【応募者数】50人 《粉こねてピザをつくろう!(高校生とジョイント)》【定員】15人【参加 者】15人【応募者数】59人 《パンでクリスマスブーツをつくろう!》【定員】18人【参加者】18人【応 募者数】40人 《はじめての書初め》【定員】22人【参加者】22人【応募者数】36人 《UFOオムライスと季節のサラダ》【定員】18人【参加者】18人【応募者 数】26人	【講座終了時に実施したアンケート 結果】(回答者347人) 【講座に参加した子ども達の満足 度】 99% 我孫子の市民、企業、団体、学校の 協力により実施。  消耗品費 13千円 食糧費 9千円 講師謝礼 30千円(5千円×6回)	A. 成果・効果があった  参加応募総数も前年より15% 増えており、子どもたちの興味、 関心がかかってくる。子どもの指 導に慣れていて、参加者との関 わりを大切に、且つ興味関心 を高めてくれる講師によって参 加者の満足度の高い講座を実 施することができた。申込者が 多い講座については、講師と調 整し複数回実施したり、定員を 増員し対応した。	A. 現状どおり推進  引き続き、子ども達のニー ズにあった講座を推進す る。	●アピコでなんでも学び隊 【日程】6月・7月・8月・10月・11月・12月・1月 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小・中学生  《ROBOLABプログラミング教室 車型ロボットを 作って動かそう》【定員】22人 《ROBOLABプログラミング教室 車型ロボットを コントロールして動かそう》【定員】22人 《伝統の美・友禅染 プロに学ぶ日本の技》 【定員】24人 《生命の不思議発見!ーメダカを通してー》 【定員】24人 《五つの味の世界 プロのシェフに学ぼう》 【定員】24人 《My望遠鏡で月を見よう!》【定員】20人 《あら不思議カガミを使わない万華鏡!》 【定員】24人 《科学であそぼう!》【定員】24人 《磁石とコイルのパワーを探れ》【定員】24 人×2回 《卓球チャンピオンになろう!基本からゲーム まで》【定員】20人 《トライサイエンス(探査機を宇宙に送ろう・ゆ かいなクラクション)》【定員】24人 《粉こねてピザをつくろう!(高校生とジョイン ト)》【定員】15人 《パンでクリスマスブーツをつくろう!》【定 員】18人 《はじめての書初め》【定員】22人 《ダブルダッチに挑戦!》【定員】20人	我孫子の市民、企業、団体、 学校の協力により実施する。  消耗品費 15千円 食糧費 7千円 講師謝礼 70千円	生涯学習課
72	子どものための舞台鑑賞 事業  子どもたちに良質な舞台芸 術を鑑賞してもらうため、プ ロ劇団による演劇鑑賞会を 開催する。ふだんはあまり 実際の演劇など舞台芸術に 親しむ機会の少ない子ども たちに鑑賞機会を与えるこ とによって、豊かな感受性と 芸術に対する意欲を醸成す る。	●子どものための舞台鑑賞 子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員 会の主催で実施した。  【日程】平成29年1月28日(土) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【内容】スティールパンバンドによる子ども向けの舞台公演を開催 【参加者】310名	【入場者数】310人  あび子こどもの文化連絡会 我孫子市子ども会育成会連絡協 議会  需用費: 58千円 手数料: 1千円 委託料: 521千円 使用料: 78千円	A. 成果・効果があった  開催については、市内で子ども 達のために活動している団体と 実行委員会を組織して、子ども のニーズや子どもに見てもらい たいという視点を取り入れ、開催 することができた。	A. 現状どおり推進  ふだんはあまり実際の演劇 など舞台芸術に親しむ機会 の少ない子どもたちに鑑賞 機会を与えることによって、 豊かな感受性と芸術に対 する意欲を醸成する。	子どもたちの文化教養として舞台芸術に親し み、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施 する。 【日程】平成30年2月予定 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【内容】子供向けの舞台公演を開催	あび子こどもの文化連絡会 我孫子市子ども会育成会連 絡協議会  需用費: 68千円 手数料: 8千円 委託料: 517千円 使用料: 143千円	文化・ス ポーツ課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
73	成人・青少年への図書館サービス  中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出した。また、講演会などの事業を実施した。 ・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ・成人・青少年に対するサービスの企画運営 ・一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ・館内研修の実施	中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出した。また、講演会などの事業を実施した。 ・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ・成人・青少年に対するサービスの企画運営 ・一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ・館内研修の実施	【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】 275,635人(昨年度比 -2.9%)	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出する。また、講演会などの事業を実施する。 ・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ・成人・青少年に対するサービスの企画運営 ・一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ・館内研修の実施	なし	図書館
		《講演会》 【テーマ】「没後百年 夏目漱石を語る」 【日程・講師】12月3日(土) 有山輝雄氏、12月4日(日) 石崎等氏 【場所】アビスタホール 【参加者】12/3 99人、12/4 108人  《ブックフィルムコーティング講習会》 【日程・場所・参加者】 10月26日(水) アビスタ本館 17人 10月27日(木) 布佐分館 10人 10月28日(金) 湖北台分館 6人	なし			囑託職員報酬他 909千円 事務用消耗品 11千円 消耗品費(逐次刊行物) 6,101千円 図書資料購入費(一般書) 17,175千円 講師報償費 50千円		
74	児童への図書館サービス  子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。	・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、よむよむラリー、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議	【児童書の年間貸出冊数】 237,055冊(昨年度比 -4.7%)	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、よむよむラリー、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議	市民スタッフ(読書普及担当)と協働して、布佐分館おはなし会での素話と絵本の読み聞かせ、そよかぜおはなしタイムでの絵本の読み聞かせを実施する。	図書館
		●親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 22回 476人 ②布佐分館 12回 85人 ●おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 24回 187人 ②布佐分館 24回 157人 ●そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 7回 79人 ②久寺家ステーション 8回 53人 ●子どものための科学実験講座 【日程】8月3日(水)①10時~12時 ②14時30分~16時30分 【場所・参加者】①布佐分館 32人 ②アビスタ本館 33人 ●よむよむラリー 【完了数】472人	市民スタッフ(読書普及担当)と協働して、布佐分館おはなし会での素話と絵本の読み聞かせ、そよかぜおはなしタイムでの絵本の読み聞かせを実施した。	囑託職員報酬他 1,600千円 講師報償費 42千円 市民スタッフ報償費 37千円 普通旅費 3千円 事務用消耗品 38千円 図書資料購入費(児童書) 3,145千円	囑託職員報酬他 1,705千円 講師報償費 40千円 市民スタッフ報償費 40千円 普通旅費 11千円 事務用消耗品 58千円 図書資料購入費(児童書) 3,121千円			

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
75	子どもの読書活動推進計画の策定  「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条の規定に基づく「子どもの読書活動推進計画」を策定することにより、子どもの読書活動推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、子どもの読書や学習活動につなげる。	「子どもの読書活動推進計画」策定に向けて準備を行った。 (課内会議の開催、スケジュール・進め方・コスト・アンケート(案)等の検討)	【策定準備の進捗率】 100%	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	「子どもの読書活動推進計画」の策定。 検討委員会を設置し、平成30年度末までに計画を策定する。 教育委員会議、総合教育会議、生涯学習審議会、パブコメ等に諮り、意見を反映させる。	なし	図書館
			なし				正職員人件費のみ	
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実			③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実					
76	男女共同参画講演会の実施  男女共同参画に関する施策や社会の潮流をテーマとした講演会を通して、男女共同参画に対する理解を深め、男女共同参画社会の実現を図る。	●男女共同参画月間講演会(主催) 【テーマ】わたしの平成幸福論ノート～自分らしい生き方、家族のあり方を考える～ 【日程】6月26日(日)14時～15時40分 【場所】アビスタホール 【講師】水無田気流さん(詩人、社会学者。國學院大學経済学部教授) 【参加者】81人  ●男女共同参画社会づくり講演会 【共催】市民団体「あびこ女性会議」 【テーマ】なんでこんなに大変なの?!日本の子育て・介護のゆくえ 【場所】10月22日(土)14時～16時 【講師】山根純佳さん(実践女子大学人間社会学部准教授) 【参加者】38人	【参加者アンケートによる満足度】 ●男女共同参画月間講演会(主催) 80%(有効回答数59人、72.8%) ●男女共同参画社会づくり講演会 64%(有効回答数25人、65.8%)	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	●男女共同参画月間講演会(主催)…開催予定 【テーマ】ポストイクメン時代 男の生き方もハーフ&ハーフで 【日程】6月24日(土)午後1時開演(12時30分開場) 【場所】アビスタホール 【講師】田中俊之さん(大正大学心理社会学部准教授) 【参加者】81人 ●男女共同参画社会づくり講演会(市民団体「あびこ女性会議」との共催)…開催予定 【テーマ】未定 【場所】10月21日(土)時間未定 【場所】市民プラザ 【講師】柚木理子さん(川村学園女子大学元教授)	●男女共同参画社会づくり講演会 市民団体「あびこ女性会議」と毎年秋に共催で実施。講師選定・企画は同団体、講師謝礼、ポスター・チラシ作成は市で、広報活動、当日運営は協働で行う。  ●男女共同参画月間講演会 講師謝礼100,000円 ●男女共同参画社会づくり講演会 講師謝礼50,000円	秘書広報課
			●男女共同参画月間講演会(主催) 講師謝礼100,000円 ●男女共同参画社会づくり講演会(共催) 講師謝礼50,000円	平成28年度は、主に女性を対象としたテーマでの実施となった。男女共同参画は、男性にとっても生きがいのある社会を目指す上で重要であるため、今後、男性の立場・視点から理解を深めるテーマでの実施を検討していく。				

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
77	<p>平和事業</p> <p>今も世界の各地で起きている紛争の現実を知り、多くの市民が平和を大切に思う思いを強くし、さまざまな平和への取り組みにつなげるため、市民や市民団体と連携しながら市民会議や広島への中学生派遣等の平和に関する各種事業を行い、戦争や原爆の悲惨さを次の世代に伝える。</p>	<p>●平和事業推進市民会議 【開催回数】 5回 【委員数】 14名</p> <p>●中学生派遣 【派遣先】 長崎 【派遣期間】 8月8日(月)～10日(水) 【派遣人数】 12名(中学校6校から、男女各1名ずつ)</p> <p>●派遣中学生による報告会 【開催日程】 12月4日(日) 【会場】 けやきプラザ2階ふれあいホール 【内容】 派遣中学生報告会、長崎市との共催による被爆体験講話 我孫子中学校演劇部・吹奏楽部による朗読劇(長崎を舞台) 【同時開催】 11/30～12/4 長崎市との共催により「ナガサキ原爆被災展」</p> <p>●リレー講座 【開催時期】 平成28年6月～平成29年2月 【対象者】 小学校全13校の6年生各クラス</p>	<p>【派遣中学生発表会への来場者数】 約300人</p> <p>平和事業は、平和事業推進市民会議や我孫子市原爆被爆者の会とともに実施した。平成28年度は平和事業市民会議委員14名と会議を行い、催しの企画・運営を行った。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●中学生派遣事業 中学生派遣事業のスタートから10年が経ち、派遣経験を持つ若者が、さらに若い世代である小学生に戦争や原爆の悲惨さや平和の尊さを伝えていく「リレー講座」が新たにスタートし、戦争・原爆体験者を中心に行ってきた平和事業を、この先、戦争・原爆を体験していない世代が中心となって行っていく仕組みづくりのきっかけとなった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>若い世代の平和事業への関心を高め、戦争・原爆体験者の体験を継承していくよう推進していく。</p>	<p>●平和事業推進市民会議…5回開催予定 ●中学生派遣…8月5日(土)から8月7日(月)まで、12人の中学生を広島へ派遣する。 ●平和祈念式典組み合わせ事業…8月12日(土) 手賀沼公園「平和の記念碑」前 ●派遣中学生による報告会…12月3日(日) けやきプラザ2階ふれあいホール ●リレー講座…小学校全13校で実施予定</p>	<p>平和事業は、平和事業推進市民会議や我孫子市原爆被爆者の会とともに実施する。</p> <p>●平和事業推進市民会議 37,500円 ●中学生派遣 1,206,500円 ●平和祈念式典組み合わせ事業 120,000円 ●派遣中学生による報告会 359,400円 ●リレー講座 10,000円 ●平和首長会議メンバーシップ納付金 2,000円</p>	企画課
		<p>●平和事業推進市民会議 21,500円 ●中学生派遣 1,746,420円 ●平和祈念式典組み合わせ事業 41,400円 ●派遣中学生による報告会 175,080円 ●リレー講座 消耗品に含まれる ●平和首長会議メンバーシップ納付金 2,000円 ●事業消耗品 35,811円</p>	<p>●中学生派遣事業 勉強や部活、アルバイト等で忙しい大学生や高校生の協力者をどのように増やしていくかが、課題として挙げられる。</p>	<p>●骨粗しょう症セミナー 市民の方に関心をもっていただくためセミナーを実施予定。 医師を講師に、日頃からできる予防方法や、発症している方、それに気が付いていない方に対しては医療機関への受診を通しての改善や病態進行の阻止につなげていただけるよう、ただ聞くだけではなく、実際に体を動かしながら学べるような講演内容とする予定。</p>		<p>協賛企業については、中外製薬(株)または雪印ビーンスターク(株)を予定。資料の準備、講師の調整を行う。(比較検討していく。)我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員が市民(参加者)に対し、食や運動についてアドバイスを行う。</p> <p>協賛企業と相談。</p>		
78	<p>健康づくりに関する専門家によるセミナー</p> <p>市民の自主的な健康づくりを目的に、運動、休養、口腔衛生、栄養等の生活習慣の話や、実践的な筋力アップ体操・ストレッチに関する情報を提供し、市民に正しい生活習慣についての理解を深め、現在の生活習慣を見直し、自分にあったアレンジを加え日常生活を改善してもらう。</p>	<p>【演題】骨粗しょう症セミナー「今日からできる折れない骨作り」 【日程】平成29年2月7日(火) 13時～15時 【場所】アビスタホール 【対象】事前に申し込みをされた我孫子市民 【参加者】93人</p> <p>【内容】 ・現在患者数は1,300万人以上と言われている骨粗しょう症について、市民の方に関心をもっていただくためセミナーを実施。理学療法士を講師に、日頃からできる予防方法や、発症している方、それに気が付いていない方に対しては医療機関への受診を通しての改善や病態進行の阻止につなげていただけるよう講演を行った。ただ聞くだけではなく、実際に体を動かしながら学べるような講演内容とした。 ・「カルシウムについて」の講話とあびこ市民の歌健康体操(ロコトレパージョン)の紹介。 ・我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員による講話。 ・我孫子市で行っているがん検診についての説明、生活習慣についての説明。 【協賛】中外製薬(株)</p>	<p>【参加者】 93人</p> <p>協賛企業:中外製薬(株)が資料の提供、講師の派遣調整を実施。我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員が市民(参加者)に対し、食や運動についてアドバイスをを行った。</p> <p>講師謝礼等、協賛企業の中外製薬(株)が負担のため、市の負担はなし。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>アンケート調査の結果、健康意識が「とても高まった・高まった」と回答した割合が73%、講演会の内容について、「とてもよかった・よかった」と回答した割合が98.5%であり、ほぼ全員の方の健康意識の向上につながった。</p> <p>高齢者の参加が多く、もう少し若い世代にも興味をもってもらいたい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>例年9月に実施している骨粗しょう症検診と近い時期(年内)に骨粗しょう症予防セミナーも実施し、受診者の予防・危機意識を高めていく。</p>	<p>●骨粗しょう症セミナー 市民の方に関心をもっていただくためセミナーを実施予定。 医師を講師に、日頃からできる予防方法や、発症している方、それに気が付いていない方に対しては医療機関への受診を通しての改善や病態進行の阻止につなげていただけるよう、ただ聞くだけではなく、実際に体を動かしながら学べるような講演内容とする予定。</p>	<p>協賛企業については、中外製薬(株)または雪印ビーンスターク(株)を予定。資料の準備、講師の調整を行う。(比較検討していく。)我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員が市民(参加者)に対し、食や運動についてアドバイスを行う。</p> <p>協賛企業と相談。</p>	健康づくり支援課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課
			指標と実績 市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
79	メンタルヘルス啓発講座  精神保健福祉に関心のある市民に、病気に対する正しい理解を深めてもらい、地域の支援者の増加を図る。年1回、3日間程度の講座を実施する。	28年度より障害者啓発事業と統合しメンタルヘルス啓発講座として市と障害者まちかど相談室と共催で事業を実施。 【日程】平成29年2月5日 【場所】アビスタ大ホール 【参加人数】56名 【実施内容】引きこもりを理解する当事者家族の体験談グループワーク 【講師】柏駅前なかやまメンタルクリニック院長 中山貴至氏 引きこもりを理解する 【講師】KHJ千葉県なの花会 武山芳枝氏 当事者家族の体験談	講演会参加者56名  【講師協力】病院(柏駅前なかやまメンタルクリニック) NPO法人(KHJ千葉県なの花会) 【共催】我孫子市障害者まちかど相談室  講師報償費 20,000円(医師)+3,000円(当事者家族)=23,000円	A. 成果・効果があった  興味を持って、多くの方に参加していただき、講演会後のアンケートでも、よい評価をいただいた。  前半に行った講演会は多くの方に参加していただけだったが、後半のグループワークの参加者が少なかった。参加しやすい環境づくりが課題となった。	A. 現状どおり推進  趣旨・目的に沿った講演会を開催する。内容については我孫子市障害者まちかど相談室と協議の上、決定する予定。	未定	【共催】我孫子市障害者まちかど相談室  【講師】病院関係者、福祉施設関係者  人件費のみ	障害福祉支援課
80	失語症家族教室  失語のある人のご家族を対象に失語に関する悩み相談、家族間交流、情報交換、失語の知識や会話技術についての講習・実習を行う。	失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を実施。 ●失語症家族教室 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】5回 【定員】10名 【参加者数】延べ7人 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料	【失語症家族教室への延べ参加者数】延べ10人  失語のある人のご家族から、実施にあたっての参考意見を聴取。  なし	A. 成果・効果があった  失語のある人の家族が抱える悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行い、失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担の軽減を図った。  なし	A. 現状どおり推進  なし	失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行う。 ●失語症家族教室 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】5回 【定員】10名 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料	失語のある人のご家族から、実施にあたっての参考意見を聴取する。  なし	障害福祉支援課(障害者福祉センター)
81	手話講習会・読話講習会  中途失聴者・難聴者の方とその家族を対象とした手話講習会、読話講習会を開催する。	●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、手話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、「手話講習会」を開催した。初心者向けに、手話の基礎を学んでもらった。 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】全10回 【定員】20名 【参加者数】24人 【対象】我孫子市在住の中途失聴者・難聴者とその家族、千葉県中途失聴者・難聴者協会会員 【費用】無料 *情報補償として、要約筆記者を配置	【講習会参加実人数】20人  千葉県中途失聴者・難聴者協会我孫子支部と協議の上、事業を計画した。  手話講習会講師報償費 80,000円 手話講習会筆耕翻訳料 116,830円 手話講習会補助者謝礼 52,150円 手話講習会消耗品費 1,987円	A. 成果・効果があった  講習会を通して、読話の基礎の習得及び当事者間の交流が促進された。手話の基礎を学ぶ機会を提供した。  なし	A. 現状どおり推進  なし	中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、手話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、「読話講習会」を開催する。初心者向けに、読話の基礎を学ぶ。 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】全10回 【定員】20名 【対象】我孫子市在住の中途失聴者・難聴者とその家族、千葉県中途失聴者・難聴者協会会員 【費用】無料 *情報補償として、要約筆記者を配置	千葉県中途失聴者・難聴者協会我孫子支部と協議の上、事業を計画する。  ・読話講習会筆耕翻訳料 129,000円 ・読話講習会派遣通訳者報償費 52,650円 ・読話講習会消耗品費 5,200円	障害福祉支援課(障害者福祉センター)

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり  
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
82	<p>家族介護教室</p> <p>要介護被保険者の状態の維持改善をめざし、介護をしている人を対象に、適切な介護知識や技術、外部サービスの適切な利用方法についての教室を開催する。</p>	<p>市内4箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催した。</p> <p>《我孫子地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族介護者のためのなないろ生き生き教室」6月29日 けやきプラザ9階ホール、参加者20名</li> <li>・「失敗しない高齢者施設の選び方」9月23日 あびこ市民プラザホール、参加者55名</li> <li>・「食習慣から考える認知症予防」12月20日 あびこ市民プラザ会議室1、参加者7名</li> <li>・「家族介護者のためのくすりの知識講座」3月2日 あびこ市民プラザホール、参加者8名</li> </ul> <p>《天王台地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症を知って予防しよう！第1回 認知症予防ってなんだろう！認知症予防って？」5月10日 天王台北近隣センター多目的ホール、参加者33名</li> <li>・「認知症を知って予防しよう！第2回 認知症を防ぐ生活習慣～ロコモティブシンドロームを防ごう！」7月16日 天王台北近隣センター多目的ホール、参加者30名</li> <li>・「認知症を知って予防しよう！第3回 認知症を防ぐ生活習慣 笑い編ー笑いヨガで、大笑いしましょう」9月29日 天王台北近隣センター多目的ホール、参加者34名</li> <li>・「認知症を知って予防しよう！第4回 認知症を防ぐ生活習慣 食生活編 バランスのとれた食事をよく噛んで食べる！」11月13日 天王台北近隣センター多目的ホール、参加者16名</li> <li>・「認知症を知って予防しよう！第5回 認知症を防ぐ生活習慣 運動編 バランスウオーキング教室」1月26日 天王台北近隣センター多目的ホール、参加者39名</li> <li>・「認知症を知って予防しよう！第6回 認知症サポーターになろう！認知症サポーター養成講座」3月17日 天王台北近隣センター多目的ホール、参加者17名</li> </ul> <p>《湖北・湖北台地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほくほく介護教室第1回「バランスウオーキング」5月24日 湖北地区公民館第1学習室、参加者50名</li> <li>・ほくほく介護教室第2回「認知症って何だろう？認知症予防って？」7月12日 湖北台近隣センター多目的ホール、参加者55名</li> <li>・ほくほく介護教室第3回「身近にある感染症とその対策」9月8日 湖北台近隣センター多目的ホール、参加者42名</li> <li>・ほくほく介護教室第4回「生活習慣予防」と「薬」の話しそして「在宅医療と介護の連携」11月10日 湖北台近隣センター多目的ホール、参加者76名</li> <li>・ほくほく介護教室第5回「転ばないための運動教室」ロコモと転倒予防 12月6日 湖北台近隣センター多目的ホール、参加者46名</li> <li>・ほくほく介護教室第6回「笑いヨガ」で心も身体も健康に！！3月14日 湖北地区公民館第1学習室、参加者53名</li> </ul> <p>《布佐・新木地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある感染症とその対策 11月10日 ふさの風近隣センター多目的ホール、参加者24名</li> <li>・消費者被害防止講座 2月14日 新木近隣センター、参加者21名</li> </ul> <p>《全地区共通》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアメン倶楽部「男の料理教室」7月14日 アビスタ調理室、参加者6名</li> <li>・ケアメン倶楽部「男の料理教室」9月15日 アビスタ調理室、参加者6名</li> <li>・ケアメン倶楽部「男の料理教室」11月24日 アビスタ調理室、参加者3名</li> <li>・ケアメン倶楽部「男の料理教室」2月17日 アビスタ調理室、参加者2名</li> </ul>	<p>【教室参加者】 643人</p> <p>湖北・湖北台地区で実施の「ほくほく介護教室」で、市内ケアハウス入居者の協力あり。</p> <p>高齢者なんでも相談室運営委託料に含む。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>多数の市民の参加があった。認知症予防や生活習慣、転倒予防のための運動、家族介護への知識の習得に加え調理実習等も行い、健康に生活するための知識習得を進めることができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>市内4箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催する。</p>	<p>市内4箇所の高齢者なんでも相談室が主催となって実施。</p> <p>高齢者なんでも相談室運営委託料に含む。</p>	<p>高齢者支援課</p>

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
83	認知症の方の家族のつどい 認知症の症状のある方を介護している家族が、同じ悩みを抱える家族間で交流を図り、介護方法などの情報交換を行うことにより、家族の負担の軽減や不安の解消を図る。認知症高齢者とその家族の方が安心して暮らせることができるよう支援を行う。	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】 偶数月の第2水曜日を基本とし、年6回開催(千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業) 【場所】 けやきプラザ7階研修室又は1階工作室 【参加対象者】 認知症の症状のある方を介護している家族 【実施内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流 【参加者】 延48人	【アンケートの結果】 《参加により不安の軽減できた》 100% 《自由記載の一部抜粋》 ・認知症の介護は、程度に関わらず大変であることを改めて認識しました。むしろ軽度の時が本人・介護者両方が一番きつい時だと思います。 ・皆さんのお話を聞いていて私の方がほっとしております。これからは時間が合えば出席したいと思っております。 なし(プライベートな悩み相談の場であるため、一般市民との協働は困難)	A. 成果・効果があった アンケートでは「参加により不安の軽減できたか」100%であり、介護家族の交流や負担軽減の場となっている。	A. 現状どおり推進 なし	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】 偶数月の第2水曜日を基本とし、年6回開催(千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業) 【場所】 けやきプラザ7階研修室又は1階工作室 【参加対象者】 認知症の症状のある方を介護している家族 【実施内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流	なし(プライベートな悩み相談の場であるため、一般市民との協働は困難)	高齢者支援課
			ファシリテーター報償費 21,000円	互いに交流を図れるように参加者を増やしていくため、認知症の方の介護者へのチラシ配布を行う。			ファシリテーター報償費 21千円	
84	健康生活月間講演会 自分らしく健康な生活を続けることができるよう、介護予防に関する正しい知識の普及啓発を行い、健康寿命の延伸を図る。年1回健康生活月間を設け、講演会や介護予防事業体験会を通して普及啓発を行う。	《講演会》 【日程】平成28年11月17日(木) 【場所】けやきプラザ2Fふれあいホール 【内容】これだ！ 噛む健康長寿法(口腔に関する講演会) 【対象】市民 【定員】450人 【参加者数】 114人	【講演会参加者へのアンケート結果】 講演会参加者へのアンケートより、『わかりやすい』77.5% 【アンケートの自由記載での意見の抜粋】 とても勉強になりました。パタカラ体操が大変良かった。 特になし	A. 成果・効果があった 講演会参加者のうち、『わかりやすい』との回答が8割近くおり、介護予防に関する知識の普及啓発は行えた。	A. 現状どおり推進 なし	《講演会》 【日程】平成29年11月29日(水) 【場所】けやきプラザ2Fふれあいホール 【内容】認知症予防に関する講演会(題未定) 【対象】市民 【定員】450人	なし	高齢者支援課
			健康生活月間講演会講師報償費 64,000円 健康生活月間ポスター・チラシ作成 194,400円	会場450人定員に対し、参加は114名であり、介護予防の啓発のためにも参加者の増加を図る必要がある。興味を引く内容や効果的な周知を図り参加者の増加を図っていく。			健康生活月間講演会講師報償費 74千円 健康生活月間ポスター・チラシ作成 209千円	
85	高齢者虐待防止講演会 高齢者虐待に関する正しい知識の普及を図るとともに、地域の見守りによる虐待防止の体制づくりについて紹介啓発を図る。	【日程】平成29年2月11日(土) 【時間】午後1時30分から午後3時30分まで 【場所】アピスタホール 【定員】150名 【対象】市民 【参加費】無料 【参加者数】 42人 【講師】中田 光彦(鎌倉市社会福祉協議会登録ホームヘルパー他)	【アンケートの結果】 回収率:78.6% 参加動機:テーマに興味があったためが多数(20)、わかりやすかったか? :はいが多数(31) 【自由記入欄の抜粋】 ・参加してとても良かったと思う。今後の参考になった。・介護している自分に元気をいただきました。このような介護専門の方の講演をお願いします。 なし	A. 成果・効果があった 参加者は前回より減少しているが、養護者による虐待防止という観点から有効な講演であった。実際に現場で介護に従事されている講師からの話ということで、実体験に伴う話を聞いたことで良い評価を複数聞くことができた。	A. 現状どおり推進 なし	隔年実施のため29年度の実施予定はなし。	なし	高齢者支援課
			講師謝礼 50,000円 ・チラシ・ポスター用紙 6,043円	参加者が少ないため、参加に関わる広報等への工夫が必要である。			なし	

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり  
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
			具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
				経費(人件費は除く)				予算	
86		遊具うんどう教室  生活習慣病予防のため、運動の習慣化を目指し、うんどう遊具を利用した運動の実践などの健康情報の提供や、地域ぐるみで支え合う健康づくりの支援を行う。	【場所・日程・参加者】 《湖北台中央公園》毎月第3火曜日、6回、延 119人 《天王台西公園》毎月第3金曜日、11回、延 163人 《布佐南公園》毎月第2水曜日、7回、延 39人 ※雨天の場合には、中止 【対象者】概ね65歳以上の方	【遊具うんどう教室参加者合計数】 延 321人	A. 成果・効果があった 本事業は、生活機能の低下による要介護状態を予防するため、介護予防に関する啓発を行っている。今後も高齢者が自ら介護予防に取り組めるよう、引き続き現状通り継続していく。	A. 現状どおり推進 利用者が安全に使用することのできる環境を整えていく。	【場所・日程・参加者】 《湖北台中央公園》毎月第3火曜日 《天王台西公園》毎月第3金曜日 《布佐南公園》毎月第2水曜日 ※雨天の場合には、中止 【対象者】概ね65歳以上の方	市民ボランティア(健康生活サポートリーダー)が中心となって、遊具うんどう教室を実施。	高齢者支援課
			●遊具の修繕・撤去 《湖北台中央公園》 腕立て伏せ運動遊具撤去、腕歩行運動遊具撤去、石灰ダストのしきならし 《天王台西公園》 サインボード修繕、棒飛び運動用具撤去、石灰ダストのしきならし 《布佐南公園》 石灰ダストのしきならし	運動遊具修繕料 1,242,000円	市内3ヶ所に設置のうんどう遊具が設置から15年以上経過し、老朽化や破損等による補修の必要性が多く出てきている。		運動遊具修繕料 586千円		
87		環境学習の推進  小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や地球温暖化問題・生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、鳥などの生き物や手賀沼を身近に感じ、我孫子市の環境施策を推進する。	《手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&観察と船上バードウォッチング～》 【日程】8月3日(水)【場所】鳥の博物館講堂 【対象】小学生12人(3年生以下保護者同伴)【参加者数】7人	【夏休み環境学習4事業参加者】 85人	A. 成果・効果があった カヌー以外の3事業とも早くから定員になるほど申込が相次いでおり、夏休みのイベントとしての需要は高い。参加した子供達だけでなく親の反応も良かった。	B. 改善・見直しを行う 当日の空いている参加枠を少なくするような方法を考えていく。	《手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&観察と船上バードウォッチング～》 【日程】①7月25日(火)②8月2日(水)【場所】水の館 研修室 【対象】小学生12人(3年生以下保護者同伴)	「紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～」及び「船から見る手賀沼のふしぎ」事業は、環境に関わるボランティアリーダーである我孫子市環境レンジャーに講師を務めていただき実施予定。「手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&観察と船上バードウォッチング～」事業は、柄澤先生に講師を務めて頂き、鳥博と共同で実施予定。「カヌー体験教室」は手賀沼カヌークラブに委託予定。	手賀沼課
			《紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～》 【日程】7月21日(木)・28日(木)【場所】アビスタ工芸工作室 【対象】小学生20人(3年生以下保護者同伴)【参加者数】19人	「紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～」及び「船から見る手賀沼のふしぎ」事業は、環境に関わるボランティアリーダーである我孫子市環境レンジャーに講師を務めていただき実施。「手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&観察と船上バードウォッチング～」事業は、柄澤先生に講師を務めて頂き、鳥博と共同で実施。「カヌー体験教室」は手賀沼カヌークラブに委託。	定員になってしまった後は全て断っているが、ひとまず申し込んにおいて当日キャンセル、という参加者もいるため、当日空きができてしまうのがもったいない。	《紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～》 【日程】7月27日(水)【場所】手賀沼公園 【対象】小学生20人(3年生以下保護者同伴)【参加者数】37人	《カヌー体験教室》 【日程】7月30日(土)【場所】布佐小学校 【対象】小学生50人【参加者数】22人	環境学習講師報償費 35千円 その他保険料 15千円 船借上料 20千円 消耗品 60千円 カヌー運営委託料 40千円 環境学習事業委託料 50千円	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
88	消費生活講座  消費者の多様化するトラブルを防止するのに必要な情報を市民に提供するため、消費生活相談員や外部講師による消費生活講座を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふれあいサロン【日程・場所】</li> <li>①【日程】4月6日【場所】こもれび【参加者】60名</li> <li>②【日程】4月7日【場所】アビスタ【参加者】35名</li> <li>③【日程】4月21日【場所】アビスタ【参加者】35名</li> <li>④【日程】6月21日【場所】代表者個人宅【参加者】15名</li> <li>⑤【日程】4月21日【場所】我孫子北近隣センター【参加者】35名</li> <li>⑥【日程】4月21日【場所】湖北台市民センター【参加者】40名</li> <li>⑦【日程】4月21日【場所】布佐南近隣センター【参加者】30名</li> <li>⑧【日程】4月21日【場所】我孫子北近隣センター【参加者】25名</li> <li>●出前講座</li> <li>①【日程】10月3日、11日、13日、14日、3月6日、15日、17日、21日【場所】我孫子中学校【参加者】289名</li> <li>②【日程】10月27日【場所】長寿大学(湖北地区公民館)【参加者】50名</li> <li>③【日程】2月17日【場所】アビスタ【参加者】18名</li> <li>●消費生活講座</li> <li>【テーマ】思い出の品をどうする?～プロが教える自宅や実家の片づけ家整理術～</li> <li>【講師】渡部 亜矢【場所】アビホール【日時】11月2日(水)【参加者】66名</li> <li>【テーマ】失敗しない住まいづくり</li> <li>【講師】特定非営利活動法人建築Gメンの会【場所】けやきプラザ9階ホール【日程】H29年2月25日(土)【参加者】24名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【全ての講座の参加人数】722名</li> <li>なし</li> <li>●消費生活講座アビホール使用料 43,200円</li> <li>●講師報償費 50,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 成果・効果があった</li> <li>消費者被害に遭わないための情報提供を、幅広い世代に行うことができた。</li> <li>また各講座の内容は、受講される方の要望に合わせていることが可能なため、受講者の反応は概ね良好な感触を得ている。</li> <li>なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 現状どおり推進</li> <li>なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふれあいサロン【日程・場所】</li> <li>①【日程】6月11日【場所】未定【参加者】未定</li> <li>②【日程】11月8日【場所】新木近隣センター【参加者】未定</li> <li>③【日程】1月19日【場所】湖北地区公民館【参加者】未定</li> <li>●出前講座</li> <li>①【日程】5月1日【場所】我孫子南近隣センター【参加者】30名</li> <li>●消費生活講座【テーマ】未定【講師】未定【日時】未定【参加者】未定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> <li>●消費生活講座アビホール使用料 54,000円</li> <li>講師報償費 50,000円×2回</li> </ul>	商業観光課
89	緑の講習会  ガーデニングや庭の手入れ方法などの緑に関する知識や技能の講習会を開催し、多くの市民に園芸やガーデニングに興味を持ってもらい、みどり豊かなまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緑の講習会</li> <li>《剪定講座(座学)》</li> <li>【日程】4月23日(土)【場所】アビスタミニホール【定員】20人【申込人数】60人【参加者】55人</li> <li>《ハンギングバスケット》</li> <li>【日程】4月27日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【申込人数】41人【参加者】24人</li> <li>《剪定講座(実技)》</li> <li>【日程】5月11日(水)【場所】気象台記念公園【定員】20人【申込人数】35人【参加者】27人</li> <li>《庭造りの第一歩・草花の育て方》</li> <li>【日程】5月26日(木)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【申込人数】21人【参加者】21人</li> <li>《ハーブの寄せ植え》</li> <li>【日程】6月8日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【申込人数】40人【参加者】31人</li> <li>《初夏の寄せ植え講座》</li> <li>【日程】6月26日(日)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【申込人数】45人【参加者】30人</li> <li>《親子で楽しむ多肉植物の寄せ植え》</li> <li>【日程】7月22日(金)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【申込人数】20人【参加者】18人</li> <li>《ミニ盆栽づくり講座》</li> <li>【日程】9月17日(土)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【申込人数】16人【参加者】15人</li> <li>《秋の剪定講座(座学)》</li> <li>【日程】10月9日(日)【場所】アビスタ第二学習室【定員】30人【申込人数】51人【参加者】44人</li> <li>《クリスマスリースづくり》</li> <li>【日程】11月18日(金)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人【申込人数】51人【参加者】44人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【合計参加人数】309人</li> <li>緑の講習会はテラス21と協働で行った。</li> <li>緑の講習会委託料 480,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 成果・効果があった</li> <li>毎年開催している剪定講座(座学)(実技)、ハーブの寄せ植え、クリスマスリースづくり等、多数の応募があり、毎回の参加者アンケート結果からも市民の興味関心は強い。</li> <li>なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A. 現状どおり推進</li> <li>なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緑の講習会</li> <li>《剪定入門 実技》</li> <li>【日程】5月12日(金)【場所】気象台記念公園【定員】20人</li> <li>《ハーブの寄せ植え》</li> <li>【日程】5月27日(土)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</li> <li>《剪定入門 果樹の手入れ》</li> <li>【日程】5月28日(日)【場所】アビスタミニホール【定員】20人</li> <li>《庭造りはじめの第一歩》</li> <li>【日程】6月7日(水)【場所】アビスタ【定員】20人</li> <li>《お手入れ簡単! テラコッタ壺の寄せ植え実技》</li> <li>【日程】6月30日(金)【場所】湖北地区公民館【定員】20人</li> <li>《多肉植物の寄せ植え》</li> <li>【日程】9月13日(水)【場所】アビスタ【定員】20人</li> <li>《樹木の手入れ 座学》</li> <li>【日程】10月21日(土)【場所】アビスタ【定員】20人</li> <li>《ハンギングバスケット～クリスマスバージョン～》</li> <li>【日程】11月12日(日)【場所】湖北地区公民館【定員】20人</li> <li>《新春まで楽しめる艶やかリース》</li> <li>【日程】11月25日(土)【場所】アビスタ【定員】20人</li> <li>《苔玉の正月飾り》</li> <li>【日程】12月2日(土)【場所】湖北地区公民館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑の講習会はテラス21と協働で行う。</li> <li>緑の講習会委託料480,000円</li> </ul>	公園緑地課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
90	<p>栄養教諭を中核とした食育推進事業</p> <p>食事の重要性を理解し、心身の健康を維持するための食の自己管理能力を身に付けた児童・生徒の育成を目指し、学校給食を教材として食育を推進する。家庭における望ましい食習慣の実践につなげるため、保護者が参加できる教室を開催する。</p>	<p>・学校給食を教材とし、教科・給食指導・献立表・食育だより等を通して食に関する指導を行った。</p> <p>・6月に全校児童生徒を対象として我孫子産米・我孫子産野菜の認知度と朝食摂取状況に関するアンケートを実施した。朝食を毎日食べる割合は小学生92%、中学生85.8%であった。</p> <p>その他の項目についてのアンケートは地域の実態に合わせて実施した。</p> <p>・8月に我孫子地区で親子クッキング教室、湖北・布佐地区で親子料理教室を開催した。</p> <p>●親子クッキング教室 【日程】8月2日【場所】アピスタ 【内容】千葉の恵みを味わおう 【対象】親子【定員】30人【参加者数】30人【申込者数】145人</p> <p>●親子料理教室 【内容】10分で作れる朝ごはんメニュー【対象】親子【定員】24人 ①【日程】8月4日【場所】布佐南近隣センター【参加者数】23人 ②【日程】8月5日【場所】新木近隣センター【参加者数】23人</p> <p>・11月に全校で学級別残菜調査を実施した。平均残菜率は2.0%であった。</p> <p>・授業研究会を年8回実施し、栄養教諭・栄養職員の指導力向上を図った。</p>	<p>【教室・講習会開催回数】3回</p> <p>【教室・講習会参加者合計】76人</p> <p>なし</p> <p>なし</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>湖北・布佐地区の親子料理教室の実施時期を夏休みに変更したことで、参加希望者が増えた。</p> <p>食育については全体的に事業の数値的な評価が難しい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>・学校給食を教材とし、教科・給食指導・献立表・食育だより等を通して食に関する指導を行う。</p> <p>・5月に全校児童生徒を対象として我孫子産米・我孫子産野菜の認知度と朝食摂取状況に関するアンケートを実施する。その他の項目についての食生活アンケートは小学5年生と中学1年生を対象に実施する。</p> <p>・8月に我孫子地区・湖北・布佐地区で親子料理教室を開催する。</p> <p>・11月に全校で学級別残菜調査を実施する。</p> <p>・授業研究会を年3回以上実施し、栄養教諭・栄養職員の指導力向上を図る。</p>	<p>なし</p> <p>なし</p>	学校教育課
		<p>生涯学習出前講座の運営</p> <p>市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行った。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図った。</p> <p>9月にPR事業として展示を行った。</p> <p>●出前講座 【講座数】 市役所メニュー 79講座 市民講師メニュー 138講座 キャンパスメニュー 33講座 【年間利用状況】 件数：186件(うち市民講師講座：78件、キャンパスメニュー講座：16件) 人数：3389人(うち市民講師講座：1443人、キャンパスメニュー講座：262人)</p> <p>《出前講座PR展示》 【日程】9月20日～9月30日 【場所】アピスタ2階展示スペース</p>	<p>【利用者満足度・件数】(回答者 157人) 《とても満足》 78% ・ 123件 《満足》 19% ・ 30件 《ふつう》 3% ・ 4件 未回答：29件</p> <p>市民講師としてボランティア登録されている市民の方が講座を実施する。</p> <p>講師報償費 49 千円 消耗品費 119 千円</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>出前講座の制度を市民グループに利用してもらうことで、市民の主体的な生涯学習活動を支援することができた。</p> <p>パネル展示で市民講師メニューの紹介を行ったり、メニュー表を市内に配布することで、制度の周知に繋がった。</p> <p>利用者アンケートの結果では、高い満足度を得ることができた。</p> <p>申込み講座の人気・不人気があり、62%の講座が1度も利用がなかった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>利用者のニーズは、状況により変化すると考えられるため、ニーズがないからと一概に削除することは適切でないと考える。</p> <p>利用者からの問い合わせがあった際は、様々な講座を併せて紹介していきたい。</p>	<p>市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。</p> <p>出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図る。</p> <p>9月にPR事業として展示を行う。</p>	<p>なし</p> <p>講師報償費 50 千円 消耗品費 129 千円 お茶代 5 千円</p>	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	生涯学習普及啓発事業	<p>●夏休みアニメ上映&amp;朗読会 夏休みを行う視聴覚ライブラリーのアニメ映画会に合わせて、絵本の朗読会を行った。 【日程】8月2日(火)【場所】アビスタ ホール 【参加人数】84人(子ども53人、大人31人) 【内容】 ①絵本『あきらとジョニーのめざせパラリンピック』の作者佐々木大輔さんご本人による朗読と太鼓演奏・体験 ②16ミリフィルム「はれときどきぶた」、DVD「きりのなかのぶらんこ」 ●卒サラ講座 【場所】アビスタ 第2学習室 &lt;第1回&gt; 【日程】9月24日(土)【参加者】42人 【テーマ】これからの自遊時間をどうしますか 【内容】 定年後の自遊時間が現役時代の労働時間と同じ10万時間あることや、定年後のホームグラウンドは地域にあること、生きがいを見つけることの重要性などを説明するとともに、講師が経験したボランティア活動(JBF、日本女子オープンゴルフ選手権、手賀沼エコマラソン)を紹介し、地域活動の楽しさを伝えるなどした。 講座の最後に、JBFのボランティアへの参加を募ったところ、11人の申込みがあった。 &lt;第2回&gt; 【日程】10月1日(土)【参加者】40人 【テーマ】地域での居場所をつくりましょう 【内容】 講師が携わった自治会活動(街路灯のLED化への取組)の紹介などを通して、家庭や地域での居場所づくりのイロハや、地域におけるコミュニケーションの心得などを説明するとともに、次の資料を配付するなどして、地域デビューを啓発した。 ・オトナのための地域参加ガイドブック(高齢者支援課発行) ・ちばボランティアガイドブック(千葉県県民交流・文化課発行) &lt;第3回&gt; 【日程】10月8日(土)【参加者】38人 【テーマ】自分の生きがいを見つけよう 【内容】 次の資料を配付するなどして、受講者の「何かしたい」という気持ちに応えられる多様な情報源や、活動拠点となる施設、様々な分野の活動、生涯学習に関する講座・学級などを紹介し、生きがいづくりのきっかけとなる情報提供を行うとともに、これならイケる!という生きがいづくりのコツを伝えるなどした。 ・地域活動インターンシップ情報紙(あびこ市民活動ステーション発行) ・ボランティア・市民活動ガイドブック2015(我孫子市社会福祉協議会発行) ・ボランティア市民活動相談窓口 て・と・り・あ(我孫子市社会福祉協議会発行) ・元気シニア地域就労リーダー・スタッフ養成研修会(千葉県高齢者福祉課発行) ・利用してみよう!生涯学習出前講座(生涯学習課発行) 講座の最後に、受講者全員に、人より詳しいことや持っている資格、興味のあることなどを自分再発見シートに書き出してもらうとともに、それらを活かしてできる活動やしてみたい活動を書き出してもらった。 &lt;第4回&gt; 【日程】10月22日(土)【参加者】28人 【テーマ】思いをカタチにしましょう 【内容】 我孫子市シルバー人材センターの鈴木事務局長より、センターの意義や活動内容を紹介していただいた。最後に、講座のまとめとして、第3回で書いた自分再発見シートをもとに6班に分かれてグループワークを行い、自分の思いを発表し、発表者の背中を後押しし合った。また、次の資料を配付し、地域デビューのための情報を提供した。 ・公益社団法人 我孫子市シルバー人材センター(我孫子市シルバー人材センター発行) ・自治会・町内会から始まる地域愛(市民活動支援課発行) ・我孫子市生涯学習人材情報(生涯学習課発行) ・我孫子市生涯学習団体・グループ情報(生涯学習課発行) ・あびこ楽校ニュース 第31号(生涯学習課発行)</p>	<p>●夏休みアニメ上映&amp;朗読会 【アンケート結果】98%の方が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答 ●卒サラ講座 【第4回に参加した方へ実施したアンケート結果】 85%の方が「満足」「やや満足」と回答 【今後の展望についての質問(複数回答可)】 「生きがいをみつけない」、「興味のあるテーマや課題について学習したい」、「居場所や生きがいづくりに向けて、さらに情報収集したい」と回答した方がそれぞれ 44% 「地域に貢献できる活動がしたい」と回答した方 41% 【平成29年2月実施の追跡近況調査結果】 「講座を受けて、何か始めたことや変わったことはありますか。」との質問に91%の方が何かしらの影響を受けたと回答</p>	<p>A. 成果・効果があった ●夏休みアニメ上映&amp;朗読会 参加者から生涯を持った方から直接話を聞く機会ができ、感動した、とても良い経験になったという感想をいただいた。16ミリ映写機を用いた上映をしたことから、良い周知につながったと考えられる。 ●卒サラ講座 アンケート結果からも分かるように、参加者の大半の方に満足していただける講座となった。講座終了後、期間をおいて行った近況調査アンケートでも参加者の9割以上の方が講座に何かしらの影響を受け活動をしているという結果が出ている。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う 昨年度実施のアンケート結果や運営していた気づいたことを踏襲し次年度(29年度)実施内容に反映する。人権と行う部分でもう少しひねりを加えた内容で実施を検討する。</p>	<p>●夏休みアニメ上映&amp;朗読会 夏休みを行う視聴覚ライブラリーのアニメ映画会に合わせて、絵本の朗読会を行う。 【日程】8月2日(水)【場所】アビスタ ホール 【定員】150人 ●卒サラ講座 市内各地区で1回完結型の講座を開催する。 【日程】9月~11月【場所】市内近隣センター 【講師】我孫子市で活躍されている方</p>	<p>●夏休みアニメ上映&amp;朗読会 講師料 100,000円 ●卒サラ講座 講師料 130,000円 ポスター・チラシ印刷費 40,000円</p>	生涯学習課
			<p>●夏休みアニメ上映&amp;朗読会 講師報償 80,000円 ●卒サラ講座 講師報償 40,000円 チラシ代 27,000円</p>	<p>●夏休みアニメ上映&amp;朗読会 ●卒サラ講座 統計的な結果やただの情報の提供になっていたのが残念という意見があった。 全4回ということで、参加するのに少しハードルが高かった。</p>	<p>●夏休みアニメ上映&amp;朗読会 講師料 100,000円 ●卒サラ講座 講師料 130,000円 ポスター・チラシ印刷費 40,000円</p>			

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
93	人権教育  地域で活動する社会教育関係者を対象に社会に存在する様々な人権問題(外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など)について学習する機会を提供し、社会教育活動にいかしてもらおう。	<p>●社会人権地区別研修会 【日程】6月9日(木) 【場所】千葉県総合教育センター 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者(我孫子市:出席者1名) 【内容】講演「子どもが危ない! ネット人権侵害」講師 佐藤 佳弘氏(情報文化総合研究所長) 人権啓発ビデオ視聴 分散会「各市町村教育委員会における人権教育の取り組みについて」等</p> <p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】7月~10月 【場所】千葉県総合教育センター 他 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者(我孫子市:出席者1名) 《7月13日(水)》 講演「私らしく生きる-光を失っても-」講師:野田市資格障害者協会理事 中村和子氏 講演・演習「男女共同参画の推進について」講師:男女共同参画課(職員) 《8月26日(金)》 講演「被差別部落の歴史」講師:千葉県人権センター常務理事 鎌田行平氏 講話「被差別の思いをつなげて」講師:千葉県人権センター会員 吉田あけみ氏 《9月14日(水)》 講演「しいたげられた子どもたちのすがたから」講師:児童擁護施設「野の花の家」統合施設長 花崎 みさを氏 講演「ユニセフについて・世界の子どもの現状」講師:千葉県ユニセフ協会事務局長 福本 朋子氏 《10月21日(金)》 講演「性別で見る多様性と人権」講師:ダイバーン 代表 飯田亮瑠氏</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月15日(木) 【場所】さわやかちば県民プラザ 【出席者】市内小中学校PTA、教育委員、生涯学習審議会委員、指導課職員、生涯学習職員 14名 【内容】講演「絶望の中から希望の光を見つけるまで...~家族の愛とことばの力」</p>	<p>【人権教育研修会参加者数】 延べ 16 名</p> <p>なし</p> <p>なし</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>研修に参加することで現代社会の中で起きているさまざまな人権問題について考え、各市町村の抱えている問題について情報交換を行うことができた。 また、市内小中学校PTA、教育委員、生涯学習審議会委員、指導課職員に研修の機会を提供することで、より多くの方に学習機会を提供し、人権教育の啓発を図ることができた。 社会人権教育指導者養成講座(全4回)をすべて受講し、修了証を受けた(市人権教育担当者1名)</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>さまざまな人権問題について知識を得、考えることは現代社会において必要であるため、引き続き人権について学ぶ機会を提供していく。</p>	<p>●社会人権教育中央研修会 【日程】6月8日(木) 【場所】千葉県総合教育センター 【対象者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】全体会Ⅰ:講演「性別で見る多様性と人権」、講師:飯田 亮瑠 全体会Ⅱ:人権啓発ビデオ視聴 分散会:「各市町村教育委員会における人権教育推進上の取組について」</p> <p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】7月12日、8月25日、9月15日、10月18日の全4回 【場所】千葉県総合教育センター 他 【対象者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者、社会教育等指導者及び各種社会教育団体の指導者等、その他人権教育の指導者として活躍が期待される者(教職員含む)</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】 【場所】さわやかちば県民プラザ 【対象者】市内小中学校PTA、教育委員、社会教育委員、指導課職員、生涯学習課職員</p>	<p>なし</p> <p>なし</p>	生涯学習課
		<p>スポーツ教室事業</p> <p>我孫子市にゆかりのある優秀なスポーツ選手や企業などにおける人材をスポーツの指導・振興に活かす、スポーツ教室を行う。</p>	<p>参加人数:226人</p> <p>NPO法人我孫子市体育協会 補助スタッフとして協働 日本トップリーグ連携機構 イベントの運営</p> <p>消耗品費 227千円 食糧費 30千円 印刷製本費 100千円</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>子どもたちにスポーツの楽しさを実感してもらえる機会の提供ができた。</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>今後も日本トップリーグ連携機構と共催で開催</p>	<p>ボールゲームフフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】平成29年4月30日 【人数】午前の部:47組、午後の部:84人 【対象者】 午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から小学6年生までの児童、生徒</p>	<p>NPO法人我孫子市体育協会 補助スタッフとして協働 日本トップリーグ連携機構 イベントの運営</p> <p>消耗品費 240千円 開催負担金 300千円 食糧費 30千円 印刷製本費 435千円</p>	

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
			具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
				市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
95		地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～  市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、地域の小学校を取り込み、大人から子供までスポーツを行い、地域のコミュニケーションを図る。	≪地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう≫ 【日程】平成29年2月25日(土) 【場所】我孫子西地区、我孫子中央地区、我孫子東地区の3地区 【対象者】児童から高齢者まで	【参加人数】 509人  各小学校の地域のスポーツ少年団、学校施設開放利用団体とのイベント運営の面での連携。  地域スポーツフェスタ委託料 120,000円	A. 成果・効果があった  開催場所が小学校であるため地域でのスポーツ振興に寄与している。	A. 現状どおり推進  地域のスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブとの連携を深め地域のイベントとして定着させていく。	≪地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう≫ 【日程】平成30年2月24日(土) 【場所】我孫子西地区、我孫子中央地区、我孫子東地区の3地区 【対象者】児童から高齢者まで広く	地域のスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、学校施設開放団体とのイベント運営の面での連携  地域スポーツフェスタ委託料 120,000円	文化・スポーツ課
			●企画展示 【内容・日程】 第75回企画展「フクロウさんちの子育て日記」H28.2.6～6.26 第76回企画展「我孫子の鳥図鑑～市内で見られる鳥全種の標本～」H28.7.9～11.6 第77回企画展「鳥の子育て～ジオラマで見る鳥の繁殖～」H29.2.11～6.25 【入館者数(年間)】 32,188人	【入館者数(年間)】 指標:31,000人 実績:32,188人  公募による市民スタッフが展示交流スタッフとして入館者に展示の解説や館内の案内を行った。	A. 成果・効果があった  収蔵標本を活用しながら、身近な鳥に関する話題性・季節性に富んだテーマで企画展を開催した結果、市内外から多くの来館者を迎えることが出来た。			A. 現状どおり推進  なし	
鳥の生態や、鳥の体の仕組み、鳥の保全などについて理解を深めてもらうため、さまざまな視点から鳥をわかりやすく解説し、収蔵標本や資料を展示する。	企画展経費 818,796円 ・消耗品費 250,000円 ・印刷製本費 468,896円 ・企画展委託料 99,900円	なし	企画展経費 2,930,520円 ・消耗品費 250,000円 ・印刷製本費 177,120円 ・企画展示室壁面修繕費 550,800円 ・通信運搬費 700,000円 ・企画展委託料 100,000円 ・展示パネル購入費 993,600円 ・防犯カメラ設置工事費 159,000円						

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり		基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり				基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実				①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		
97	市民農園維持管理事業 消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き市民が土に触れ、交流の場となる市民農園を提供した。</li> <li>日秀新田市民農園について、利用率の向上を目的とし、管理委託者と連携をしながら各種イベントの企画・運営を行い、農園の魅力アップを図った。</li> <li>平成29年3月末までの高野山ふれあい市民農園閉園に伴い、今後の利用方針について地区利用構想の策定を行った。</li> </ul> <p>●年間を通じた市民農園の維持管理 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃)</li> <li>農園利用者の募集(随時募集、ホームページに募集記事を掲載)※日秀新田市民農園のみ</li> <li>農園利用料の徴収</li> </ul> <p>【市民農園の詳細】 《日秀新田市民農園》 総区画114区画うち利用区画数106区画 《高野山ふれあい市民農園》 総区画243区画うち利用区画数69区画</p> <p>●体験イベント(日秀新田市民農園) 《じゃがいも収穫イベント》 【日程】平成28年6月11日(土) 【場所】日秀新田市民農園内 【参加者】56人</p> <p>《芋ほりイベント》 【日程】平成28年10月15日(土) 【場所】日秀新田市民農園内 【参加者】61人</p>	<p>【市民農園利用区画数】 106区画(一般区画全114区画中)</p> <p>日秀新田市民農園について、通常の農園管理業務における連携に加え、管理委託者と連携し、農作物収穫体験イベントを企画・実行した。</p> <p>消耗品費 93,862円 燃料費 2,572円 光熱水費 111,778円 施設修繕料 16,200円 施設設備等保守点検委託料 145,831円 清掃委託料 454,896円 市民農園管理委託料 2,854,000円 土地賃借料 2,703,720円 千葉県手賀沼土地改良区賦課金 54,060円</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>日秀新田市民農園について、HPでの利用者募集や利用者向け収穫体験イベントを実施したことあり、平成29年3月末時点での利用区画数が前年同月値に比べ32区画増加した。 (高野山ふれあい市民農園については、平成28年度末で閉園することとなったため、新規利用者の募集は停止していた。)</p> <p>なし</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃)</li> <li>農園利用者の募集(随時)、平成30年度からの新規利用希望者の一斉募集(12月)</li> <li>農園利用料の徴収(6月)</li> <li>農園利用者向け収穫体験イベントの実施(6月、10月)</li> </ul> <p>通常の農園管理業務における連携に加え、管理委託者と連携し、農作物収穫体験イベントを企画・実行する。</p> <p>消耗品費 46,000円 燃料費 2,500円 光熱水費 64,500円 施設修繕料 5,000円 施設設備等保守点検委託料 73,000円 清掃委託料 227,500円 市民農園管理委託料 1,154,000円 千葉県手賀沼土地改良区賦課金 55,000円</p>	農政課	
98	親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム) 水質保全や水環境、エコ農業といった環境学習について、掲示などを用いて情報発信する。プラネタリウムの投影を行い、水環境保全啓発施設として運営する。	<p>プラネタリウム投影事業を実施。 7月以降は、水の館が改修工事で休館となるため、事業の開催はしていない。</p> <p>●プラネタリウム投影事業 4月～7月までの土日祝日に3回/日、および団体予約があれば平日に上映。 上映内容は月ごとに変更し、来館した市民にが視聴。</p>	<p>【プラネタリウム投影事業参加者合計】 86回上映 2491人</p> <p>手賀沼親水広場の維持管理を委託している業者の主催で開催。</p> <p>委託料(プラネタリウム番組作成、上映) 458千円 ・手賀沼親水広場の改修に伴う経費 備品購入(展示品) 2,517千円 需用費(水槽関連) 142千円 委託料(展示) 16,543千円 役務費(プラネタリウム移設、復旧) 934千円</p>	<p>B. あまり成果・効果がなかった</p> <p>7月以降は改修のため事業の開催ができなかった。</p> <p>リニューアルによりデジタル式が導入されたが、運営や広報などをどのようにしていくか。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う</p> <p>運営方法、広報活動の刷新</p>	<p>水の館内の各展示や講座により水環境保全啓発、環境学習、歴史・文化の学習の場を提供する。また、プラネタリウムの上映も行う。</p> <p>手賀沼親水広場の維持管理を委託している業者の主催で開催。</p> <p>修繕料(展示品) 50千円 委託料(水槽、プラネタリウム管理) 1,274千円 委託料(清掃、プラネタリウム投影、巡回、維持管理等) 48,175千円</p>	手賀沼課	

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
99	ふれあい工場の運営管理 事業  クリーンセンターに持ち込まれた再使用可能な家具等の修理や、リサイクル家具バザー等での販売、知識・技術を持ったアドバイザーによる技術指導・相談の実施により、再資源化活動を支援する。	<p>●各種リサイクル教室 【内容】布クラブ教室、バッグ作り教室、木工教室(鉢カバー等)、パッチワーク、布草履(ぞうり)作り、裂き織り、トールペイント、布リフォーム(エプロン、ブラウス作り)、包丁研ぎ、他 【場所】ふれあい工房 【日程】通年(毎月) 【参加者】各5名程度 【対象】市内に在住・在勤・在学の方(材料費がかかる場合あり) ●家具バザーは随時 ●リサイクルフリーマーケット 【日程】5月29日(日) 【内容】リユースの促進を目的にふれあい工房内でフリーマーケットを開催 【参加者】市内在住・在勤・在学の個人 ●夏休み子ども体験フェスタ 【日程】7月30日(土)・31日(日) 【内容】リサイクルの啓発</p>	<p>【来場者数】 フリーマーケット:185人 夏休み子ども体験フェスタ 30日182人 各種リサイクル教室の実施にあたり、我孫子市ふれあい工房運営協議会と協働。 運営協議会より教室開催にあたっての技術アドバイザーを任期2年で委嘱し、開催。</p> <p>運営協議会委託費 5,165,640円 役務費 260千円 需用費(消耗品 他) 675千円 委託料(清掃・警備・保守点検) 486千円</p>	<p>A. 成果・効果があった アドバイザーによるリサイクルの技術指導で不要なものを再利用するなど、資源循環型社会の構築、市民と市との共同まちづくりの推進、社会福祉の向上に寄与している。</p>	<p>A. 現状どおり推進 なし</p>	平成28年度と同様	<p>ふれあい工房運営協議会に運営を委託</p> <p>ふれあい工房運営協議会運営委託費 5,235千円 役務費 260千円 需用費 675千円 委託料(清掃・警備・保守点検) 486千円</p>	クリーンセンター
100	新たな文化交流拠点施設整備の検討  新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書などを踏まえて、施設の機能や建設候補地などを建設構想案として取りまとめ、議会や市民の意見を聴きながら、さらに検討を進めていく。	<p>「我孫子市文化交流拠点施設整備専門家会議」からの提案や、これまでにいただいた意見、公共施設等総合管理計画等も踏まえながら、企画課等の関係課と文化交流拠点施設建設構想案の策定に向けて協議を行った。</p>	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>なし</p>	<p>B. あまり成果・効果がなかった 状況変化の確認調整に時間を要し、建設構想案の策定作業が大幅に遅れている。</p>	<p>A. 現状どおり推進 引き続き庁内関係課と協議を行い、文化交流拠点施設建設構想案を策定する。</p>	<p>引き続き庁内関係課と文協議を行い、文化交流拠点施設建設構想案を策定する。</p>	<p>なし</p> <p>なし</p>	企画課、生涯学習課
101	地域交流教室の提供  学校施設の一部を市民団体やサークル、自治会などの学習拠点として開放する。	<p>地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、引き続き地域交流教室の提供を行った。また、チラシを市内の公共機関に設置しPRを行った。 市内小学校の地域交流教室は7月1日から使用料として4時間ごとに100円徴収した。</p> <p>【提供時間】 月～日曜日の9時～21時(ただし、高野山小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時) 【提供場所】 第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校:1教室 湖北台東小学校:2教室</p> <p>【利用件数】 第一小学校:402件(稼働率62%) 布佐小学校:69件(稼働率27%) 湖北台西小学校:198件(稼働率44%) 高野山小学校:182件(稼働率63%) 湖北台東小学校(2教室):769件(稼働率62%) 合計:2918件</p>	<p>【地域交流教室の提供コマ数】 2,918 コマ</p> <p>使用した団体に、教室の清掃をお願いした。年間を通して利用している団体には単発で使用する団体に譲っていただき、多くの団体に使用していただくように調整を行った。</p> <p>備品購入費(充当) 8,424円 ピアノ調律手数料 38,880円 清掃委託 30,996円 消耗品 21,366円</p>	<p>A. 成果・効果があった 利用件数は減少傾向にあるが、新たに単日での利用を申請してくる団体もあり、地域交流教室の需要を感じた。</p> <p>利用者のマナーで学校経由や利用している他団体から連絡が来るがあった。</p>	<p>A. 現状どおり推進 引き続き地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、地域交流教室の提供を行っていく。</p>	<p>地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRをしていく。 【使用料】4時間ごとに100円 【使用料免除対象】 ・学習活動(高校生以下の方が1人以上参加するものに限る)を行う場合 ・その他教育委員会が必要があると認める場合</p>	<p>使用した団体に、教室の清掃をお願いする。年間を通して利用している団体には単発で使用する団体に譲っていただき、多くの団体に使用していただくように調整を行う。</p> <p>備品購入費 9,000円 ピアノ調律手数料 39,000円 清掃委託 31,000円 消耗品 23,000円</p>	生涯学習課

基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり  
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実

担当課	平成28年度実施内容		平成29年度実施内容						
	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	市民・事業者との協働 予算					
基本目標 3 多様な学びのある場のまちなみづくり	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	102 公民館施設管理運営 生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備をする。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務などについて、円滑な管理運営を進めた。 また、施設の修繕や定期点検を実施した。 ・修繕 消防用設備修繕、中水系統加圧ポンプ修繕、第2学習室カーテン修繕、和室襖・障子張替えなど ・定期点検 建築設備定期検査、建築物定期検査 ・備品購入 ミニホールプロジェクター ・樹木剪定、草刈業務	【予定保守管執行率】100%  なし  84,371,000円  【内訳】 総合管理運営業務委託料 53,612,000円 施設維持管理費 28,732,000円 公民館維持管理費 2,027,000円 他	A. 成果・効果があった  生涯学習センターの建物敷地の適切な維持管理を行い、市民の学習環境の整備を行った。	A. 現状どおり推進  なし	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進める。 また、施設の修繕や定期点検を実施する。 ・修繕 空調機器修繕、駐車場全自動精算システム、消防用設備修繕、学習室照明修繕など ・定期点検 建築設備定期検査、建築物定期検査 ・備品購入 第1学習室CD・MDデッキ、学習用椅子 ・樹木剪定、草刈業務	なし   85,760,000円  【内訳】 総合管理運営業務委託料 57,834,000円 施設維持管理費 26,462,000円 公民館維持管理費 1,464,000円 他	生涯学習課
		103 湖北地区公民館空調設備更新工事 老朽化した空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	平成26年度に実施した空調設備更新工事設計を元に、調理室・和室・工芸工作室・第2学習室・第3学習室・資料室・調光室の空調設備更新工事を行った。 また、設計業者に工事監理を委託した。 ※工事及び工事監理にかかる予算から起債対象外(処分費)を除いた金額の75%を起債、25%を市一般財源にて支出する。	なし  なし  工事管理費 1,836千円 工事費 31,778千円	A. 成果・効果があった  老朽化した空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備できた。	C. 廃止・休止  工事完了に伴い、事業終了			生涯学習課
		104 フリースポット(Wi-Fi)の提供 無線LAN(Wi-Fi)の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN(Wi-Fi)を利用できる設備を整備しパソコン等のパケット通信が快適に利用できる環境を整える。	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をした。	【無線LAN設置箇所】 1箇所  なし  閲覧制限設定手数料20千円	A. 成果・効果があった  人数、接続時間等は把握できていないが、PCを持参して学習している様子が見受けられる。。	A. 現状どおり推進  なし	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をする。	なし  閲覧制限設定手数料20千円	生涯学習課
		105 施設予約システムの運用 公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを運用し市民の利便性の向上を図る。	公民館、近隣センターや体育施設の予約状況の確認に、ちば施設予約システムを利用(平成27年度より)	我孫子地区公民館 【団体利用件数、人数】8,551件、151,453人 【個人利用件数、人数】113件、113人  湖北地区公民館 【団体利用件数、人数】2,677件、68,176人 【個人利用件数、人数】68件、68人  なし  なし(情報管理室にて負担金支払)	A. 成果・効果があった  施設予約については、全てインターネット予約としている。利用者にとってもPCや携帯電話等インターネット環境があれば、いつでもどこでも利用できるため、利用者の利便性向上につながっている。	A. 現状どおり推進  なし	28年度に引き続き、ちば施設予約システムを利用する。	なし  なし(情報管理室にて負担金支払)	生涯学習課、文化・スポーツ課、市民活動

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課
			指標と実績	評価	今後の進め方	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
106	市民体育館管理運営  指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	アクティオ・フクシ共同事業体により管理運営を行った。	【市民体育館利用者数】 163,563人  なし  指定管理料 84,241,000円	A. 成果・効果があった  特にトレーニングルームについては利用者数が大幅に増えており、市民の健康増進、スポーツ振興に大きく寄与した。  様々な大会で使用されることが多く(特に土・日曜日)、駐車場が飽和状態になるため、周辺の土地所有者に迷惑をかけている。駐車場の増設を求める声が多い。	A. 現状どおり推進  現状通り推進していく	アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理の委託    指定管理料 84,198,000円	なし	文化・スポーツ課
107	体育施設管理運営事業、維持補修  「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、利根川ゆうゆう公園や湖北台中央公園、手賀沼公園の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。また、五本松運動広場をより市民のスポーツ利用が図れるよう改修整備を行う。	●維持管理 ・市営ゲートボール場仮設トイレ修繕 ・五本松運動広場立入防止柵修繕 ・ふれあいキャンプ場トイレ修繕 ●管理運営 ・五本松、布佐下、浅間前多目的広場の管理	【体育施設利用者数】 172,833人  なし  ・市営ゲートボール場仮設トイレ修繕 1,263,600円 ・五本松運動広場立入防止柵修繕 1,738,800円 ・ふれあいキャンプ場トイレ修繕 918,000円	A. 成果・効果があった  市民が安全にまた快適に施設利用が図れるように修繕を行った。  なし	A. 現状どおり推進  必要な修繕が生じた場合には適宜対応していく。	必要に応じて適宜対応していく。    なし	なし	文化・スポーツ課
108	武道施設の建設整備の検討  全国総合体育大会、国民体育大会で、なぎなた競技を我孫子市で開催したことや中学校の武道の必修化に伴い、日本古来からの伝統文化でもある武道のより一層の振興を図るため、武道施設の建設整備の検討をする。	事業は行っていない	【整備進捗率】 0%  なし  なし	B. あまり成果・効果がなかった  地権者交渉を行ったが、大きな進展は見られなかった。  用地買収がまとまらない可能性がある。	B. 改善・見直しを行う  用地については、東側での整備を視野に入れて進めていく。	引き続き地権者交渉を行う。    なし	なし	文化・スポーツ課
109	市民体育館維持補修、改修事業  「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、市民体育館の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。	●維持補修・改修 ・サブアリーナ西側雨漏り修繕 ・1階トイレ修繕 ・トレーニングルーム改修 ・野球場本部席設置工事 ・体育倉庫修繕	【修繕・改修工事の進捗率】 100%  なし  ●維持補修・改修 ・サブアリーナ西側雨漏り修繕 810,000円 ・1階トイレ修繕 1,300,000円 ・トレーニングルーム改修 2,422,000円 ・野球場本部席設置工事 7,668,000円 ・体育倉庫修繕 1,070,000円	A. 成果・効果があった  緊急性の高い修繕や工事を着実に進めた。  施設の老朽化が著しく修繕箇所を多数かかえているため、計画的な修繕をしていく必要がある。	A. 現状どおり推進  大規模改修の時期であるが、市全体の事業を見ながらの施工となるため、実施時期を見極めていく。当面は、部分修繕をしながら安全確保できるよう対応していく。	・市民体育館野球場バックネット柱鉄部塗装 ・市民体育館野球場排水改修 ・市民体育館野球場内野ネットフェンス修繕 ・市民体育館1階男子トイレスチール扉修繕 ・市民体育館メインアリーナバスケットゴール修繕  ・市民体育館野球場バックネット柱鉄部塗装 956,000円 ・市民体育館野球場排水改修 940,000円 ・市民体育館野球場内野ネットフェンス修繕 648,000円 ・市民体育館1階男子トイレスチール扉修繕 475,000円 ・市民体育館メインアリーナバスケットゴール修繕 5,582,000円	なし	文化・スポーツ課

基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり  
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容			担当課
			指標と実績	評価	今後の進め方	具体的内容	市民・事業者との協働	予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無				
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	110 学校体育施設開放事業 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめることができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、市民プールの代替施設として小学校の夏季休業期間中プールを開放する。	●小学校プール開放事業 《一般開放》 【日程】7月30日から8月21日までの23日間 【場所】我孫子第一、我孫子第三、我孫子第四、並木、湖北、湖北台西、湖北台東、根戸、新木、布佐南の10校 《団体開放》 【日程】8月4日から8月8日までの5日間 【場所】我孫子第二、布佐、高野山、の3校  ●体育館・校庭の一般開放事業 年間通して全校で実施する。	【プール開放利用者数】 11,376人 【学校体育館・校庭・武道場利用者数】 7,072人  なし  プール開放業務委託料 1 9,570千円 プール開放用施設・備品賃借料 1,692千円	A. 成果・効果があった  小学校プール開放は、市民プールの代替として市民ニーズも高い。また、学校体育施設開放について、市民の身近な場所でスポーツに親しめることができ、ニーズが高い。  なし	A. 現状どおり推進  なし	●小学校プール開放事業 《一般開放》 【日程】7月29日から8月20日までの23日間 【場所】我孫子第一、我孫子第三、我孫子第四、並木、湖北、湖北台西、湖北台東、根戸、新木、布佐南、高野山の11校 《団体開放》 【日程】8月4日から8月8日までの5日間 【場所】我孫子第二、布佐の2校  ●体育館・校庭の一般開放事業 年間通して全校で実施する。	なし  プール開放業務委託料 20,350千円 プール開放用施設・備品賃借料 2,658千円	文化・スポーツ課
		111 ふれあいキャンプ場管理運営 市民が気軽に安心・安全にキャンプ場を利用できるよう、利用受付事務や野外用品の貸出等の維持管理運営を行う。	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供した。  なし  需用費 777,000円 役務費 53,000円 委託料 2,538,000円 備品購入費 35,000円	A. 成果・効果があった  利用人数も微増であるが増えており市民の余暇の場の提供として寄与している。  市民からの要望の多いシャワー設備等の整備について検討する必要がある。	A. 現状どおり推進  現状どおり推進していく	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供する。  なし  需用費 841,000円 役務費 53,000円 委託料 2,731,000円 備品購入費 35,000円	文化・スポーツ課		
		112 文化財等の保存と活用 市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえるようにする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。	●文化財説明板の設置 1基の文化財説明板の設置 ●文化財展示会の実施 【日程】2月25日～28日 【入館者】875人 ●旧村川別荘の日常管理とボランティアガイドと協働して来訪者への働きかけ 《竹灯籠のタベ》 【日程】10月7日・8日 【参加者】350人 《ひなのまつり》 【日程】2月21日～3月5日 【参加者】1,150人 ●湖北郷土資料室(7月20日オープン)の運営 【入場者】435人 ●旧井上家住宅の保存・活用 《二番土蔵保存整備工事現場見学会》11月12日 【参加者】45人	【イベント参加者】 2855人(合計)  旧村川別荘市民ガイドと日常ガイド、イベント時に協働する。  需用費 1,259千円 役務費 365千円 委託料 5,516千円	A. 成果・効果があった  ・文化財展を寄贈作品展、フレッシュコンサートとコラボ開催することで、多くの参加者を集めることができた。 ・湖北郷土資料室を開室し、あらたな情報発信施設を設けることができた。  なし	A. 現状どおり推進  ・文化財を活用する場を確保するために、今後も継続的に、機会を捉えて活用し、情報発信していく。	●文化財説明板の設置…1基の文化財説明板の設置予定 ●文化財展示会の実施 【日程】2月下旬 ●旧村川別荘の日常管理とボランティアガイドと協働して来訪者への働きかけ 《竹灯籠のタベ》【日程】10月上旬 《ひなのまつり》【日程】2月下旬～3月上旬 ●郷土資料室等の運営…発掘速報展などの実施(時期未定) ●旧井上家住宅の活用…新土蔵などでの展示など(時期未定)	旧村川別荘市民ガイドと日常ガイド、イベント時に協働する。  需用費 1,253千円 役務費 183千円 委託料 3,518千円	文化・スポーツ課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
113	杉村楚人冠記念館の保存と活用 杉村楚人冠記念館の建物と資料を保存し、杉村楚人冠について広く市民に知ってもらえるよう活用を図る。具体的には、資料の調査・研究から判明したことをまとめ展示を行い、その展示をより理解してもらうために、施設内のガイド、報告書の刊行やワークショップ、講演会などを実施する。	●春期企画展「楚人冠の旅」 【日程】3月1日～5月15日(前年度より継続)【入館者】274人 ●テーマ展示「てがみ展 楚人冠の友人たち」 【日程】5月21日～7月10日【入館者】551人 ●夏期企画展「ことばに向き合う～新聞記者楚人冠の言語論」 【日程】7月12日～10月2日【入館者】409人 ●冬期企画展「新聞と文学と～杉村楚人冠と夏目漱石」 【日程】10月8日～1月9日【入館者】1634人 ●テーマ展示「なつかし！我孫子の街なみ展」 【日程】1月11日～3月5日【入館者】416人 ●春期企画展「血脇守之助～我孫子が生んだ歯科医学の功労者」 【日程】3月7日～5月14日(翌年度継続)【入館者】304人(3月末まで) ●清接庵茶会(我孫子高校茶道部と連携) 【日程】3月【参加者】75人	【来訪者】 3,625人 朗読ボランティアによるイベント参加、我孫子高校茶道部による茶会の運営で協働した。	A. 成果・効果があった ・白樺文学館、図書館との連携事業の推進と、夏目漱石の新発見書簡などの展示により入館者を増やすことができた。 ・マスコミを通じて周知を徹底し、施設存在と意義について認知向上を目指した。	A. 現状どおり推進 ・引き続き、資料展示会や講演会を白樺文学館、図書館、公民館と連携して実施し、新たな魅力の発信に努める。 ・建物を活用した体験イベントを推進する。 ・杉村楚人冠記念館、旧村川別荘との連携を進め、「我孫子の大正・昭和文化遺産」として広報宣伝していく。	●春期企画展「血脇守之助」 【日程】3月7日～5月14日(前年度より継続) ●テーマ展示「教科書にのった楚人冠」 【日程】5月20日～7月9日 ●夏期企画展 明治150周年記念事業「明治時代の仏教青年～『新仏教』の足跡」 【日程】7月11日～10月1日 ●冬期企画展 南方熊楠生誕150年記念「杉村楚人冠と南方熊楠」 【日程】10月7日～1月8日 ●テーマ展示「楚人冠の刀剣鑑賞」 【日程】1月10日～3月4日 ●春期企画展「楚人冠と俳人たち～ホトギスから湖畔吟社まで」 【日程】3月6日～5月13日(翌年度継続) ●清接庵茶会(我孫子高校茶道部と連携) 【日程】3月中旬	・歴史や文化財について興味を持っている市民団体に展示会・講演会の情報を提供し、連携をはかる。 ・公民館講座などに参加している市民が来訪して我孫子の文化について体感する仕組み作り 共済費 28千円 報償費 331千円 需用費 1,338千円 役務費 48千円 委託料 1,668千円 使用賃借料 70千円 工事請負費 194千円 備品購入費 304千円	文化・スポーツ課
		●二番土蔵保存整備工事 【期間】平成28年7月1日～30年7月31日(予定) ●母屋耐震診断 【期間】平成28年6月1日～29年2月28日 ●保存整備工事現地見学会 【日程】11月12日 45人 ●SPLレコードコンサート(市民団体との共催) 【日程】11月12日 参加人数43人	【保存整備工事の進捗率】 30 % 我孫子国際野外美術協会が、我孫子国際野外美術協会と協働し、我孫子国際野外美術展オープニング会場として使用した。	A. 成果・効果があった ・二番土蔵の保存整備工事に着手し、予定通り工事をすすめている。 ・部分公開を継続するとともに、工事現場見学会、SPLレコードコンサートなどの活用事業に取り組んだ。	A. 現状どおり推進 なし	●二番土蔵保存整備工事 【期間】平成28年7月1日～30年7月31日(予定) ●現状記録報告書作成 ●保存整備工事現地見学会 【日程】5月13日予定 ●新土蔵を使ったイベント(未定)	野外美術展のオープニング会場として使用された。 ・需用費 440千円 ・役務費 59千円 ・委託料 8,055千円 ・使用賃借料 37千円 ・工事費 916千円	文化・スポーツ課
		●常設テーマ 《民藝運動と我孫子》 【日程】2月24日～10月30日(前年度より継続) 【入館者】2,508人 《白樺派と我孫子》 【日程】2月1日～9月24日(翌年度に継続) ●朗読イベント 《朗読のひととき》 【日程】9月・10月・11月・1月・2月 【参加者】15人・17人・13人・15人・15人 ●ピアノイベント 《白樺サロンのひととき》 【日程】8月・10月・11月・12月・1月・2月・3月 【参加者】12人・25人・10人・28人・9人・11人・28人 ●企画展 《画家 原田京平》 【日程】11月3日～1月29日 【入館者】1,556人	【入館者】 4727人 ピアノスタッフ、朗読スタッフとともにイベントを実施	A. 成果・効果があった ・原田京平関係資料の整理をすすめ、企画展を通じて白樺派の位置付けの補強と資料的な価値向上をはかることができた。 ・朗読スタッフ、ピアノスタッフとコラボしたイベントを継続的に開催し、新たな魅力づくりに貢献できた。	A. 現状どおり推進 ・今後も継続して白樺派をめぐる資料の収集、調査研究を行い、その成果を企画展や講演会に反映させていく。 ・朗読スタッフ、ピアノスタッフとコラボしたイベントを継続して実施。 ・杉村楚人冠記念館、旧村川別荘との連携を進め、「我孫子の大正・昭和文化遺産」として広報宣伝していく。 ・白樺文学館のリニューアルへの検討を行う。	●常設テーマ 《白樺派と我孫子》 【日程】2月1日～9月24日(前年度より継続) 《民藝運動と我孫子》 【日程】1月31日～9月30日(翌年度に継続) ●朗読イベント 《朗読のひととき》 【日程】5月・7月・8月・10月・11月・1月・2月 ●ピアノイベント 《白樺サロンのひととき》 【日程】4月・5月・6月・7月・8月・10月・11月・12月・1月・3月 ●企画展 《原田京平をめぐる人々》 【日程】9月27日～1月28日	・朗読スタッフ、ピアノスタッフとの連携 共済費 6千円 報償費 236千円 需用費 2755千円 役務費 166千円 委託料 1794千円 使用賃借料 361千円 備品購入費 184千円	文化・スポーツ課

基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり  
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課	
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)						
116	手賀沼文化拠点整備計画の推進  我孫子市内には、古墳や郡衙(ぐんが)などの遺跡、戦国時代の城跡、江戸時代の宿場、大正時代の別荘、文人たちの旧居など、多時代に亘る数多くの史跡が、沼と樹林地、丘陵と一体となって所在しており、それらを単に保存、維持することだけにとどまらず、一体のものとして連携させ、積極的な整備、活用を図っていくことが求められている情勢を踏まえ、手賀沼沿いに点在する多くの文化ポイントのネットワーク化を行い、体系だった整備、活用を進める。	関係各課の事業進行管理を行い、有利な補助金等がある場合は積極的に活用するよう、企画財政部と協調した。	なし	A. 成果・効果があった 各課の慎重状況を確認するため、関係課長会議を開催した。	A. 現状どおり推進 平成30年度の期間終了まで引き続き事務進行管理を行う。	関係課長会議の開催	なし	文化・スポーツ課	
		《進行状況調査》 平成27年度の事業進行状況、および28年度に実施予定の事業、29年度以降に実施予定の事業について	なし						なし
			なし	なし					
117	移動図書館業務  移動図書館そよかぜ号の巡回により、図書館に来館しにくい地域に居住する高齢者や、乳幼児を連れた親子等に学習の機会を提供する。	移動図書館そよかぜ号が(祝日も含め)水・木・金の午後14ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。	【移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数】 22,603冊 (昨年比)-7.2%	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	移動図書館そよかぜ号が(祝日も含め)水・木・金の午後14ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供する。	青山台及び久寺家ステーションで、市民スタッフ(読書普及担当)によるおはなし会「そよかぜおはなしタイム」を開催し、ステーションを訪れる子どもや保護者に対して、絵本の読み聞かせを実施する。	図書館	
			青山台及び久寺家ステーションで、市民スタッフ(読書普及担当)によるおはなし会「そよかぜおはなしタイム」を開催し、ステーションを訪れる子どもや保護者に対して、絵本の読み聞かせを実施した。						
			図書館窓口業務委託料 10,356千円 看板設置委託料 173千円 燃料費 45千円						図書館窓口業務委託料 10,778千円 燃料費 62千円 看板設置委託料 173千円
118	湖北地区図書館の整備  現在の市民図書館湖北台分館は面積・設備・機能面で十分な図書館とは言えないことから、湖北地区の利用者への直接サービスの拠点として、湖北地区図書館を建設する。	湖北地区図書館を含め、湖北台地区公共施設については、都市計画道路整備事業による若草幼稚園の移転内容を踏まえた上で整備することになった。	【庁内検討会議の開催数】 2回					図書館	
			なし						

基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり  
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実

	NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課	
				指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算		
				市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)						
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	119	図書館会議室及び展示スペースの提供	布佐分館会議室を貸し出した。 湖北台分館・布佐分館の館内壁面をミニギャラリーとして市民に提供した。 《布佐分館》 第1会議室、第2会議室、ミニギャラリー(年12回) 《湖北台分館》 ミニギャラリー(年12回)	【布佐分館会議室の年間利用回数】 99回(昨年度比 -7.5%)	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	布佐分館会議室を貸し出しする。 湖北台分館・布佐分館の館内壁面をミニギャラリーとして市民に提供する。 《布佐分館》 第1会議室(申請に応じて随時)、第2会議室(申請に応じて随時)、ミニギャラリー(年12回予定) 《湖北台分館》 ミニギャラリー(年12回予定)	なし	図書館
			図書館の会議室や展示スペースを活用し、市民の自主的な学習の機会と発表の場を提供する。	なし	なし			嘱託職員報酬他 256千円		
			嘱託職員報酬他 133千円							
		120	鳥の博物館管理運営	施設設備修繕 ・ドアクローザー修繕 ・UVカットフィルム設置 ・身障者用自動ドア修繕 ・多目的ホール暗幕 ・屋上全熱交換機修繕 ・誘導灯・非常灯修繕 ・雨水ポンプ・排水設備修繕 ・壁面・床タイル修繕 ・3階ベランダ出入口扉修繕 ・博物館縦型ブラインド修繕	なし	A. 成果・効果があった	B. 改善・見直しを行う	施設設備修繕 ・空調用加圧給水ポンプ部品交換 ・多目的ホール・レースカーテン設置 ・ハロン消火設備更新	なし	鳥の博物館
			鳥の博物館内の照明・空調等の更新や、展示のための壁面修繕、配線工事を実施するなど、施設の維持管理を行う。	なし	計画通り完了した。	包括管理の点検結果を反映させて、安全と持続的な施設利用ができるように、適宜修繕計画をたてて実施する。				
			施設設備修繕 1,346,099円 ・ドアクローザー修繕 13,500円 ・UVカットフィルム設置 67,703円 ・身障者用自動ドア修繕 103,680円 ・多目的ホール暗幕 65,016円 ・屋上全熱交換機修繕 308,880円 ・誘導灯・非常灯修繕 318,600円 ・雨水ポンプ・排水設備修繕 388,800円 ・壁面・床タイル修繕 43,200円 ・3階ベランダ出入口扉修繕 12,960円 ・博物館縦型ブラインド修繕 23,760円	なし				施設設備修繕 1,335千円 ・空調用加圧給水ポンプ部品交換 ・多目的ホール・レースカーテン設置 ・ハロン消火設備更新		
		121	鳥の博物館空調設備更新工事	空調設備工事実施(工事期間はH28. 11~H29. 1)	なし	A. 成果・効果があった	C. 廃止・休止	なし	なし	鳥の博物館
			施設の老朽化により、空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	なし	なし	予定通り空調設備更新工事を完了した。				
			83,994千円	なし				なし		

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
122	鳥の博物館展示リニューアル  科学の進歩に合わせた情報の更新や時代に沿った展示手法の導入により、信頼のおける情報の提供を行い、展示の基本となる収蔵資料の保管・管理機能の充実を図る。	今後計画されている常設展示のリニューアルに向けてのスケジュールを検討した。	【入館者数(年間)】 指標:31,000人 実績:32,188人 来館者アンケートや、市民スタッフ、友の会会員の意見を今後の計画づくりに取り入れた。	A. 成果・効果があった 常設展示のリニューアルに関して、計画、設計、工事を段階的に3年間で実施する計画を立案した。	A. 現状どおり推進 なし	常設展示のリニューアルに必要な情報(展示構成、展示デザイン、経費等)を収集し・整理する。また、財源的な裏付けについて検討する。	来館者アンケートや、市民スタッフ、友の会会員の意見を今後の計画づくりに取り入れていく。	鳥の博物館
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用								
123	手賀沼ふれあいウォーク  手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。	●手賀沼ふれあいウォーク 【日程】11月19日(土) 【場所】手賀沼公園 【参加者】101人 【主催】手賀沼ふれあいウォーク実行委員会(実施主体は、千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市の共催) 【対象者】市民	【手賀沼ふれあいウォーク参加者数】 101人  ●手賀沼ふれあいウォーク実行委員会が主催。実施主体は、千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市の共催。  実行委員会負担金 604千円	A. 成果・効果があった 当日は、開会当初、雷雨となり参加者が前年度658人に比べ減少した。 イベント中盤から天候も回復し、当日参加した市民に対しては、運動習慣の重要性等を知ってもらう機会を提供できた。	A. 現状どおり推進 千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市で組織している「手賀沼ふれあいウォーク実行委員会」にて十分な協議を行い、歩くことが好きな市民を増やし、もって市民の心身の健康増進に寄与する。	【日程】11月18日(土) 【場所】手賀沼公園 【人数】約600人	千葉県ウォーキング協会と我孫子市と柏市で「手賀沼ふれあいウォーク実行委員会」を組織し、企画から当日の運営・見回りまで共同実施している。  実行委員会負担金 604千円	健康づくり支援課
124	近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進  近隣市町との体育施設の相互利用や、民間等の体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに触れ楽しめる環境を整備する。	民間施設温水プール(1施設)、川村学園女子大学グラウンド(1面)を一般市民に開放する。 取手市との体育施設(8施設)の相互利用の継続。	【相互利用している近隣市・市民一般開放している民間企業の体育施設数】 取手市の相互利用している施設 8施設 民間施設 2施設  なし  なし	A. 成果・効果があった 取手市の取手グリーンスポーツセンターには、我孫子市にはないプール施設があり、我孫子市民利用人数は約2万6千人と市民がスポーツを楽しめる環境づくりに寄与している。また、民間施設2施設も利用が可能となっていることでスポーツ環境の向上につながっている  近隣自治体とのスポーツ施設の相互利用については、各自自治体の施設の利用状況や我孫子市の提供できるスポーツ施設の状況から拡大は難しい。	A. 現状どおり推進 なし	民間施設温水プール(1施設)、川村学園女子大学グラウンド(1面)を一般市民に開放する。 取手市との体育施設(8施設)の相互利用の継続。	なし  なし	文化・スポーツ課
125	手賀沼エコマラソン支援事業  「よみがえる手賀沼をさわやかに走ろう！」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。	●第22回手賀沼エコマラソン 【日程】10月30日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民枠≫3,000人 ≪一般枠≫6,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 【参加者】9,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の奨励 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市	【手賀沼エコマラソン参加者数】 8,892人  大会運営について一般市民のボランティア・体育協会・各関係機関の協力を仰ぎ実施した。  負担金 3,537,000円	A. 成果・効果があった 募集定員を前年度より1000人増やして実施した。近隣の多くの関係機関等が連携して実施している事業で、日本全国から多くランナーが集い、我孫子市のPRとなっている。  なし	A. 現状どおり推進 なし	●第23回手賀沼エコマラソン 【日程】10月29日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民枠≫3,000人 ≪一般枠≫7,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 日本陸連公認大会 【参加者】10,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の奨励 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市	多くの市民ボランティアで大会を運営  負担金 3,551,000円	文化・スポーツ課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
126	<p>市外図書館・大学・関係機関との連携協力</p> <p>千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。</p>	<p>●相互協力事務担当者会議 【日程】6月9日(木) 【場所】千葉県立西部図書館</p> <p>●相互貸借申込 【他図書館への貸出(A)】 1,860冊 【他図書館からの借入(B)】 6,462冊 【年間相互貸借冊数(A+B)】 8,322冊</p> <p>●千葉県立図書館巡回車(週1回)</p> <p>●千葉県公共図書館協会 《総会》 【日程】5月25日(水) 【場所】千葉県立中央博物館 《第3ブロック会議》 【日程】2月10日(金) 【場所】柏市立図書館本館 《参考郷土等研修委員会》 【日程】7月6日、1月27日、2月8日 【場所】千葉県立中央図書館</p>	<p>【年間相互貸借冊数】 8,322冊</p> <p>なし</p> <p>嘱託職員報酬他 1,786千円 普通旅費 5千円 消耗品費 13千円</p>			<p>・千葉県立図書館巡回車(週1回)による県内図書館相互貸借業務</p> <p>・市内大学との連携による利用紹介状発行・図書相互貸借業務</p> <p>・国会図書館・大学図書館・県外公共図書館との図書相互貸借業務</p> <p>・千葉県公共図書館協会事務、第3ブロック幹事館事務</p>	<p>嘱託職員報酬他 1,903千円 事務用消耗品 11千円 普通旅費 22千円</p>	図書館
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり							基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	
①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充							①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充	
127	再 生涯学習出前講座の 掲 運営							生涯学習
128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供した。	【新規登録数】 2人、0団体	A. 成果・効果があった 市民講師の講座数は増えている。市民講師として積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供する。	市民講師として市民や団体等に登録してもらう。	生涯学習課
	自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	【講座登録数】(平成29年3月31日) 市民講師メニュー138講座 【講師登録数】(平成29年3月31日) 講師:61人 団体:6団体	市民講師として新規に2人にボランティア登録してもらった。				なし	
129	再 生涯学習人材バンク 掲 の整備							生涯学習

担当課	平成28年度実施内容		平成29年度実施内容						
	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	市民・事業者との協働					
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	130	<b>アピスター一時保育事業</b> 生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	<b>【日程】</b> 4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全68回 <b>【場所】</b> 生涯学習センターアピスタ 託児室、湖北地区公民館 和室 <b>【内容】</b> 子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児。 <b>【対象】</b> 子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児 <b>【利用者内訳】</b> <<毎週水曜日>> <b>【利用回数】</b> 51回 <b>【利用者】</b> 112人 <<公民館事業(家庭教育学級、プチ家庭教育学級、のびのび親子学級家庭教育学級合同講演会等)>> <b>【利用回数】</b> 17回 <b>【利用者】</b> 60人	<b>【保育利用者】</b> 172人 市民保育ボランティアスタッフに活動の補助を担ってもらった。 保育スタッフ報償費 110千円 通信費 5千円 保険料 38千円 飲料費 1千円	A. 成果・効果があった 繰り返し利用される方が多く、満足度は高いと考える。 ・祝祭日の託児利用者及び市民保育ボランティアスタッフ協力者がほとんどいない。	B. 改善・見直しを行う ・祝祭日の保育スタッフ事業の実施について検討する。	<b>【日程】</b> 4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全69回 <b>【場所】</b> 生涯学習センターアピスタ 託児室、湖北地区公民館 和室 <b>【内容】</b> 子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児。 <b>【対象】</b> 子育て中の生涯学習施設利用者 <<託児対象児>>2歳から就学前までの幼児	市民保育ボランティアスタッフに活動の補助を担ってもらった。 保育スタッフ報償費110千円 通信費 4千円 保険料 38千円 飲料費 1千円	生涯学習課
	131	<b>再 生涯学習ボランティア</b>							生涯学習課
	132	<b>文化事業市民スタッフ</b> 教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施します。 <b>【委嘱期間】</b> 4月1日～3月31日 <b>【委嘱人数】</b> 29人 <b>【派遣件数】</b> 10件 <b>【派遣人数】</b> 99人(延べ) <b>【派遣件名】</b> 我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団、郷土芸能祭、文化財展 他 <b>【業務内容】</b> コンサートのチケットもぎり、会場整理、受付案内 他	<b>【登録人数】</b> 29人 文化事業を裏方で支えたい市民が登録し、事業の担い手になってもらう。 報償費: 50千円	A. 成果・効果があった スタッフとして業務に携わりながら、自らが文化芸術の担い手であることを意識し活動している。積極的に来場者への呼びかけや説明を行う姿が見られる。 なし	A. 現状どおり推進 委嘱した文化スタッフは、自らが文化振興の担い手として活躍するものであり、文化振興の拡大に寄与する事業であることから、今後とも積極的に展開していく。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施する。 <b>【委嘱期間】</b> 4月1日～3月31日	文化事業を裏方で支えたい市民が登録し、事業の担い手になってもらう。 報償費: 60千円	文化・スポーツ課
②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充					②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充				
133	<b>防災士及び災害救援ボランティア育成事業</b> 防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とし開催。 <b>【開催日程】</b> 11月5日(土)、12日(土)、26日(土) <b>【開催場所】</b> 中央学院大学・消防本部 <b>【対象者】</b> 市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 <b>【募集人数】</b> 一般10名 学生20名 計 30名 <b>【参加者数】</b> 11名 <b>●防災士補助金交付</b> 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【日程】</b> 随時 <b>【補助額】</b> 受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 <b>【対象者】</b> 市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者)	<b>●第7回災害救援ボランティア講座</b> 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とし開催。 <b>【開催日程】</b> 11月5日(土)、12日(土)、26日(土) <b>【開催場所】</b> 中央学院大学・消防本部 <b>【対象者】</b> 市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 <b>【募集人数】</b> 一般10名 学生20名 計 30名 <b>【参加者数】</b> 11名 <b>●防災士補助金交付</b> 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【日程】</b> 随時 <b>【補助額】</b> 受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 <b>【対象者】</b> 市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者)	<b>【災害救援ボランティア講座の受講者数】</b> 11人(一般7人、学生4人) <b>【防災士 受験者数】</b> 1人 <b>●第7回災害救援ボランティア講座</b> 災害救援ボランティア推進委員会が講座の運営を行い、市民安全課は申請があった受講者に対する助成金交付を行った。 中央学院大学に協力していただき、教室を借用、学生の受講者募集を行った。 <b>●災害救援ボランティア 補助金</b> 一般 9,200円×6名 55,200円 学生 6,700円×4名 26,800円 <b>●防災士 補助金</b> 1名 40,000円	A. 成果・効果があった <b>●第7回災害救援ボランティア講座</b> 例年に比べ、参加者が少なかったが、学生に比べ一般参加者が多いことは、地域での防災への意識が高くなっていると感じた。 <b>●第7回災害救援ボランティア講座</b> 参加者を増やすための、工夫が必要である。	B. 改善・見直しを行う <b>●災害救援ボランティア</b> 市外からも受講者を募集し、講座の活性化をはかる。	<b>●第8回災害救援ボランティア講座</b> 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【開催日程】</b> 11月未定 <b>【開催場所】</b> 中央学院大学・消防本部 <b>【対象者】</b> 市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 <b>【募集人数】</b> 一般10名 学生30名 計 40名 <b>●防災士補助金交付</b> 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【日程】</b> 随時 <b>【補助額】</b> 受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 <b>【対象者】</b> 市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者)	<b>●災害救援ボランティア 補助金</b> 一般 9,200円×10名 92,000円 学生 6,700円×30名 201,000円 <b>●防災士 補助金</b> 40,000×2名 80,000円 <b>●災害救援ボランティア 補助金</b> 一般 9,200円×10名 92,000円 学生 6,700円×30名 201,000円 <b>●防災士 補助金</b> 40,000×2名 80,000円	市民安全課	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	134 失語症会話パートナー養成講座 失語症会話パートナー養成講座 失語のことをよく理解し、コミュニケーションを補いながら一緒に会話できる失語症パートナーを養成するため、市民を対象に失語に関する基礎知識と会話技術に関する講習を開催した。 【開催場所】障害者福祉センター・保健センター 【実施回数】1回(4時間×1日) 【定員】12人 【参加者数】4人 【対象】我孫子市在住の方 【費用】無料	【失語症会話パートナー延べ派遣人数】 426人 【失語症会話パートナー登録者人数】 23人	A. 成果・効果があった 失語に関する基礎知識と会話技術を身につけてもらう機会になった。	B. 改善・見直しを行う 厚生労働省が作成した養成カリキュラムに合わせるため、名称を「失語症会話パートナー」の名称を「失語のある人向け意思疎通支援者」に変更する。また、養成時間を4時間から40時間に変更する。	●失語のある人向け意思疎通支援者養成講座 失語のことをよく理解し、コミュニケーションを補いながら一緒に会話できる意思疎通支援者を養成するため、市民を対象に失語に関する基礎知識と会話技術に関する講習を開催する。 【開催場所】障害者福祉センター・保健センター 【実施回数】入門編(4時間×3日)、応用編(4時間×5日)、実践編(4時間×2日)。入門編は年3回実施。 【定員】12人 【対象】我孫子市在住の方 【費用】無料	講座終了後、受講者から講座内容の満足度に関するアンケートを行い、次年度の講座に反映させる。	障害福祉支援課(障害者福祉センター)
		失語のある人のコミュニケーションを支援するため、市民を対象に失語に関する知識と会話技術に関する講習と実習を行う。	なし	なし	なし	なし		
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	135 介護予防サポーター養成講座 介護予防に関する知識や技術を地域の人々に普及啓発していく、高齢者の介護予防活動のリーダーを育成し支援する。	《団体向け》高齢者のサロン(きらめきデイサービス)のリーダー向けに、認知症予防運動研修会を実施 【開催場所】市民プラザ アビスタ 【開催時期】平成28年5月25日～11月30日(1団体あたり4回、述べ16回の研修を実施) 【内容】認知症予防運動プログラム(コグニサイズ)、ストレッチ、尿もれ体操、口腔機能向上の体操等、介護予防に特化したプログラムの提供 【対象者】きらめきデイサービスのボランティア、介護予防に特化した内容でサロンの開設を予定している団体、体操に関する出前講座の依頼があった団体 【参加者数】72名	【アンケートの結果】実施なし 【自由記入欄の抜粋】なし	A. 現状どおり推進 地域の介護予防活動の充実に向け、29年度は、リハビリ専門職と連携しながら、対象を広げて研修を進めていく(我孫子市リハビリ協会所属の理学療法士の参加を計画)。また、フォローアップ研修を行い、継続的な支援とともに団体同士の横のつながりを図っていく。	1. 地域において住民主体で活動する団体向けに、認知症予防運動研修会を実施 【開催場所】我孫子市民プラザ、湖北地区公民館 【時 期】平成29年4月下旬～6月下旬 【対 象】シニアクラブや自治会等の団体リーダー 2. フォローアップ研修を実施(1団体あたり2回、述べ6回実施) 【開催場所】同上 【時 期】平成29年9月下旬～12月上旬 【対 象】28度実施した認知症予防運動研修会に参加した団体のリーダー	・市民(自治会、シニアクラブ等):地域で活動する既存の団体リーダーに研修で学んだ介護予防のための取り組みを日頃の活動の中に取り入れられるよう伝達・実践 ・事業者(我孫子市リハビリ協会):研修スタッフとして参加してもらい、地域における住民主体の活動について状況を知らせてもらう。	高齢者支援課
		市が主催する研修会に参加したふれあいサロンのボランティアが、シニアリーダーとして日頃の活動の中で介護予防の取り組みを始めている。	研修消耗品、書籍代(参考資料)代 45,838円 委託料 230,000円	強化型サロンに移行となった各教室で介護予防活動の定着を図る。	研修消耗品代 86千円 事務連絡費 13千円 委託料 6,226千円			

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
136	子育てサポーター養成講座  核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、子育てを支援する人材を育成し、地域における子育て力を強化するため、子育てサポーター養成講座を開講し、子育てサポーターを養成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てサポーター養成講座 《基本講座》 【日程】6月23日(木)、6月30日(木)7月8日(金)、7月15日(金)、7月22日(金)、7月28日(木)、8月3日(水)、9月6日(火)、10月14日(金)全9回 【内容】こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住または近隣市町在住の20歳以上の方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 【定員】30人 【参加者(のべ)】167人</li> <li>《保育園実習(保育園見学・参加実習)》 【日程】9月12日(月)から9月30日(金)のうち2日間 【参加者(のべ)】34人</li> <li>《フォローアップ講座》 【日程・内容】1月31日(火) 保育の実践につながる講習会(講義)、保育の実践につながる講習会(実技) 他 2月10日(金) 具体的な問題点、疑問点への対応策の検討 【参加者(のべ)】23人</li> <li>●スキルアップ講座2回予定 ①【日程】1月20日 【内容】産後のママのこころとからだの変化 【参加者】23人 ②【日程】3月2日 【内容】平成29年度子育てサポーター・子育て支援員研修の説明会とサポーター活動 Q&amp;Aディスカッション 【参加者】32人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【子育てサポーター人数】91人(新規 16人)</li> <li>子育てサポーター研修を受講し、終了した方の中から「子育て応援隊」として活動してもらった。</li> </ul>	A. 成果・効果があった 平成28年度は、16人の新規サポーターを加え、91人となった。活動への意識の高いサポーターは、子どもの見守りや家庭への訪問活動に積極的に参加し、子育てを支援する人材育成の機会としての成果があった。	B. 改善・見直しを行う 平成29年度より「子育てサポーター・子育て支援員研修」として、子育てサポーター及び子育て支援員を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てサポーター・子育て支援員研修【日程】 《基本研修》6月2日(金)、6月9日(金) 2日間 《専門研修》6月16日(金)、6月23日(金)、6月30日(金)、7月4日(火)、7月18日(火) 5日間 《保育園見学実習》7月5日(水)～14(金) 2日間 【内容】こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住の20歳以上の方、または市内小規模保育事業所に従事している方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 【定員】30人</li> </ul>	子育てサポーター研修を受講し、終了した方の中から「子育て応援隊」として活動してもらう。  講師報償費 180,000円	保育課
		講師報償費 170,000円	活動に参加してくれるサポーターは毎回同じ方になってきているため、活動に消極的なサポーターの参加を促すとともに、活動の場を広げていきたい。					
137	環境レンジャー活動への支援  環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネイチャー・イン企画 【日程・内容・参加者数】5月21日(土) 春の鎌倉道散策 15名、7月30日(土) ホテル観賞会 101名 10月22日(土) 谷津ミュージアム自然観察会 13名、1月29日(日) 手賀沼の冬鳥船上観察会 39名</li> <li>●Enjoy手賀沼！にブース出展 【日程】5月8日(日) 【参加者数】345名 【出展内容】パネル展示にてレンジャーの活動紹介、および子どもたちに「生き物ぬり絵」を楽しんでもらい、ぬり絵が完成した子どもには野鳥カードをプレゼント。</li> <li>●環境レンジャー通信「たまつけ」の発行 【発行日】4/15(65号) 10/15(66号) 1/15(67号) 【部数】各号およそ1000部 【内容】外来種など環境に関することやレンジャーの活動報告と予告</li> <li>●エコ・こども教室 【日程】10月16日(日) 【時間】9:30～12:00 【参加者数】発表会 67名 ストリートでのクイズ 417名</li> <li>●環境レンジャーサポーターの募集 【内容】次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。 【応募人数】1人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】14人</li> <li>市民の環境保全活動を支援するために市内の行事に環境レンジャー(ボランティア)の参加協力。</li> </ul>	A. 成果・効果があった 各事業とも例年楽しみにしている人もおり、盛り上がった。また、生き物ぬり絵は子どもたちの人気が高く、エコ・子ども教室では発表者が友達に招待状を渡すという新しい試みをしたこともあり、例年よりも多くの参加者であった。	B. 改善・見直しを行う 環境レンジャーサポーターを増やす手法を模索していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネイチャー・イン企画の開催を行う。 5月27日(土) 利根川ゆうゆう公園観察会、7月29日(土) ホテル観賞会 10月28日(土) 谷津の自然観察と谷津まつり、1月28日(日) 手賀沼の冬鳥船上観察会</li> <li>●Enjoy手賀沼！ブース出展をする。 【日程】5月14日(日)</li> <li>●水の館オープニングイベントでブース出展をする。 【日程】6月3日(土)、4日(日)</li> <li>●環境レンジャー通信「たまつけ」の発行をする。 【発行日】4/15(68号) 10/15(69号) 1/15(70号)</li> <li>●エコ・こども教室を開催する。 【日程】10月15日(日)</li> <li>●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。</li> </ul>	市民の環境保全活動を支援するために市内の行事に環境レンジャー(ボランティア)の参加協力。  消耗品 50千円	手賀沼課
		消耗品 17千円	環境レンジャーの高齢化が進んでいる。					

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
138	緑のボランティアの森づくり  森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日 《古利根自然観察の森活動》 【日程】偶数月第2土・奇数月第2日【参加者数】174人 《古利根沼べり活動》 【日程】毎月第3水【参加者数】85人 《中里市民の森活動》 【日程】毎月第4日【参加者数】81人 ※岡発戸市民の森活動は、岡発戸市民の森整備工事のため、今年度は休止して中里市民の森での活動に充てた。	【我孫子市みどりのボランティア登録人数】351人(内、古利根みどりのボランティアと登録人数41人)	A. 成果・効果があった 会員同士が森づくりの共通認識を持ち、森の保全から再生へと活動を広げ始めている。また、定例活動日以外の有志活動等が積極的に行われており、ボランティアによる緑の保全活動の拡がりにつながっている。	A. 現状どおり推進 なし	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日(予定) 《古利根自然観察の森活動》【日程】偶数月第2土・奇数月第2日 《古利根沼べり活動》【日程】毎月第3水 《中里市民の森活動》【日程】奇数月第4日(ただし12月は中里市民の森活動) 《岡発戸市民の森活動》【日程】偶数月第4日(ただし5月は岡発戸市民の森活動)	市内の緑地(古利根沼周辺・岡発戸市民の森)において、森の保全活動を行う。また樹木の剪定など、森の維持につながる活動を行う。 《協同団体》市民の森&古利根みどりのボランティア	公園緑地課
		消耗品費61,952円 運搬・処分委託料47,520円 原材料費49,830円	会員の高齢化が進んでおり、若い世代の参加が課題。			消耗品費65,000円 運搬・処分委託料50,000円 原材料費50,000円 備品購入費61,000円		
139	生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施  生涯学習出前講座市民講師の共通認識の向上と、講座の内容充実を図るため、市民講師を対象とした研修会等を行う。	平成28年度は学習会は実施せず、平成29年度開催予定。	なし	C. 未実施・わからない 27年度に実施し、その際、隔年の開催とした。28年度は実施していない。	A. 現状どおり推進 27年に開催した。隔年での開催のため次回は29年度に開催。	今年度実施予定(詳細未定)	なし	生涯学習課
			なし				講師謝礼 10千円 飲料費 5千円	

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課		
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働			
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算			
140	生涯学習審議会委員の研修  生涯学習や社会教育に関する知見を深めてもらうとともに、委員間の連携強化を図るため、研修会を実施する。	【実施回数】2回実施予定 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市合同で研修会を行った。 ●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 【日程】8月23日(火)【参加者】生涯学習審議会委員6名、市職員3名 【場所】野田市中央公民館 【内容】 テーマ「人づくり、まちづくりはなぜ日本社会喫緊の課題なのか」 講師 群馬県立女子大学文学部英文学科 佐々木 尚毅氏  ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 【日程】1月17日(火)【参加者】生涯学習審議会委員7名、市職員2名 【場所】ファイターズタウン鎌ヶ谷 【内容】 ①講話「企業が行う地域貢献について」講師 足立達昭氏(株式会社北海道日本ハムファイターズ) ②視察 ファイターズタウン鎌ヶ谷内施設	【生涯学習審議会委員の研修参加者数】 延べ 13名  なし  ●東葛飾地区社会連絡協議会研修会 会議報酬 17,500円(審議会委員5名分) ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 会議報酬 21,000円(審議会委員6名分)	A. 成果・効果があった  研修後のアンケート結果で「大変参考になった」「少し参考になった」と回答の方が91%と研修内容についてかなりの満足度を得られている。また、研修をきっかけに、社会教育に携わるものとして担うべき役割や目的、方向が見えてきたといったような回答も見られた。	A. 現状どおり推進  引き続き、研修の機会を審議会委員の方に提供し、様々な知識・見識の習得を図り、研修を通じて他市との交流や情報交換の機会となるように実施していく。	生涯学習審議会発足にあたり、審議会委員の研修を行う。 【実施回数】2回実施予定 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市合同で研修会を行う。 ●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 【日程】8月22日(火) 【場所】松戸市 【内容】学識経験者から生涯学習についての講演を聴く。 ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 【日程】1月16日(火) 【場所】松戸市 【内容】社会教育関連施設等の視察、社会教育関係の有識者、行政担当者等による講話	なし  ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 報酬 35,000 (10名分) ●東葛飾地区社会教育振興大会 報酬 35,000 (10名分)	生涯学習課		
		141	スポーツ指導者の研修制度の確立  市民の多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者の研修制度を検討し、確認する。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	研修制度の確立へ向け、NPO法人我孫子市体育協会と開催について協議を行った。  なし  なし	協議回数 5回  なし  なし	A. 成果・効果があった  研修制度についての協議を着実に進められた。  なし	A. 現状どおり推進  引き続き、NPO法人我孫子市体育協会と研修制度の確立に向けた協議を行う。	平成30年度の指導者養成講習会開催にむけて具体的に我孫子市体育協会と協議、予算措置を行う。  なし	なし  なし	文化・スポーツ課
		142	市民コンサート  市内や近郊の音楽愛好家の交流を図るとともに、多くの市民に音楽を演奏することの素晴らしさを身近に感じてもらえるよう、教育委員会、我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団が実行委員会を組織して、コンサートを開催する。	●市民コンサート 【日程】12月17日(土)、18日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【出演者】我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団 【来場者】 898人	【来場者数】 898人  市民参加で実行委員会を組織し、企画・立案から実施までを担った。  200千円	A. 成果・効果があった  演奏会を実施し、来場者の期待等に応える演奏会であった。  なし	A. 現状どおり推進  市民参加の実行委員会を組織し、観客に音楽の素晴らしさをアピールすることによって、実行委員会と出演者にとっては事業を担う達成感が得られ、次の活動意欲に繋がる。また来場者にとっては、音楽の素晴らしさを体感する機会となり、心に安らぎが得られることと、また参加しようとする市民の想いを掻き立てる場になっている。	【日程】12月23日(土)、24日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【出演者】我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団	市民参加で実行委員会を組織して開催する。  200千円	文化・スポーツ課
③学んだ成果を評価するしくみの構築		③学んだ成果を評価するしくみの構築				③学んだ成果を評価するしくみの構築				

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課	
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算		
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	143	市民参加型コンサート 市内音楽愛好家の交流の場と成果を発表する機会を提供するため、市内在住、在勤、在学等の方が出演するコンサートを開催する。	●市民参加型コンサート 【事業名】フレッシュコンサート 【日程】2月26日(日) 【内容】市ゆかりの高校生や大学生の若手演奏家が出演し発表する音楽会(教育委員会の主催で実施) 【開催場所】市民プラザ ホール 【参加者】182名	【参加者】 182人 市民の学生が演奏を行った。	A. 成果・効果があった 文化財展・寄贈絵画展とコラボ開催し、今までの参加者と異なる層の来場者を得ることができた。 コンサートを通し、交流の場と成果を発表する機会を提供できた。 なし	A. 現状どおり推進 今後も同様に他のイベントと協調して開催し、来場者の掘り起しを行う。	●市民参加型コンサート 【事業名】未定 【日程】2月下旬日(日) 【内容】市ゆかりの高校生や大学生の若手演奏家が出演し発表する音楽会(教育委員会の主催で実施) 【開催場所】市民プラザ ホール	市民の学生が演奏を行う。 需用費: 78千円、委託料: 396千円、使用料: 10千円	文化・スポーツ課
			144	●市民文化祭 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。教育委員会の主催で実施した。 【日程】10月1日(日)~12月11日(日) 【開催場所】アピスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティーホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】絵画、茶道、謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、華道、書道、吹奏楽、合奏、合唱、さつき、囲碁、軽音楽、俳句、将棋、フラダンス、きもの着付け、写真、歌謡曲、短歌、手工芸、盆栽・山野草、東洋蘭、洋ラン、演芸及び地域芸能などの文化33部門 【出演者数】 4,568人 【入場者数】 16,032人	【出演者数】 4,568人 【入場者数】 16,032人 市民団体参加によって我孫子市民文化祭実行委員会を組織し、企画・運営を担ってもらった。 委託料: 3,600千円、施設使用料 786千円	A. 成果・効果があった 多くの参加者を募り、開催することができた。多くの参加者の方に、文化芸術に親しむ機会や活動発表の機会を提供できた。 なし	A. 現状どおり推進 市民と共同で行う文化事業であり、市の文化芸術の振興に繋がることから、引き続き推進していきたい。	【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。教育委員会の主催で実施。 【日程】9月16日(土)~12月10日(日) 【開催場所】アピスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティーホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】絵画、茶道、謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、華道、書道、吹奏楽、合奏、合唱、さつき、囲碁、軽音楽、俳句、将棋、フラダンス、きもの着付け、写真、歌謡曲、短歌、手工芸、盆栽・山野草、東洋蘭、洋ラン、演芸及び地域芸能などの文化33部門	市民団体と実行委員会を組織して、企画・運営を行う。 委託料: 3,600千円、施設使用料: 852千円
	145	●寄贈絵画展 市民の文化意識に応える絵画展を教育委員会の主催で実施した。また、昨年度に引き続き、文化財展とコラボレーションを行った。 【日程】平成29年2月25日(土)~28日(火) 【場所】市民プラザ ギャラリー 【内容】文化財展は我孫子市指定文化財 中里薬師堂薬師三尊像、十二神将像のうち三神像、および裁縫雛形の展示を行なった。寄贈作品展は我孫子市に寄贈・寄託された書の作品9点(杉村楚人冠、夏目漱石、堺利彦、徳富蘇峰、志賀直哉など)の展示を行なった。 【入場者数】 875人	【入場者数】 875人 なし 需用費: 265千円、使用料: 174千円	A. 成果・効果があった 寄贈絵画展を文化財展やフレッシュコンサートとコラボ開催することにより、例年とは違った参加者層に寄贈絵画をアピールする機会を得られた。 なし	A. 現状どおり推進 寄贈絵画展を文化財展やフレッシュコンサートとコラボ開催したことで得られた経験を活かして今後とも積極的に展開していく。	市民の文化意識に応える絵画展を教育委員会の主催で実施します。また、昨年度に引き続き、文化財展とコラボレーションすることを計画している。 【日程】平成30年2月予定 【場所】市民プラザ ギャラリー	なし 需用費: 268千円、委託料: 180千円、使用料: 174千円	文化・スポーツ課	
	146	●めるへん文庫 【対象】市内外の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】5月1日~10月31日 【応募件数】159編(小学生32編、中学生123編、高校生4編) 《表彰式》 【日程】平成29年3月18日(土) 【受賞】小学生の部: 1席なし、2席2名、3席2名、中学生の部: 1席1名、2席1名、3席13名、高校生の部: 1席なし、2席1名、3席1名	【作品応募数】 159編 なし 報償費: 79千円、需用費: 504千円、役務費: 15千円、委託料: 100千円	A. 成果・効果があった 今年も、多くの子ども達からの応募があり、創作活動を通じ豊かな感性を育む機会や作品を発表する機会を提供できた。 なし	A. 現状どおり推進 子どもたちの創作活動の場として非常に貴重であり、今後も積極的に推進し、PRしていく。	●めるへん文庫 【対象】市内外の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】5月1日~10月31日	なし 報償費: 86千円、需用費: 520千円、役務費: 15千円、委託料: 100千円	文化・スポーツ課	
	147	再掲 郷土芸能への支援							ポ文化ツ・課ス
	148	再掲 手賀沼エコマラソン支援事業							ポ文化ツ・課ス

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり		基本目標 5 学びでつながるまちづくり				基本目標 5 学びでつながるまちづくり		
①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実		①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実				①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実		
149	市民のチカラ 市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	●市民のチカラ(我孫子のこれからフォーラム) 【日程】9月24・25日 【場所】我孫子南近隣センター、介護実習センター(けやきプラザ7階) 【内容】テーマ別企画(福祉、子育て、環境等)、講演会、懇親会等 【参加者】人数:400名、参加団体:60団体	市民活動をはじめた人数 10人  市民活動メッセとの共同開催により、約60団体の市民団体とイベントの協働を行った。 また、企画運営についても市民活動ネットワークと協働で実施した。  講師謝礼金 300,000円 消耗品費 20,000円 施設使用料 20,600円 その他保険料 30,000円 合計額 370,600円	B. あまり成果・効果がなかった 市民と市民団体等とが交流できる機会を提供した。  イベントが直接的に担い手の確保という成果につながっているのか見えずらいが、市民活動の必要性や既存の活動団体の発表する場の提供も必要である。	A. 現状どおり推進 指定管理者との主催事業であり、市民活動のノウハウのある指定管理者を中心にイベントを開催する方向で考えている。	【日程】11月25・26日 【場所】我孫子南近隣センター、介護実習センター(けやきプラザ7階) 【内容】テーマ別企画(食、自治会等)、講演会、懇親会等	市民活動メッセとの共同開催により、約60団体の市民団体とイベントの協働を行う。また、企画運営についても市民活動ネットワークと協働で実施する。  講師報償費 300,000円 消耗品費 22,000円 その他保険料 30,000円 施設使用料 42,000円 合計額 394,000円	市民活動支援課
150	再掲 あびこ子どもまつり							子ども支援課
151	再掲 げんきフェスタ							子ども支援課
152	学校支援事業の充実 学校教育の内容を充実させ、その教育力を向上させるため、市内全小中学校で立ち上げた学校支援地域本部において、地域住民を中心とした学校支援を行う。	・「環境整備支援」や「安全確保支援」などのボランティア活動をさらに充実させながら、「学習支援」活動の広がりと充実を図った。 ・各中学校区での地域コーディネーターの交流、連携や支援活動の実施。 ・学校支援地域コーディネーターの育成のための研修を実施。  【場所】市内小中学校 全19校 【実働人数】 《小学校》延べ 24,747人 《中学校》延べ 11,161人	【ボランティア活動実働人数】 45,000人(小中学校延べ)  ・学習支援(社会福祉協議会、ふれあいサロンなど伝統的行事、伝統的な遊びの活動) ・安全確保(防犯連絡員、自治会、地域見守り隊、サークル関係など登下校の見守り、パトロールなど) ・地域行事への参加(祭礼、地域行事などへ吹奏楽部等の参加、地域花壇づくりなど)	A. 成果・効果があった ・「学習支援ボランティア活動」に広がりがみられた。支援内容として、体験的学習活動、授業の補助や放課後の補習、夏休み学習も行われた。 ・各中学校区で地域コーディネーターの交流が活発となり合同での活動が実施された。 ・地域コーディネーター研修会のほかに、ボランティア(読み聞かせ)の研修会も実施できた。	A. 現状どおり推進 ・人材確保のため、各関係機関や団体に働きかけ連携していく。	・学校支援地域本部事業について、もう一度趣旨・目的を説明し学校全体として取り組むようにする。 ・中学校区でのコーディネーター活動が充実するよう、コーディネーター会議を定例化していく。 ・高校・大学と連携して、学生によるボランティア活動を進められるようにする。	学習支援(社会福祉協議会、公民館) 安全確保(防犯連絡協議会、自治会、地域見守り隊) 行事支援(地域、自治会)  研修会講師謝金 90,000円 案内状等郵送料 80,400円 文房具等消耗品(19校+事務局) 650,000円 コーディネーター報償費 2,784,000円 理数教育支援員賃金 1,664,000円 ICT教育支援員賃金 3,078,400円	指導課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
153	再掲 生涯学習学習相談体制の整備							生涯学習課
154	再掲 長寿大学							生涯学習課
155	再掲 家庭教育学級							生涯学習課
156	再掲 のびのび親子学級							生涯学習課
157	再掲 市民カレッジ 我孫子を知るコース							生涯学習課
②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成		②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成				②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成		
158	<p>在住外国人支援事業</p> <p>在住外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。</p>	<p>●外国人のための日本語教室</p> <p>【日程】火曜日35回、土曜日33回を開催予定。(火曜日は託児を実施)</p> <p>【場所】アビスタ、市民プラザ</p> <p>【所要時間】1回あたり1時間30分を予定</p> <p>【受講生】122人</p> <p>【ボランティア講師】38人</p> <p>【託児登録児童数】4人</p> <p>【託児ボランティア】6人</p> <p>●外国人相談窓口業務</p> <p>・我孫子市国際交流協会です内に在住・在勤</p> <p>・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語の計5か国語対応</p> <p>【業務内容】家庭内問題、暮らし、行政手続き、求職等</p> <p>【相談件数】15件</p> <p>【登録相談員】11人</p> <p>●外国語通訳派遣業務</p> <p>・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応</p> <p>【通訳件数】15件</p> <p>【通訳派遣数】のべ40人</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務</p> <p>・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応</p> <p>【翻訳枚数】64枚</p>	<p>【外国人のための日本語教室開催回数】68回</p> <p>いずれもボランティアの方々が、日本語指導や、外国人相談、市内行事等での通訳・翻訳を行った。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●外国人のための日本語教室</p> <p>受講生からの日常生活や日本の習慣などについての質問、相談ごとにもボランティア講師が適宜対応、アドバイスを行った。また、授業以外にも色々な体験ができるよう働きかけた。</p> <p>●外国人相談窓口業務</p> <p>外国人からの相談受付をAIRA事務局が行い、複雑な内容の場合には、ボランティア通訳(登録相談員)を手配したり、関係機関に取り次ぐなどの対応を行うことにより、外国人も暮らしやすい環境を整えることができた。</p> <p>●外国語通訳派遣業務</p> <p>野外美術展など行事や、国際会議の我孫子での見学(鳥博等)等の通訳を行い、交流を図ることができた。</p> <p>●簡易な文書の翻訳</p> <p>外国人にとって日常生活で必要と思われる情報を英訳して提供することにより、外国人も暮らしやすい環境を整えることができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>●外国人のための日本語教室</p> <p>・火曜日35回、土曜日35回を開催予定。</p> <p>・場所 アビスタ、市民プラザ</p> <p>・1回あたり1時間30分を予定</p> <p>・火曜日は託児を実施</p> <p>●外国人相談窓口業務</p> <p>・我孫子市国際交流協会です内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受ける。</p> <p>・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語対応</p> <p>●外国語通訳派遣業務</p> <p>・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務</p> <p>・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応</p>	<p>いずれもボランティアの方々が、日本語指導や、外国人相談、市内行事等での通訳・翻訳を行う。</p> <p>●在住外国人支援事業委託1,391千円(日本語教室託児ボランティア保険料、学校派遣ボランティア保険料98千円含む)</p>	企画課

基本目標	5	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成	NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課
						指標と実績	評価	今後の進め方	具体的内容	市民・事業者との協働	
						市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	成果	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
			159	公募補助金制度の運用  市民生活向上など、市民の利益につながる公益的で営利を目的としない活動を行う団体へ、補助金の交付による活動支援を行う。	●公募補助金の運用 公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50まで。  【応募資格】 営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象。 ①5人以上で構成されていること。 ②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。 ③政治や宗教を主たる目的としないこと。 ④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や市教育委員会と共催する事業・活動でないこと。 ⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。 ⑥前年度(平成27年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。	新規応募申請団体 6団体 公募補助金交付件数 13件  交付決定に伴う審査を、補助金等検討委員会が行い、提言書を市へ提出した。  【交付】16件、総額:2,467,728円	A. 成果・効果があった  市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。  【次年度申請分審査状況】 審査申請:3件(新規申請3件) 審査結果:採択 1件、不採択 2件	A. 現状どおり推進  現在の既存団体を支援するためには、現状のとおり推進をしていく方向ではあるが、制度開始後15年以上が経過していることもあり、制度内容の再検討は必要と考える。	平成28年度と同様	交付決定に伴う審査を、補助金等検討委員会が行い、提言書を市へ提出。  負担金補助及び交付金 公募補助金 2,955,000円	市民活動支援課
			160	市民公益活動補償制度の運用  市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合や、市民団体が損害賠償責任を負った場合の補償を行う市民の活動を支援する。	市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合の補償を行い市民の活動支援を行った。 【対象者】 主たる活動拠点が市内にあり、かつ、構成員が5名以上の団体(構成員の70%以上が市内に居住していることが必要)による「公益的な活動」が対象。ただし、日本国外の活動、営利・政治・宗教に係る活動を除く。 【補償の種類】 傷害、損害賠償、弔慰金  【支払】 ＜傷害＞ ・支払件数:9件 ・支払金額:168,000円 ＜賠償＞ ・支払件数:1件 ・支払金額:14,167円	市民公益活動中の補償すべき傷害、賠償責任についてすべて補償。  なし  役員費 その他保険料4,034,600円	A. 成果・効果があった  市民活動を支援していく側面としては、活動中における補償も必要である。  なし	A. 現状どおり推進  なし	平成28年度と同様 ただし、弔慰金は除く	なし  役員費 その他保険料2,327,420円	市民活動支援課
			161	資源循環型社会に関する市民講座への派遣  資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	要請があり次第実施した。 ＜勉強会への講師派遣＞ 【日程】平成28年6月6日(月)13:30～14:30 【場所】我孫子南近隣センター 8階 調理室 【内容】「新焼却施設の建設とリサイクル事業について」 【参加者】市民団体 21人  ＜出前講座＞ 【日程】平成28年6月15日(水)10:00～12:00 【場所】湖北地区公民館 第1学習室 【内容】「市のごみの収集状況と資源の現状について」 【参加者】長寿大学卒業生 26人  その他 施設見学等2団体	【申し込み団体数】 6団体(施設見学含む)  なし  なし	A. 成果・効果があった  ごみの減量や分別の必要性についてより一層理解してもらうことができた。  職員減による講師不足。	A. 現状どおり推進  施設見学は、解体工事等に併い一時中止。	要請があれば実施。施設見学は、解体工事等に併い一時中止。	なし  なし	クリーンセンター

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
162	我孫子市創業支援事業  市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、シンポジウム、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。	<p>●『実践創業塾』プチ起業コース リスクが少なく無理のないかたちからビジネスにチャレンジしたい方を対象とし、起業に必要な基本の知識を1日で学ぶコース。 【日時】平成28年6月11日(土)09:15～17:00 【場所】アビスタミニホール 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。定員30人 参加者19名 【費用】3,000円</p>	<p>【起業者数】 平成28年度の起業者数は9名(法人6名・個人3名) ※このうち、実践創業塾からの起業者は6名(法人3名・個人3名)</p>	<p>A. 成果・効果があった 国の認定をもらった「我孫子市創業支援事業計画」に於いて、平成26年度から平成28年度の3年間で設定した目標起業件数の19件を超える、22件の起業があった。このことから起業支援の成果があったと捉え、今後も支援内容の充実を図っていく。</p>	<p>A. 現状どおり推進 なし</p>	<p>●『実践創業塾』プチ起業コース リスクが少なく無理のないかたちからビジネスにチャレンジしたい方を対象とし、起業に必要な基本の知識を1日で学ぶコース。 【日時】平成29年6月10日(土)09:15～17:00 【場所】アビスタミニホール 【対象者・定員】起業を目指す方ならどなたでも。定員30人 【費用】3,000円</p>	<p>我孫子市創業支援事業計画に於いて特定創業支援事業者であるNPO法人ACOPAや、我孫子市商工会と連携して開催する。</p>	企業立地推進課
		<p>●『実践創業塾』本格起業コース 本格的な創業を目指す、実践的な起業コース。このコースは我孫子市の特定創業支援事業で、受講後、市の終了証明書を受領すると下記のメリットが受けられる。※証明書は受講終了を証明するものでメリットを保証するものではない。 ・会社設立時の登録免許税軽減 ・無担保・第三者保証人なしの創業関連保証(金融機関の審査有り) ・日本政策金融公庫の新創業融資制度の要件緩和(金融機関の審査有り) ・我孫子市創業支援補助金の対象 【日時】平成28年6月26日(日)、7月10日(日)・24日(日)・8月7日(日)・21日(日)09:15～17:00 【場所】アビスタミニホール※8月7日のみ我孫子南近隣センターホール(けやきプラザ9階) 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。定員30人 参加者18名 【費用】10,000円</p>	<p>我孫子市創業支援事業計画に於いて、特定創業支援事業者であるNPO法人ACOPAと連携して開催した。また、講師3名は、市内で起業した実業家の方にご登壇していただいた。</p>	なし	<p>●『実践創業塾』本格起業コース 本格的な創業を目指す、実践的な起業コース。このコースは我孫子市の特定創業支援事業で、受講後、市の終了証明書を受領すると下記のメリットが受けられる。※証明書は受講終了を証明するものでメリットを保証するものではない。 ・会社設立時の登録免許税軽減 ・無担保・第三者保証人なしの創業関連保証(金融機関の審査有り) ・日本政策金融公庫の新創業融資制度の要件緩和(金融機関の審査有り) ・我孫子市創業支援補助金の対象 【日時】平成29年6月25日(日)、7月9日(日)・23日(日)・8月6日(日)・20日(日)09:15～17:00 【場所】我孫子南近隣センター第一会議室(けやきプラザ9階)、アビスタ他 【対象者・定員】起業を目指す方ならどなたでも。定員30人 【費用】10,000円</p>	<p>●我孫子市ビジネス交流会 ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催。 【日時】平成29年11月11日(土)13:00～16:30 【場所】我孫子南近隣センター ホール 【対象者】起業・創業に興味のある方、事業を営んでいる方、ビジネスの人脈を広げたい方、市外在住者も可。 【定員】定員50名 【費用】無料</p>	<p>●実践創業塾 (創業支援事業負担金) 444,000円(筆耕翻訳料) 81,000円 ●起業個別相談会 (講師報償費) 90,000円 (食糧費) 2,000円 ●ビジネス交流会 (講師報償費) 30,000円 ●我孫子市創業支援補助金 2,160,000円(40,000円×12ヶ月×2件 + 50,000円×12ヶ月×2件) ●その他 (普通旅費) 13,000円 (消耗品) 18,000円 (印刷製本費) 61,000円 (有料道路代) 2,000円</p>	
		<p>●第四回我孫子市 起業・創業シンポジウム 我孫子市で活躍している企業経営者を講演者として招き、企業経営における成功話や苦労話、継続の秘訣等を内容とする講演を通じて、市民の起業への関心を高めるとともに、既に起業している方や起業を予定している方の意識啓発やビジネスのブラッシュアップに繋げることを目的として開催。 【日時】平成28年11月12日(土)13:30～16:30 【場所】アビスタホール 【対象者・定員・参加者】起業に関心のある方ならどなたでも。市外在住者も可。定員140名 参加者87名 【費用】無料</p>	<p>【シンポジウム】 ・講師報償費 110,000円(30,000円×3名・20,000円×1名) ・食糧費 1,648円 ・印刷製本費82,080円 ・筆耕翻訳料18,400円 【創業支援事業負担金】 215,882円 【旅費】 2,548円 【消耗品】 8,372円</p>	なし	<p>●我孫子市ビジネス交流会 ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催。 【日時】平成29年2月4日(土)13:00～16:30 【場所】我孫子南近隣センター ホール 【対象者】起業・創業に興味のある方、事業を営んでいる方、ビジネスの人脈を広げたい方、市外在住者も可。 【定員・参加者】定員100名 参加者48名 【費用】無料</p>	<p>●我孫子市創業支援補助金 市内における新規事業の創出を促進し、産業の活性化及び振興を図るため、市内の空きテナント等を利用して事業をスタートする方に対し、賃料の一部を補助する。 【補助額】事業所等賃借料 【補助対象期間】交付決定日の属する月の翌月から1年間 【補助率】1/2 【補助限度額】市域西側地区 月額4万円(年額48万円) 市域東側地区 月額5万円(年額60万円) 【申請者】0名 (※28年度の実践創業塾受講生4名が平成29年度で申請)</p>	<p>●平成28年度創業塾運営に係る負担協定 特定創業支援事業者であるNPO法人ACOPAが開催する実践創業塾の運営において、収支欠損が生じた際、欠損額を金222,000円を上限に負担する。</p>	

②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成  
基本目標 5 学びでつながるまちづくり

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容			担当課
			指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算		
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)						
163	市民の学習活動への支援 広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュースなどを通じて、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供を行い、学習に関する問い合わせに対応した。市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページに登録・提供し活用した。	広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュースなどを通じて、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページに登録・提供し活用を図る。	HPアクセス数:4629件 あびこ楽校ニュース発行部数:20,000部	A. 成果・効果があった 広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュース、チラシ等の情報発信により生涯学習に対する関心が高まり、電話、窓口での学習相談が増加した。	A. 現状どおり推進 なし	広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュースなどを通じて、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供を行い、学習に関する問い合わせに対応する。市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページに登録・提供し活用する。	なし	生涯学習課	
			なし	学習情報提供担当者が不在の場合、利用者への対応ができないことがある。			なし		
164	再 視聴覚ライブラリー 掲の管理・運営							生涯学習課	
165	社会教育団体活動支援 市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体が行っている事業の後援を行い、社会教育活動の活性化を図る。	●市民団体の行う事業について、広報への掲載や名義の使用許可を出した。 後援数 27事業	【後援数】 27事業	A. 成果・効果があった 市民団体の行事の後援を行うことで、市民生活の向上や社会文化の振興、活動団体への支援ができた。	A. 現状どおり推進 なし	市民団体の講演申請に基づき、後援承認を行う。	なし	生涯学習課	
			なし				なし		
			なし				なし		
166	文化芸術団体活動支援 文化芸術団体の活動を支援するため共催・後援事業の拡充を行い、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	地域の文化活動を支援するため教育委員会は共催、後援事業を行った。 【28年度共催事業】 43件 【28年度後援事業】 70件 【事業参加者数】 124,700人	【共催事業数】 43件 【後援事業数】 70件	A. 成果・効果があった 共催、後援事業を通じて、文化団体の活動支援を十分に行うことができた。また、市が実施主体となる文化自主事業を補完する意味でも今後とも積極的に活動支援していきたい。	A. 現状どおり推進 市民団体の積極的な文化事業をサポートするためにも今後とも積極的に共催していきたい。	引き続き地域の文化活動を支援するため共催、後援事業を行う。	共催事業に際しては企画運営に際し、市民団体の主導により実施する。	文化・スポーツ課	
			共催事業に際しては企画運営に際し、市民団体の主導により実施した。						
			負担金: 75千円、消耗品費: 30千円	なし			負担金: 200千円、消耗品費: 30千円		

基本目標 5 学びでつながるまちづくり  
②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
167	再掲 スポーツフェスタ～ スポーツを楽しもう～							ポ 文 化 ツ ッ ス
168	施設・団体へ図書等の貸 出サービス  市内団体の自主活動や学 級文庫活動を支援して、子 どもたちの読書活動と市全 体の読書環境の向上を図 る。	学級文庫への貸出…市内小中学校1クラスにつき40冊まで学期ごとに貸出 をした。主に図書館で選定したものを提供した。 各種団体への貸出…家庭文庫・地域文庫・読書会・子ども会などの各種団 体に対し、200冊まで2か月の期間で貸出をした。 読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供し た。10冊、約4週間。  【年間団体貸出冊数】 31,504冊 【団体の年間利用数】 1,743回	【年間団体貸出冊数】 31,504冊(昨年度比 -1.4%)  学級文庫などで使用する図書を市 民自ら選定する場合には、図書館 職員がアドバイスを行った。  嘱託職員報酬他 1,200千円	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	学級文庫への貸出…市内小中学校1クラスに つき40冊まで学期ごとに貸出をする。主に図書 館で選定したものを提供する。 各種団体への貸出…家庭文庫・地域文庫・読 書会・子ども会などの各種団体に対し、200冊 まで2か月の期間で貸出をする。 読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図 書館の十冊文庫を提供する。10冊、約4週間。	学級文庫などで使用する図 書を市民自ら選定する場 合には、図書館職員がア ドバイスを行う。  嘱託職員報酬他 1,278千 円	図 書 館
169	鳥に関する学習への支援  鳥に関する正しい情報を提 供するため、常設展示 室、企画展示室にて鳥に関 する解説を学芸員や市民ス タッフ展示交流員が行う。多 目的ホールのバードボック スの使い方などもレクチャー するとともに、鳥に関する質 問を電話、手紙、館内など で随時受け付け、博物館資 料を使った大学院生などの 研究への協力も行う。	今年度も引き続き展示解説、ガイドツアー、展示交流を行った。 夏休みの自由研究に関しては、昨年度の鳥に関する研究の優秀作品の展 示に加え、今年度も学芸員による相談受け付けも行った。 また、博物館資料の活用では、他施設(博物館)への貸出、および調査研究 への協力も行った。  ●団体来館者への展示解説 展示解説を希望する予約団体に対して、展示解説を行った(通年)。 【団体案内数】 127団体  ●ガイドツアー 土・日曜日を中心に、30分程度の館内ガイドツアーやスポットガイドを実施し た(通年)。 【実施回数】 42回  ●展示交流スタッフの活動 土・日曜日を中心に、展示室において展示交流スタッフによる館内の展示交 流や解説を行った(通年)。開館日にはほぼ毎日展示交流スタッフが常駐し た。  ●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。 【問合せ件数】 年間 1,091件  ●調査研究への協力 博物館資料を使った調査研究への協力を行った(通年)。 【協力依頼】 54件  ●夏休み自由研究相談(夏休み期間中) 夏休みの小中学生の自由研究の相談を受け付け対応した。 【相談件数】27人(うち市内17人)	【団体来館者・ガイドツアーの解説 件数・人数】 130件、2,200人  公募の市民スタッフが展示交流ス タッフとして展示の解説や館内の案 内を実施。  市民スタッフ報償費 199,500円	A. 成果・効果があった  必要に応じて展示案内を行うこ とで、はじめての来館者も展示 に親しみをもって見学すること ができる。市民スタッフに案内し てもらったことで、展示を楽しく見 ることができたという感想も寄せら れている。	A. 現状どおり推進  なし	今年度も引き続き展示解説、ガイドツアー、展 示交流を行う。 夏休みの自由研究に関しては、昨年度の鳥に 関する研究の優秀作品の展示に加え、今年度 も学芸員による相談受け付けも行って いく。また、博物館資料の活用では、他施設(博物 館)への貸出、および調査研究への協力も行 う。	公募の市民スタッフが展示交 流スタッフとして展示の解説 や館内の案内を行う。  市民スタッフ報償費 296, 100円	鳥 の 博 物 館

基本目標 5 学びでつながるまちづくり

②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
170	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援  市民スタッフが、環境学習リーダーや来館者へのガイド役として活躍するように支援する。また、友の会の行う友の会展や鳥類に関するあらゆる生涯学習の活動について支援を行う。	市民スタッフ(H28登録者33名)と協働で、展示ガイド、自然観察会ガイド、室内イベントを実施した。 友の会に対しては、例年通り各サークル活動の場の提供や情報提供による支援を行った。(今年度は空調工事で約3ヶ月休館したので、友の会展は中止)  ●市民スタッフ(33人) 【活動内容】年間を通じての展示ガイド、自然観察会ガイド、室内イベント補助、標本整理補助。  ●友の会(H28年度入会者321人・家族会員含む) 【活動内容】鳥胤教室、和紙を使った工作イベント等を共催。	【友の会・市民スタッフ登録者数】 指標:370人 実績:354人(友の会会員数321人、市民スタッフ33人)  市民スタッフと協働で、館内ガイド、自然観察ガイド、室内イベント等を協働で実施した。友の会とは鳥胤教室等共催のイベントを実施した。  なし	A. 成果・効果があった  市民スタッフと協働で事業を行うことで、職員だけでは対応しきれないきめこまかな来館者対応が可能となり、サービス向上につながった。また、友の会との工作を中心とした共催事業により、これまで博物館訪れたことの無い利用者の来館を促すことができた。  なし	A. 現状どおり推進  なし	市民スタッフ(H29登録者30名)で、昨年同様の活動を行う。 友の会に対しては、例年通り各サークル活動への場の提供や情報提供による支援を行う。	館内ガイド、自然観察ガイド、室内イベントを市民スタッフと協働で行う。また、友の会とは共催のイベントや企画展を実施する。  なし	鳥の博物館
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築								
5	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築  我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携  国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会(AIRA)と共催であびこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。	●第18回国際交流スピーチ大会 【日程】9月25日(日) 【場所】市民プラザ 【内容】 ・英語の部2人(日本人)、日本語の部6人(外国人)が参加 ・スピーチ大会当日の審査の時間帯に、「おいしい記憶」作文コンテストで読売新聞社賞を受賞した、日本語教室で学ぶ加藤パトリシアさん(チリ出身)が受賞作「カウどんのチカラ」を朗読した。 【来場者】約100人  ●第25回国際交流まつり 【日程】11月27日(日) 【場所】市民プラザ 【内容】テーマを「異文化交流の輪-25年目の感謝を込めて」とし、AIRA設立25周年記念式典を合わせて実施。ホールでの演技、ギャラリーでの各国ブースでの民芸品や食べ物の販売。その他、ロビーでのお茶席、着物体験など。 【来場者】1,055人	【催しへの来場者数】 《スピーチ大会》 約100人 《国際交流まつり》 1,055人  国際交流スピーチ大会、国際交流まつりのどちらも、我孫子市国際交流協会会員の市民を中心に、実行委員会が組織され、催しの企画・運営を行っている。  ●国際交流スピーチ大会 60,489円 ●あびこ国際交流まつり 469,942円 ※上記2つの事業を含むAIRA実施の国際化推進事業については、「国際交流協会補助金」として526,000円を市が支出している(28年度の補助対象経費生産額は2,868,914円)。	A. 成果・効果があった  ●国際交流スピーチ大会 国際交流に関するテーマで、母国語以外の言語で発表してもらう機会を提供することにより、市民の国際化対応能力を高めるきっかけとすることができた。  ●あびこ国際交流まつり 外国人と日本人が異文化に触れる機会を提供し、相互理解を深めるきっかけとすることができた。  ●国際交流スピーチ大会 参加人数の年々減少している。特に、高校生については学校のスピーチ大会等と重なり、28年度の参加者はいなかった。	A. 現状どおり推進  ●国際交流スピーチ大会 29年度は現状どおり推進していくが、30年度以降は学校のスピーチ大会と重ならないよう、日程を調整する。	●第19回国際交流スピーチ大会 【日程】9月24日(日) 【場所】市民プラザ  ●第26回国際交流まつり 【日程】11月26日(日) 【場所】市民プラザ	例年、国際交流スピーチ大会、国際交流まつりのどちらも、我孫子市国際交流協会会員の市民を中心に、実行委員会が組織され、催しの企画・運営を行っており、今後もこの方法で実施していく。  ●国際交流スピーチ大会 未定 ●あびこ国際交流まつり 未定 ※上記2つの事業を含むAIRA実施の国際化推進事業については、「国際交流協会補助金」として526,000円を市が支出する。	企画課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
172	消費生活展の実施  我孫子市消費者の会、あびこ型「地産地消」推進協議会、NPOせっけんの街などといった消費団体が、消費生活展のメインテーマに沿った内容についてパネル展示や企画を行う。	●第41回消費生活展 【日程】平成29年2月4日、5日 【場所】市民プラザ 【参加団体】我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会 【来場者数】636名 【対象者】 市内在住者:約80%、男性:約37% 女性:約63% 年代別:80歳代:約6%、70歳代:約25%、60歳代:約20%、50歳代:約8%、40歳代:約11%、30歳代:約8%、20歳代:約2%	【参加団体】 我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会	A. 成果・効果があった 消費者被害に遭わないための情報提供を、パンフレットの配布や展示物で発信した。また、各市民団体によるパネル展示や実演などにより、日々の暮らしを見つめ直し、安全・安心で豊かな生活を送れるよう、各市民団体同士の情報交換の場ともなった。	A. 現状どおり推進 なし	●第42回消費生活展 【日程】平成30年2月3日、4日 【場所】市民プラザ	【参加団体】 我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会	商業観光課
		870,000円 【内訳】 消耗品費:117,497円 交通費:1,000円 食料費:44,608円 展示経費:349,920円 印刷製本費:341,280円 予備費:3,240円 返納金:38,655円	なし	850,000円 【内訳】 消耗品費:110,000円 交通費:1,000円 食料費:42,000円 展示経費:340,000円 印刷製本費:341,000円 その他:16,000円				
		市民団体・事業者・行政で実行委員会を組織し、手賀沼の浄化・再生を広く市民に呼びかけるイベントを開催する。	●Enjoy手賀沼！2016～安心して下さい、遊べますよ～ 【日 時】5月8日 【場 所】手賀沼親水広場 【対象者】どなたでも 【来場者数】15,000人 【内容】ステージでは18の参加団体、ブースとしては20の参加団体が、それぞれのパフォーマンスや展示、フードなどで手賀沼のほほりを楽しめるようなイベントを実施。	【来場者】 15,000人  あびこガイドクラブや手賀沼水生生物研究会、ふれあい手賀沼の会など多くの市民団体が集まり実行委員会を構成し、協働で事業を行なった。 ※実行委員会は13団体で構成。	A. 成果・効果があった 前年同様15,000人が来場し、天候にも恵まれ非常に盛り上がった。	A. 現状どおり推進 なし	Enjoy手賀沼！2017～水の館リニューアルだヨ！全員集合～ 【日 時】5月14日(日) 【場 所】手賀沼親水広場 【対象者】どなたでも	
再掲 健康フェア		負担金および交付金 250千円	なし	負担金および交付金 250千円		健康支援課		
175	再掲 ジャパンバードフェスティバルの開催							手賀沼課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
176	青少年相談員事業	<p>●青少年キャンプ 【日程】7月30日(土)から31日(日) 【場所】ふれあいキャンプ場 【対象】市内小学校4年生から6年生 【参加者数】 小4～小6 49人</p> <p>●青少年綱引き大会 【日程】11月26日(土) 【場所】我孫子市民体育館 【参加者数】 小5、小6 879人</p>	<p>●青少年キャンプ 【参加者数】小4～小6 49人</p> <p>●青少年綱引き大会 【参加者数】小5、小6 879人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>青少年キャンプ 青少年の健やかな成長を育む活動として1泊キャンプの中で地域や年齢の異なる子どもと生活することにより、誰とでも協力することの大切さを学ぶとともに、自主性を育むことができた。</p> <p>☆青少年綱引き大会 普段、運動の苦手な子にも活躍する事が出来る場を与えられた。子ども同士がそれぞれの目標に向かって協力し合い、努力する大切さを学ぶ機会となった。青少年相談員が朝、学校に出向いて綱引きの練習に参加するなど、学校との連携を図り実施できた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>なし</p>	<p>●青少年キャンプ 【日程】7月29日(土)から30日(日) 【場所】ふれあいキャンプ場 【対象】市内小学校4年生から6年生 【募集予定】50人</p> <p>●青少年綱引き大会 【日程】11月26日(土) 【場所】我孫子市民体育館</p>	<p>青少年相談員連絡協議会と市の共催事業</p>	子ども支援課
	<p>青少年相談員連絡協議会と共催で、小中学生を対象に、夏季のキャンプやナイトウォークなどの事業を行い、冬季には、小学生の高学年を対象に綱引き大会を行うなど、子どもの自主性、協調性を育む場を提供する。</p>	<p>千葉県知事と我孫子市が委嘱している青少年相談員連絡協議会とイベントに際し、何度も実行委員会を経て、安全に楽しくイベントを行えるよ企画。 《我孫子市青少年相談員連絡協議会》</p>	<p>青少年キャンプは夏の野外事業の為、熱中症対策や昼夜を問わず天候急変への対応も必要である。</p> <p>青少年綱引き大会は、参加者が多く当日のプログラムやスタッフの確保等が課題である。</p>	<p>青少年キャンプ 共催負担金 50,000円 青少年綱引き大会 共催負担金 60,000円</p>	<p>青少年キャンプ 共催負担金 50,000円 青少年綱引き大会 共催負担金 60,000円</p>			
177	再掲 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)							子ども支援課

基本目標 5 学びでつながるまちづくり

③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)				予算	
178	子育てフェスタ  我孫子で子育てを楽しめる場所や子育て支援活動を紹介するなど、「子育て」をキーワードに家族で子どもの成長を感じられるとともに、祖父母を含めた多世代をつなげるイベントを開催する。	●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月3日(土) 【参加者人数】延べ7,925人 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど。  ●あびこで子育てフェスタ 【場所】あびこショッピングプラザ全館(イトーヨーカドー我孫子店) 【日程】3月19日(土) 【参加人数】延べ8,852人 【内容】体験ブース、ステージショーなど。	【イベントの参加者】 ●ママへのごほうびフェスタ 7,925人 ●子育てフェスタ 8,852人  ●ママへのごほうびフェスタ 【共催】株式会社イトーヨーカドー、我孫子市役所保育課 【協力】石橋生絲株式会社  ●あびこで子育てフェスタ 【共催】株式会社イトーヨーカドー、あびこショッピングプラザ、我孫子市役所保育課	A. 成果・効果があった  子育てを楽しめる場所や子育て支援活動の紹介、各種イベントを実施する事で、子育てに関する情報提供及び保護者のリフレッシュの場となった。	A. 現状どおり推進  市内の様々な団体や機関との連携を図りながら、家族で子どもの成長を感じ、保護者がリフレッシュできる場となるようなイベントを行っていく。	●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月2日(土) 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど。  ●あびこで子育てフェスタ 【場所】あびこショッピングプラザ全館(イトーヨーカドー我孫子店) 【日程】3月17日(土) 【内容】体験ブース、ステージショーなど。	●ママへのごほうびフェスタ 【共催】株式会社イトーヨーカドー、我孫子市役所保育課 【協力】石橋生絲株式会社  ●あびこで子育てフェスタ 【共催】株式会社イトーヨーカドー、あびこショッピングプラザ、我孫子市役所保育課	保育課
		子育てイベント謝礼 142,400円	なし	子育て支援イベント謝礼 150,000円				
179	学校評議員設置事業  小中学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民等と連携しながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。	【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9~12月)に1回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加予定	年度末に実施する学校評議員に対するアンケート及び各学校の学校評価結果。  ○学校評議員に対するアンケート結果(H28.3実施 回答者99人)より抜粋 「1 よくした」と「2 時々した」を合わせたプラス評価の割合 ①学校評議員として、学校運営に関して自分の意見を述べたか。95%。 ②学校長は、学校教育について明確なビジョンを持ちわかりやすく説明していたか。99%。 ③学校は地域や保護者に必要な情報を公開していたか。96.9%。 ④学校は地域や保護者とうまく連携し開かれた学校を推進していたか。96.9%。 ⑤学校は、評議員の指摘した意見や課題について、具体的な対策を講じていたか。95.7%。	A. 成果・効果があった  各学校において、保護者や地域住民、有識者、公募の市民等からの意見を学校経営に生かすことができた。	A. 現状どおり推進  なし	【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9~12月)に1回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加予定	報償費 1,000円×4回×126人=504,000円	学校教育課
		評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加	報償費 1,000円×4回×118人=472,000円	なし	報償費 1,000円×4回×126人=504,000円			

NO	個別事業 趣旨・目的	具体的内容	平成28年度実施内容			平成29年度実施内容		担当課
			指標と実績	評価	今後の進め方	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)	成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無			
180	大学との協定による学校支援学生ボランティア事業  大学と協定を締結することで、小中学校における学習補助として、教員等を目指す学生ボランティアを活用する。	【日程】通年 【場所】市内各小中学校 【内容】学習支援、部活動指導補助 【対象】小中学校の児童生徒 【派遣状況】19校 304人 【大学別実働人数】 《川村学園女子大学》 40人 《中央学院大学》 0人 《その他の大学》 264人	なし  なし  なし	A. 成果・効果があった  ・川村学園女子大学、中央学院大学と学生ボランティア募集・派遣について申し合わせを取ることができた。  ・学生のボランティア活動は、物理的な条件で限りがある。	A. 現状どおり推進  ・大学と学生ボランティア担当による学生ボランティア募集・派遣について、情報の共有化を図り連携を強める。 ・学生の活動できる条件を考慮し、学習支援の幅を広げる。	【日程】通年 【場所】市内各小中学校 【内容】学習支援、部活動指導補助 【対象】小中学校の児童生徒 【派遣状況】19校	なし  なし	指導課
181	キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)  子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をすることによって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合って職場体験学習を実施する。	●キャリア教育 全小中学校においてキャリア教育を実践した。 ●職場体験学習 市内の小学校6年生を対象に半日、中学校1または2年生を対象に1~3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施。 【日程】6月17日~1月26日 【参加者】実施人数 1,198人 (小学校6年生76人・中学校1年生322人・2年生800人) ●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年2回実施した。	【小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数】 19校 【協力職場数】 348箇所  職場体験学習において、市内外の事業所(商店、工場、消防署、保育園、学校、病院、美容院等)と協力。  保険料 135600円	A. 成果・効果があった  ・職場体験学習が、児童生徒は職業観・勤労観を身につける大きなきっかけになった。 ・担当者会議では、「望ましい『職業観・勤労観』の形成・確立を図る指導」について協議し、適切な指導について考えることができた。  ・職場体験学習が単なるイベントで終わらないように、「望ましい『職業観・勤労観』の形成・確立」につなげるようにする。 ・職場体験学習を引き受けてくれる事業所の開拓・連絡調整等についての教職員の負担軽減。	A. 現状どおり推進  ・事業所の開拓・連絡調整、及び事業所への児童生徒の引率に、学校支援地域本部を活用する	●キャリア教育 全小中学校においてキャリア教育を実践する。 ●職場体験学習 市内の小学校6年生を対象に半日、中学校1または2年生を対象に1~3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施する。 【日程】6月~1月18日 【参加者】実施人数 1,211人(小学校6年生76人・中学校1年生322人・2年生813人) ●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年2回実施する。	・商店、工場、消防署、保育園、学校、病院、美容院等  保険料 124000円	指導課
182	生涯学習審議会の運営  生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。	あびこ栄校協議会と社会教育委員を統合し、生涯学習審議会を起ち上げ、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴き、生涯学習を総合的に推進した。  ●生涯学習審議会会議 《第1回》 【日程】7月1日 【内容】我孫子市第三次生涯学習推進計画および前期実施計画について、平成27年度生涯学習事業の実施状況について、平成28年度生涯学習事業の予定について、生涯学習推進事業について など 《第2回》 【日程】11月9日 【内容】生涯学習推進計画実施計画の平成27年度と平成28年度の実施状況について、平成28年度生涯学習部の事業実施状況(4~9月)について、平成29年度生涯学習部の事業予定及び予算要求の概要について など	審議会開催数 2回  生涯学習審議会委員 14人 生涯学習の推進にあたって、広く学識経験者や関係者、市民などから選任した審議会委員より意見をいただいた。  ●生涯学習審議会 会議報酬 80,500円 (会議2回 述べ23名分)	A. 成果・効果があった  実施状況調査をよりわかりやすいものにするための意見を審議会委員の方から頂いた。また、生涯学習実施計画に位置づけられている事業について、現状を共有し意見交換を行うことで、課題を把握することができた。幹事会では審議会でもった課題等を庁内連携で対策できないか意見交換を庁内での意思疎通をすることができた。  委員を招集して審議会を実施するにあたって、どういったところで意見をもとめるか。議論する項目をもう少し明白にして審議会を開催する必要がある。一概に生涯学習といっても範囲が広すぎる。	B. 改善・見直しを行う  時間を設けて委員を招集して審議会を実施するにあたって、どういったところで意見をもとめるか、意見をもらいたい議題や議論すべきことをもう少し明白にして審議会を開催し、より有意義な会議を実施する。	●生涯学習審議会会議 《第1回》【日程】5月26日(金) 《第2回》【日程】未定	生涯学習審議会委員 14人 生涯学習の推進にあたって、広く学識経験者や関係者、市民などから選任した審議会委員より意見をいただいた。  ●生涯学習審議会会議 会議報酬 147,000円 (3,500円×3回×14人)	生涯学習課

基本目標 5 学びでつながるまちづくり

③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築

NO	個別事業 趣旨・目的	平成28年度実施内容				平成29年度実施内容		担当課
		具体的内容	指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	具体的内容	市民・事業者との協働 予算	
			市民・事業者との協働 経費(人件費は除く)					
183	再掲 市外図書館・大学・ 関係機関との連携協 力							図書館
184	図書館実習生受入・施設 見学  中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	「小中学校キャリア教育」「JOYボラ」「インターンシップ」「社会奉仕体験活動」「施設見学・町探検」等を受け入れた。	【アビスタ探検隊参加者・図書館見学参加者・実習生受入人数の合計】 人 (前年度 914人)	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	《小中学校キャリア教育受入れ》随時 《JOYボラ受入れ》随時 《インターンシップ参加者受入れ》随時 《社会奉仕体験活動》7月、8月 《司書課程実習》随時 《施設見学・町探検等受入れ》随時	なし	図書館
185	山階鳥類研究所との連携・交流  テーマトークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらう。	●テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日の13:30~14:15) (今年度は11~1月が休館のため、1月のテーマトークも無し) 【日程・内容】 《第1回》 4月9日(土)「オス?メス?見た目でわかる?雄化する鳥の謎」【参加者】40人 《第2回》 5月14日(土)「シギ・チドリの渡りを追って」【参加者】45人 《第3回》 6月11日(土)「オオミズナギドリの待ち時間-ノネコが増えた海洋島の今-」【参加者】34人 《第4回》 7月9日(土)「鳥にまつわる法律のハナシ」【参加者】22人 《第5回》 8月13日(土)「ミソサザイってどんな鳥?こんな鳥」【参加者】30人 《第6回》 10月8日(土)「明治期の標本が語るもの-絶滅鳥カロライナインコー-」【参加者】15人 《第7回》 2月11日(土)「アホウドリ、小笠原での繁殖成功が意味するもの」【参加者】29人 《第8回》 3月11日(土)「毎日運行する漁船で営巣したツバメ」【参加者】28人 ●鳥学講座inJBF 【日程】 11月5日(土) 【内容】「コアジサシ保全活動の現場から」 【講師】 北村亘さん 【参加者】 89人	【共催した講座等の数】 9回  【テーマトーク】 山階鳥類研究所研究員による研究成果の紹介を行った。  講師報償費(鳥学講座) 30,000円	A. 成果・効果があった 協力関係にある鳥類研究所の研究成果と研究の面白さを、分かりやすく市民に紹介することができた。	A. 現状どおり推進 なし	【日程・内容】 毎月第2土曜午後13時30分から14時15分まで 《第1回》4月8日「生き物の不思議を暮らしに活かす『バイオミメティクス』鳥の色の話題を中心に」 《第2回》5月13日「なぜアホウドリやトキを保護するの?」 《第3回》6月10日「その学名でいいのか?-日本鳥類目録第7版を評価する-」 《第4回》7月8日 テーマ未定 《第5回》8月12日 // 《第6回》9月9日 // 《第7回》10月11日 // 《第8回》11月12日 // 《第9回》12月9日 // 《第10回》1月13日 // 《第11回》2月10日 // 《第12回》3月10日 //	山階鳥類研究所研究員による研究成果の紹介を行う。  講師報償費(鳥学講座) 30,000円	鳥の博物館

基本目標 5 学びでつながるまちづくり  
③ 多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築